

運輸事業における降雪・積雪時の 安全確保に向けた取組

令和5年12月8日
北陸信越運輸局

国土交通省では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生したことを踏まえ、今冬も、**①車両対策(冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底)、②運送事業者対策(輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査)、③荷主対策(荷主への周知体制の確立)**を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

令和3年1月 運送事業者の皆様へ

国土交通省 **プラットホームとは?**

冬用タイヤの溝深さに注意!

-大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-

➢ 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するなど適切な措置を講じてください。

➢ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

❏ 積雪・凍結道路では、**冬用タイヤを全車輪に装着**

⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと**挙動が安定しません**。

❏ 冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ**50%**を示す「**プラットホーム**」で、**運行前に必ず確認**してください。(一部海外メーカー品は除く)

❏ 積雪・凍結道路での運行前に、**運転上の注意点を把握**

⇒ 積雪・凍結道路においては、
・**低速ギアでゆっくり発進**
・**坂道を登り終わるまでギアチェンジしない**
など、運転操作の注意が必要です。

❏ **プラットホームとは**
日本国内における道路交通法施行細則等によって定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分をいいます。

❏ **プラットホームの位置**
プラットホームの位置を示す心がタイヤの両側面にそれぞれ周上4ヶ所以上に表示されています。

残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

運転上の注意点

- ① **低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。**
- ② **急坂道では登り終わるまで低速ギアを使用し、ギアチェンジしない。**
- ③ **急発進、急加速、急旋回及び急停止は避ける。柔らかくブレーキ。**
- ④ **カーブに入る前に減速する。速度は控えめ。十分な車間距離。**
- ⑤ **冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う。**
- ⑥ **冬用タイヤを乾燥路や湿潤路で使用の場合は走行速度に注意する。**

一般社団法人 日本自動車タイヤ協会 → 全日本トラック協会 雪道対策 →

(上図)運送事業者向けリーフレット

(右図)令和5年12月1日付け国土交通省 物流・自動車局プレスリリース

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

いのちとくらしをまもる
防災 減災

Press Release

令和5年12月1日
物流・自動車局
貨物流通事業課
安全政策課
審査・リコール課
自動車整備課

物流・自動車局での大雪時の大型車立ち往生防止対策について ～今冬の立ち往生の発生を抑止するために～

物流・自動車局では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生したことで、大量の車両が路上に滞留する事案が発生したことを踏まえ、今冬も、**①車両対策(冬用タイヤの装着やチェーンの携行・装着の徹底)、②運送事業者対策(輸送の安全を確保するために必要な措置の実施、運輸局による指導・監査)、③荷主対策(荷主への周知体制の確立)**を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

運送事業者や自動車使用者の皆様におかれましては、改めて下記注意点をご確認の上で、冬期の走行に万全を期して頂きますようよろしくお願いいたします。

① 車両対策:自動車ユーザーの皆様へ

- 積雪・凍結路では、必ず適切な冬用タイヤの装着をお願いします。
- また、運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、「プラットホーム」で確認をお願いします。
- チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着をお願いします。

② 運送事業者対策:トラック・バス運送事業者の皆様へ

- 年末年始の輸送等に関する安全総点検[®]の実施項目「6. 大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認をお願いします。
 - 運送事業者は、大雪時等輸送の安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行の中止等の指示、冬用タイヤの溝の深さ、滑り止めの措置が講じられていることの確認等、輸送の安全を確保するために必要な措置を講じることが必要です。
 - 雪道において、悪質な立ち往生事例が発生した場合は、監査で事実関係を確認した上で、講じた措置が不十分と判断されれば行政処分の対象となります。
- ※ https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000003.html

③ 荷主対策:荷主の皆様へ

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン

(令和5年10月1日 ~ 令和6年2月29日)

※大型車とは、車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

大型車の車輪脱落事故防止対策は、大型車の使用者が事故を防止するため、常日頃から継続的に取り組むものです。特に例年10月以降の冬用タイヤ交換時期において車輪脱落事故が多発している状況のため「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を行い、車輪脱落事故防止対策の徹底を図る取組を実施します。

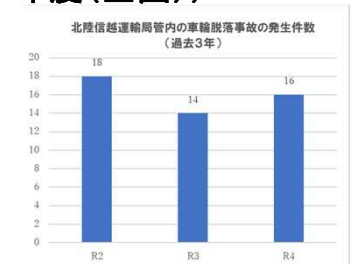
■主な取組

・大型車の使用者、運転者及び整備作業員等に対して、適切なタイヤ脱着作業や保守管理の重要性について周知・啓発を図る。

※今月青森県で発生した大型車の脱輪による死亡事故等を踏まえ、トラック事業者に対し一斉点検を指示した(12月5日付)。

■大型車の車輪脱落事故発生状況(令和4年度(全国))

- ・発生件数は140件(対前年度比17件増加)
- ・冬期(11月~2月)に多く発生
- ・車輪脱着作業後1ヶ月以内に多く発生
- ・車輪脱落箇所は左後輪に集中



■行政処分(R5.10.1より導入)

- ・車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者に対する車両の使用停止(初違反 20日車、再違反 40日車)
- ・一定期間に複数回の車輪脱落事故を惹起した自動車運送事業者等に対し整備管理者の解任命令

66%
車輪脱落事故のうち
冬用タイヤへの交換後に
発生した割合

皆さん、ご存知でしたか?
大型車の車輪脱落事故の多くが、冬場、安全に定めたタイヤ交換後に発生しているという事実。
タイヤ交換時には、部品の種類や汚れをきちんと点検し、押し締めをしっかりと行うなど、適切に取り付けてください。
確実な点検・整備で、防げる事故があります。

「昨日も大丈夫だったから今日も大丈夫。」
その軽い気持ちで命を奪う

防ごう! 大型車の車輪脱落事故 点検しよう! 出発前の車両の安全

国土交通省
キャンペーンポスター

事業者、ドライバー、整備工場の皆さんの協力をお願いします。

防ごう 大型車の車輪脱落事故

おとさない

おとさぬための点検整備
車輪の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ重要な手段です。

動画をチェック!
正しい点検方法や運搬式ナット回転指示インジケーターの使用方法をご案内しています。

トルクレンチで適正締付
適正トルクレンチによる規定トルクの締付は、タイヤ交換後の確実な安全の要諦。

さびたナットは清掃・交換
ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの腐やゴミ、追加塗料などを取り除きます。

ナット・ワッシャー隙間に給脂
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の高粘度油を薄く塗布し、回転させて形をなじませてください。

いちにち一度は緩みの点検
運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、市街地、ナットを目で見て手で触って点検します。

※: 整備くん



大型車への啓発活動(R5.11.21 新潟トラックステーション)

年末年始の輸送等に関する安全総点検

(令和5年12月10日～令和6年1月10日)

大量の輸送需要が発生し、輸送機関等に人流・物流が集中する年末年始は、ひとたび事故等が発生した場合には大きな被害となることが予想されます。

そのため国土交通省では、陸・海・空の輸送機関等が安全対策の実施状況等を自主点検することにより、公共交通の安全を図るとともに、輸送機関等の安全に対する意識を高めることを目的とする「年末年始の輸送等に関する安全総点検」の取組を実施します。

■主な取組

- ・各輸送機関等が安全管理・安全対策等の実施状況、関係法令等の遵守状況、施設等の点検整備状況、テロ対策及び感染症対策の実施状況等を自主点検します。
- ・運輸局は輸送機関等の現場を訪問し、自主点検状況等を確認します。

■大雪に関する点検項目(運送事業者(トラック・バス等)が実施するもの)

- ・大雪警報等の気象情報や道路における降雪状況等を適時に把握することにより、運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行える体制を構築しているか。
- ・冬用タイヤの溝の深さが、タイヤ製作者の推奨する使用限度を超えていないことの確認を行っているか。
- ・大雪及び暴風雪に備え、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底等、輸送の安全確保が図られているか。

年末年始の輸送等
安全総点検
令和5年12月10日(日)～令和6年1月10日(水)

重点点検事項

- 安全管理の実施状況
- 災害時等の通報・連絡・指示体制
- テロ対策
- 感染症対策

国土交通省

安全総点検ポスター

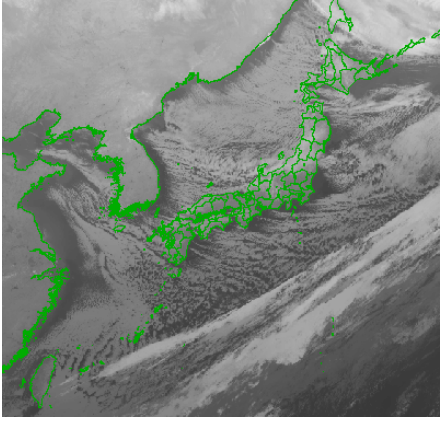


運輸局による現場確認(令和4年度)

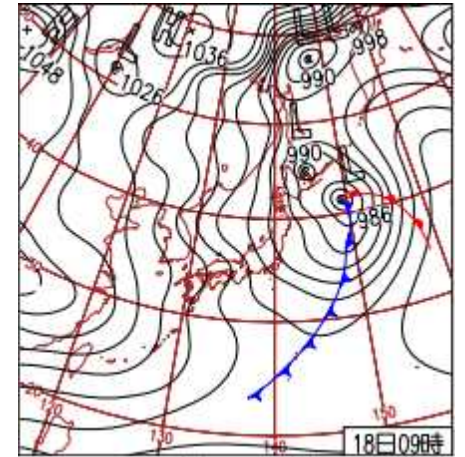
点検表

経営トップの方や
運行管理者、その
他職員による自己
チェック!!

自主点検のイメージ



雪等に関する防災気象情報



新潟地方気象台
リスクコミュニケーション推進官 瀬下 政宏

1.大雪と災害

2.大雪と防災気象情報

3.大雪時の防災気象情報時系列

1.大雪と災害

2.大雪と防災気象情報

3.大雪時の防災気象情報時系列

雪が関係する主な現象と災害

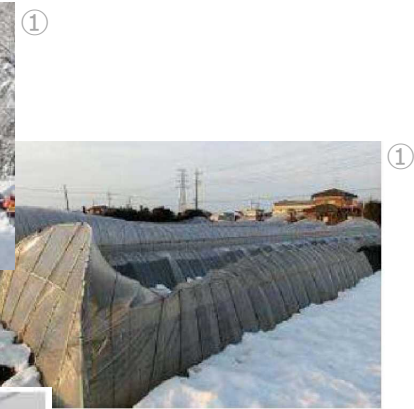
主な現象

主な災害

大雪



交通障害、交通事故、家屋の倒壊、農業被害、雪下ろし事故、転倒など



風雪
暴風雪



倒木、電線付着
→停電、交通障害など



地吹雪



視程障害、吹きだまりによる交通障害など



なだれ



交通障害、家屋の倒壊、登山者等への被害など

融雪



低地の浸水、土砂災害、河川の増水など



新潟県の大雪災害の事例①

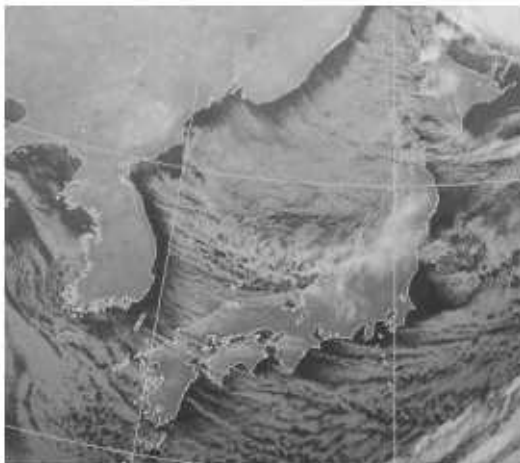
令和4（2022）年12月18日から19日にかけての大雪

下越と中越で記録的な大雪 各地で車の立ち往生等の交通障害が発生

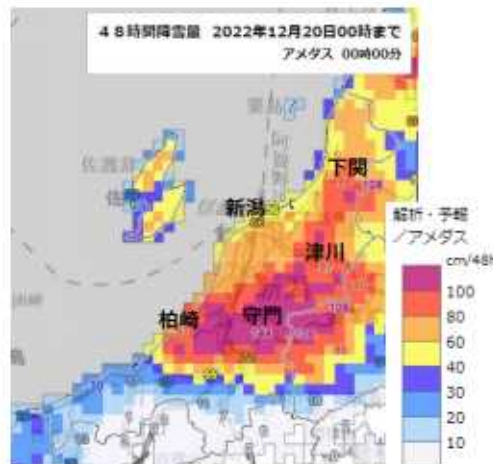
【概要】

令和4（2022）年12月18日から19日にかけて強い冬型の気圧配置となり、新潟県の上空約5,500メートルには氷点下30度以下のこの時期としては強い寒気が流れ込んだ。19日未明から夕方にかけて、JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）に伴う発達した雪雲が流れ込み続けた下越と中越を中心に、記録的な大雪となった。魚沼市守門では、19日7時までの6時間に45センチの顕著な降雪を観測し「顕著な大雪に関する新潟県気象情報」を発表した。また、日降雪量が阿賀町津川で84センチ（18日）、柏崎で72センチ（19日）、関川村下関で56センチ（18日）となり、それぞれ観測史上1位の記録を更新したほか、新潟では、20日2時に積雪68センチを観測し、12月の月最深積雪の大きい方から2位となった。

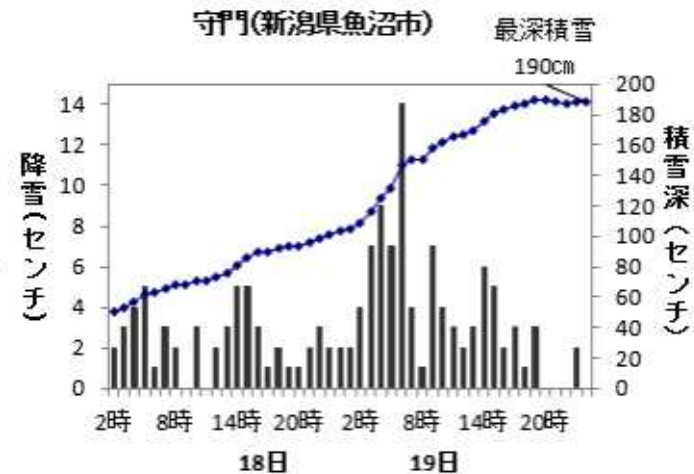
この大雪により、高速道路の通行止め、長岡市や柏崎市を中心とした車両の立ち往生、佐渡市等での倒木による停電、鉄道の運休・遅延などの交通障害が発生したほか、除雪中の事故や路面凍結による転倒などの人的被害が発生した。（被害状況は新潟県資料や各機関の公表資料を参考に新潟地方気象台にて記述）



気象衛星赤外画像（12月19日3時）



12月20日0時の前48時間降雪量
（地図：地理院タイル）



魚沼市守門の1時間ごとの降雪（12月18日～19日）

新潟地方気象台HP「新潟県に災害をもたらした気象事例」より
https://www.jma-net.go.jp/niigata/menu/saigai_NI.html

新潟県の大雪災害の事例②

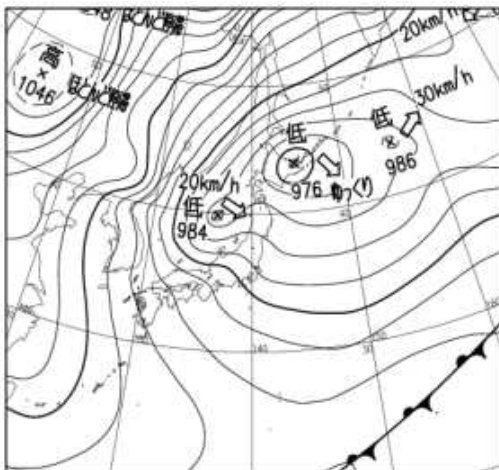
令和4（2022）年12月23日から24日にかけての強風と大雪

日本海の低気圧に伴う強風と大雪 倒木による孤立集落や停電も

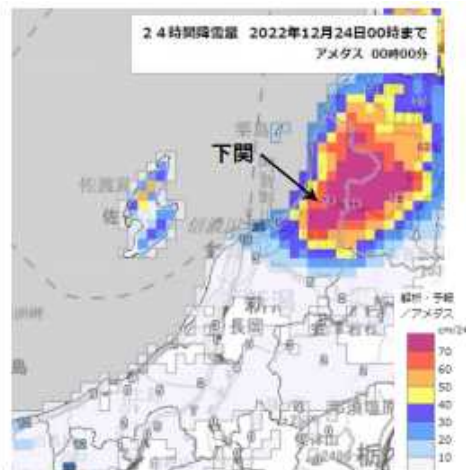
【概要】

令和4（2022）年12月23日は、上空約5,000メートルに氷点下39度以下の強い寒気を伴った低気圧が発達しながら日本海を東南東に進んだため、新潟県では海上を中心に雪を伴った非常に強い風が吹き、海は大しけとなった。また、低気圧を回る西風により発達した雪雲が流れ込み続けた下越では記録的な大雪となった。23日には、佐渡市相川で最大風速22.7メートル（最大瞬間風速29.6メートル）の非常に強い風を観測するなど各地で強風が吹き、また、関川村下関では23日の積雪差日合計が78センチを観測し観測史上1位の記録を更新した。なお、低気圧が日本の東に進んだ24日から25日は冬型の気圧配置となり、中越の山沿いを中心に大雪となった。

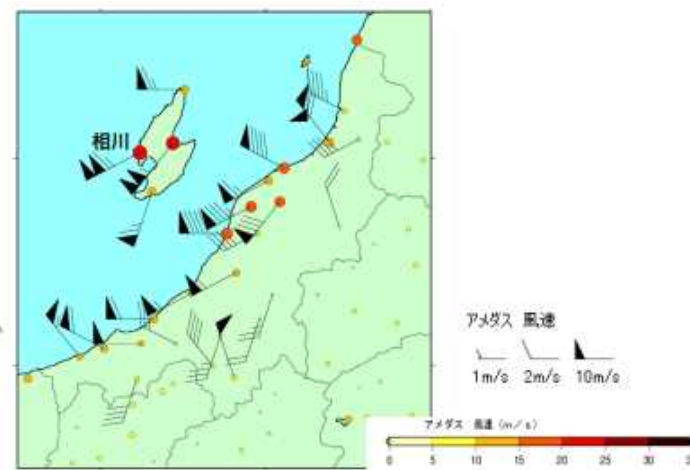
村上市では大雪や着雪の影響で、倒木による道路の通行止めのため孤立集落が生じたほか停電が発生した。また、県内では、高速道路の通行止め、鉄道の運休・遅延、佐渡汽船の欠航などの交通障害も発生した。（被害状況は新潟県資料、各機関公表資料を参考に新潟地方気象台にて記述）



地上天気図（12月23日21時）



12月24日0時の前24時間降雪量
(地図：地理院タイル)



12月23日から24日の期間最大風速

新潟地方気象台HP「新潟県に災害をもたらした気象事例」より
https://www.jma-net.go.jp/niigata/menu/saigai_NI.html

本日の内容

1.大雪と災害

2.大雪と防災気象情報

3.大雪時の防災気象情報時系列

気象庁HPから防災気象情報を取得できます

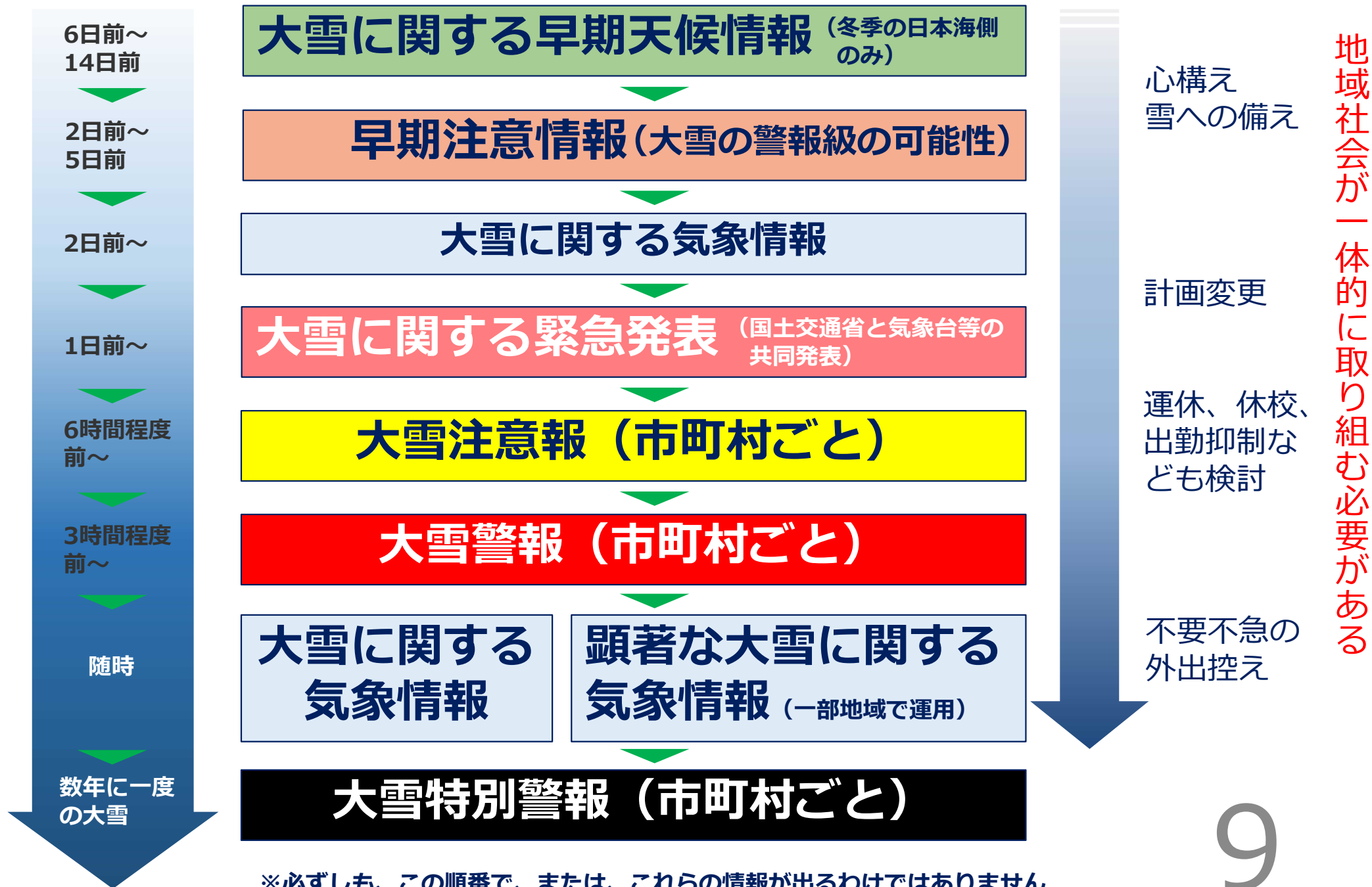
PC版画面



スマホ版画面

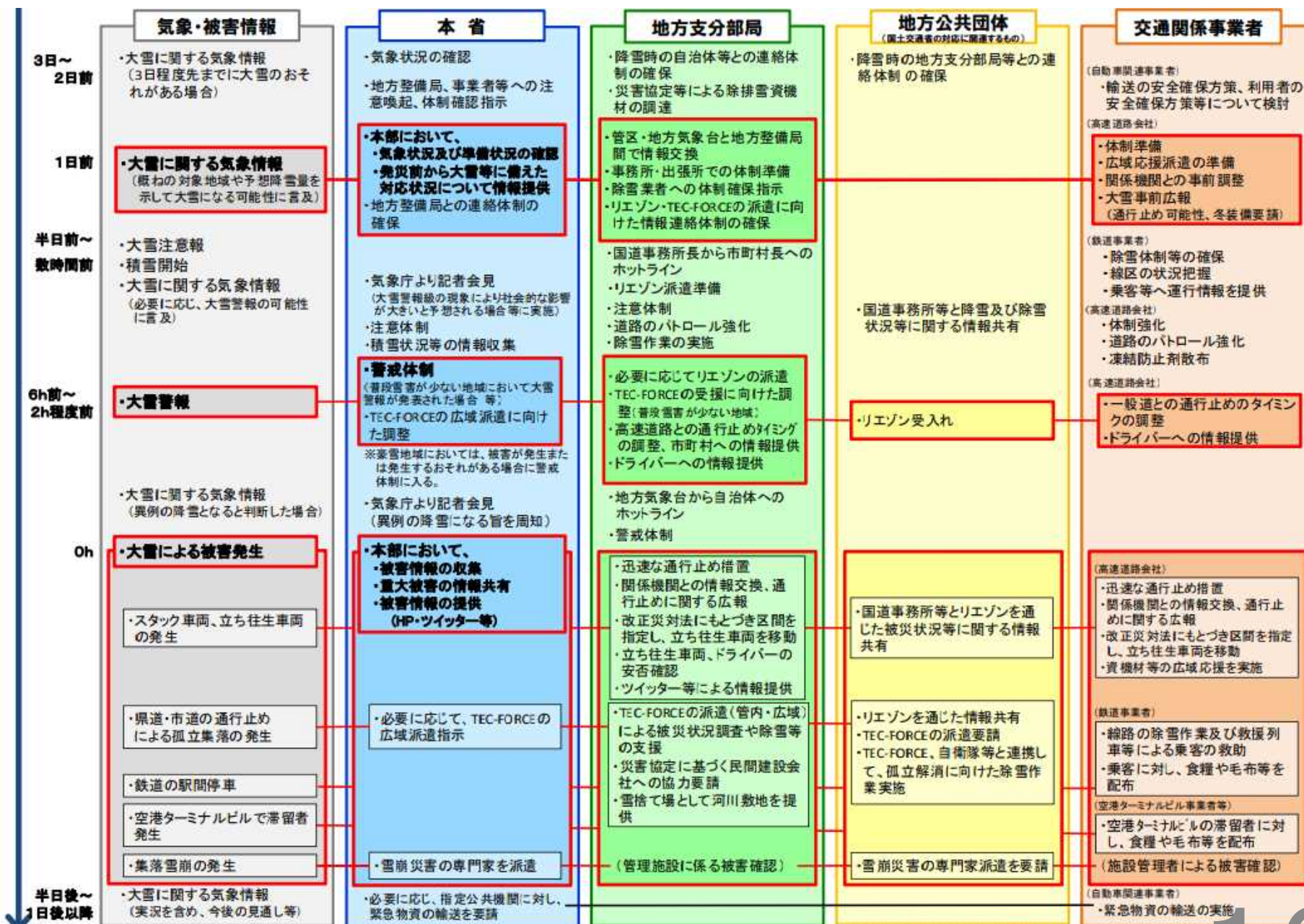


段階的に発表する大雪に関する防災気象情報



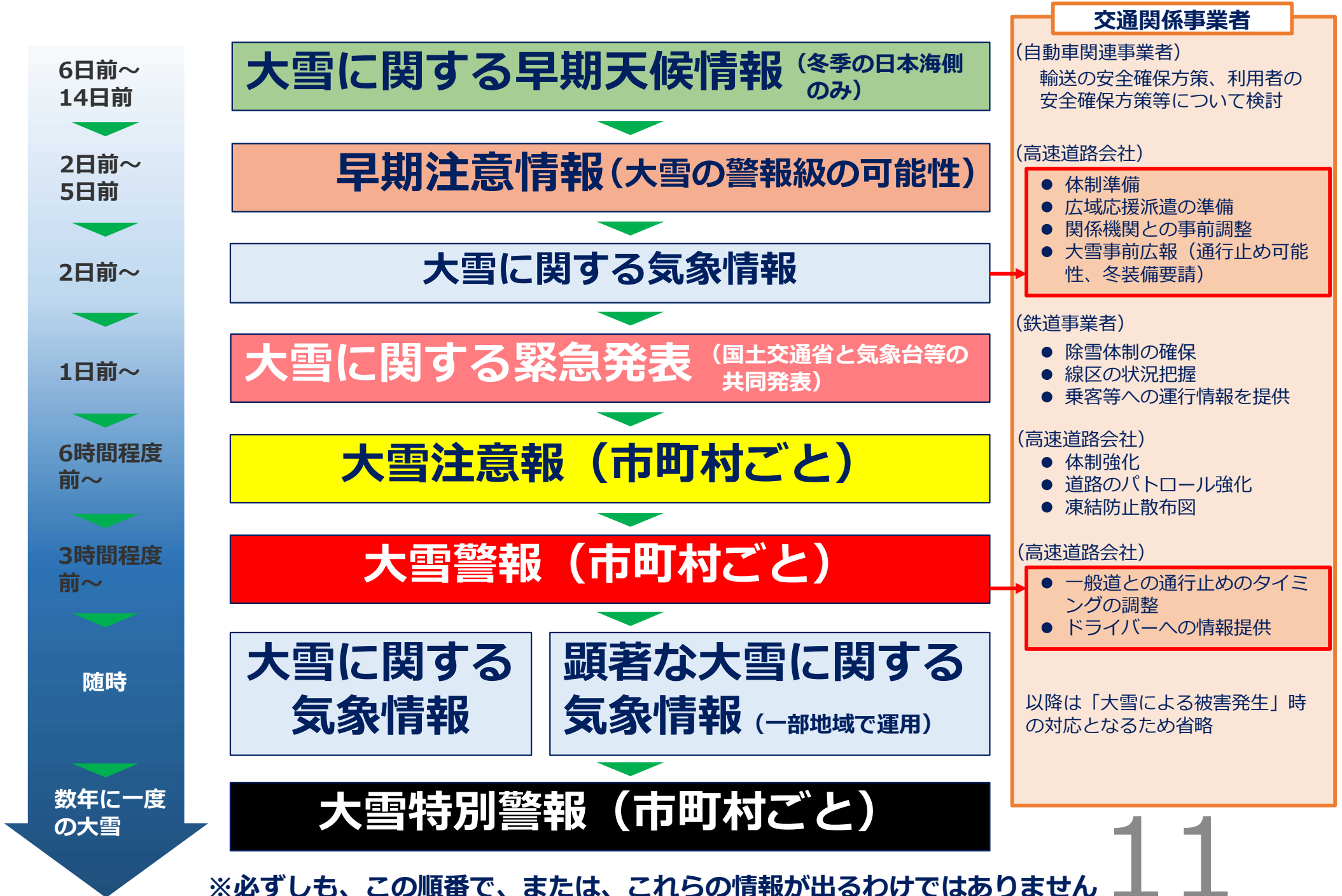
※必ずしも、この順番で、または、これらの情報が出るわけではありません

異例の降雪を想定したタイムライン（防災行動計画）



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本タイムラインは、異例の降雪時における国土交通省の対応に重点を置いたものです。局地的な異例の降雪に対しては、予測の誤りから気象情報等が段階的に発表されない場合があります。

「段階的に発表する大雪に関する防災気象情報」と
「異例の降雪を想定したタイムライン（防災行動計画）交通関係事業者」との対応



※必ずしも、この順番で、または、これらの情報が出るわけではありません

早期天候情報

その時期としては10年に1度程度しか起きないような著しい高温や低温、降雪量（冬季の日本海側）となる可能性が、いつもより高まっているときに、6日前までに注意を呼びかける情報です。6日先から14日先までの期間で、5日間平均気温が「かなり高い」「かなり低い」となる確率が30%以上、または5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に、以下に示すような情報を発表します。

【大雪に関する早期天候情報の例】

低温と大雪に関する早期天候情報（北陸地方）
令和4年12月22日14時30分
新潟地方気象台 発表

北陸地方 1月1日頃から かなりの低温
かなりの低温の基準：5日平均地域気温平年差 - 2.1℃以下

北陸地方の気温は、向こう2週間は寒気の影響を受けやすいため平年並か低く、1月1日頃からはかなり低くなる可能性があります。また、1月1日頃からは降雪量が平年よりかなり多くなる可能性があります。

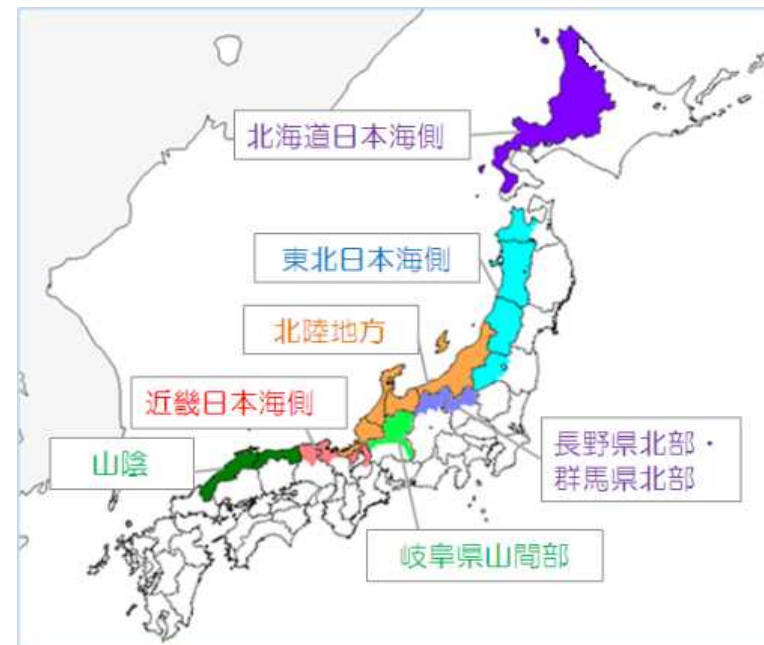
農作物の管理等に注意するとともに、除雪などの対応、水道管の凍結等に留意してください。また、今後の気象情報等に留意してください。

<参考>

この期間の、主な地点の5日間降雪量の平年値は以下の通りです。

地点	平年値
相川	2センチ
新潟	6センチ
津川	34センチ
長岡	23センチ
(略)	

大雪または雪に関する早期天候情報の発表地域



早期注意情報（警報級の可能性）

警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「**早期注意情報（警報級の可能性）**」として【高】、【中】の2段階で発表しています。

気象庁ホームページでの早期注意情報（警報級の可能性）の表示例（大雪のみ抜粋）

新潟県の早期注意情報（警報級の可能性）										
2022年12月18日05時 新潟地方気象台発表										
中越では、19日までの期間内に、大雪警報を発表する可能性がある。										
新潟県下越		18日			19日			20日	21日	22日
		6-12	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24			
大雪	警報級の可能性	[中]		[高]	[高]					
	6時間最大降雪量 (センチ)	25	30	40	35	40	-	[中]	-	
	24時間最大降雪量 (センチ)				70から100					

新潟県気象情報

警報・注意報に先立って注意・警戒を呼びかけたり、警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説したりするための情報です。

【大雪に関する気象情報の例】

大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第4号
令和4年12月17日16時48分 新潟地方気象台発表

(見出し)

18日夜遅くから19日にかけて、中越では大雪による交通障害に警戒し、下越、上越では注意・警戒してください。18日は中越、上越の海上と佐渡では高波や雪を伴った強風に注意・警戒してください。

(本文)

[気象状況と予想]

18日から19日にかけて日本付近は強い冬型の気圧配置となるでしょう。また、北陸地方の上空約1500メートルには氷点下9度以下の寒気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。

18日から19日にかけて山沿いでは大雪となり、平地でも大雪となる所がある見込みです。同じ所に雪雲がかかり続けた場合は、警報級の大雪となるおそれがあります。

新潟県の海上では、18日は雪を伴った非常に強い風が吹き、海は19日にかけてしけとなる見込みです。冬型の気圧配置が予想より強まった場合は、暴風雪や大しけとなるおそれがあります。

[雪の予想]

17日18時から18日18時までに予想される24時間降雪量は、いずれも多い所で、

下越 平地 15センチ

下越 山沿い 60センチ

--- (中略) ---

[防災事項]

18日夜遅くから19日にかけて、中越では大雪による交通障害に警戒し、下越、上越では注意・警戒してください。18日は中越、上越の海上と佐渡では高波や雪を伴った強風に注意・警戒してください。ふぶきによる視程障害、電線や樹木などへの着雪、なだれ、路面の凍結にも注意してください。また、18日にかけて落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。屋外活動に十分注意し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。ひょうの降るおそれもありますので、農作物等の管理にも注意してください。

--- (以下略) ---



(雪に関する) 警報・注意報

警報とは、重大な災害が発生するおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報です。**注意報**とは、災害が発生するおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報です。

雪に関する警報・注意報

警報／注意報		内容
警報	大雪警報	大雪警報は、降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、 大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
	暴風雪警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。 暴風による重大な災害のおそれに加え、暴風で雪が舞って視界が遮られることによる重大な災害のおそれについても警戒を呼びかけます。
注意報	大雪注意報	降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、 大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
	風雪注意報	雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。 強風による災害のおそれに加え、強風で雪が舞って視界が遮られることによる災害のおそれについても注意を呼びかけます。
	なだれ注意報	なだれによる災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。
	着氷注意報	着氷注意報は、 著しい着氷により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。 具体的には、水蒸気や水しぶきの付着・凍結による通信線・送電線の断線、船体着氷による転覆・沈没等の被害が発生するおそれのあるときに発表します。
	着雪注意報	着雪注意報は、 著しい着雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。 具体的には、雪が付着することによる電線等の断線や送電鉄塔等の倒壊等の被害が発生する（気温0℃付近で発生しやすい）おそれのあるときに発表します。
融雪注意報	融雪注意報は、 融雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表します。 具体的には、積雪が融解することによる土砂災害や浸水害が発生するおそれがあるとときに発表します。	

顕著な大雪に関する気象情報 (短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

重大な災害の発生する可能性が高まり、一層の警戒が必要となるような短時間の大雪となることが見込まれる場合に発表する気象情報です。

- 降雪量（実況値）と今後の見通しを記載した短文形式の気象情報
- 令和元年12月から、**新潟県**、富山県、石川県、福井県、福島県（会津地方）、山形県で運用を開始し、令和3年12月からは、滋賀県、兵庫県、京都府、広島県、岡山県、島根県、鳥取県でも運用を開始しています。

【発表の目安】

対象	6時間降雪の深さが警報基準の地域		12時間降雪の深さが警報基準の地域	
	3時間（観測）	6時間（予測）	6時間（観測）	12時間（予測）
北陸地方、山形県、近畿地方、中国地方	20～25センチ	30～40センチ	20～45センチ	25～70センチ

目安は地域の最小値と最大値を表記していますので、個々の観測地点ごとに値が異なります。観測実況値はアメダス等の値を使います。過去の交通障害などと、そのときの観測値を検証して発表の目安を設定します。目安は情報の効果を検証して適宜、見直します。

【顕著な大雪に関する気象情報の例】

顕著な大雪に関する新潟県気象情報 第8号
令和4年12月19日08時00分 新潟地方気象台発表

（見出し）

魚沼市守門では、19日7時までの6時間に45センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は19日夕方にかけて続く見込みです。中越の山沿いでは、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

（本文）

なし

特別警報

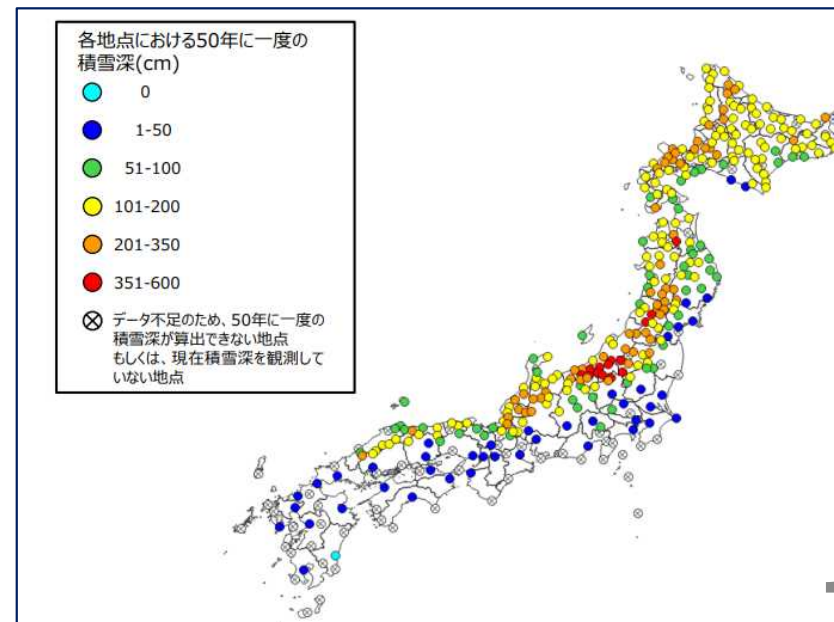
警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合、**特別警報**を発表し、最大級の警戒を呼びかけます。

特別警報	内容
大雪特別警報	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表します。
暴風雪特別警報	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表します。

「50年に一度の積雪深」の地点別一覧 (新潟県内地点の一部)

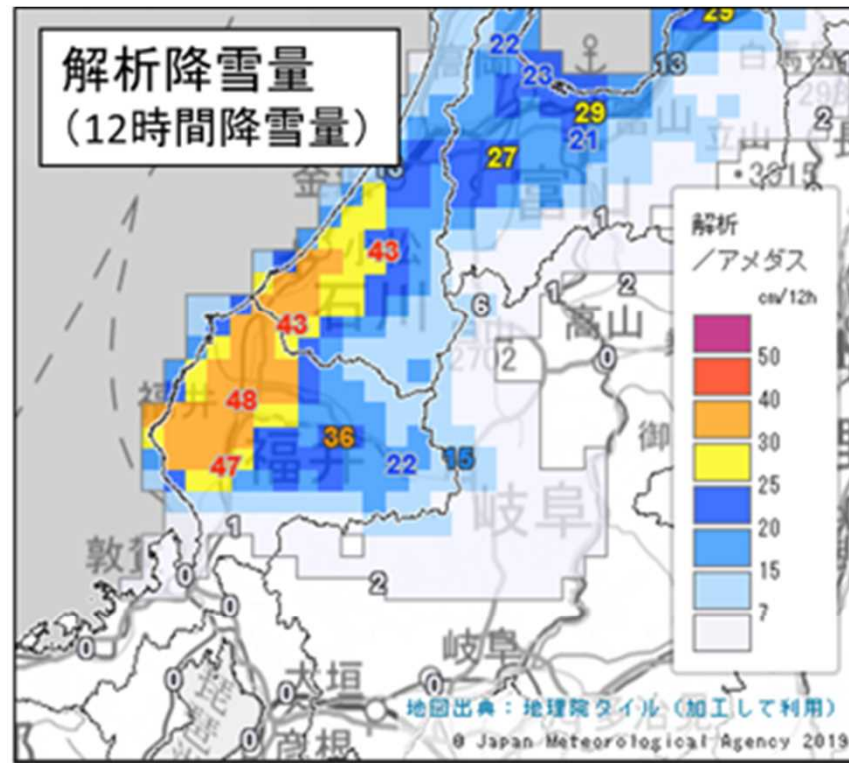
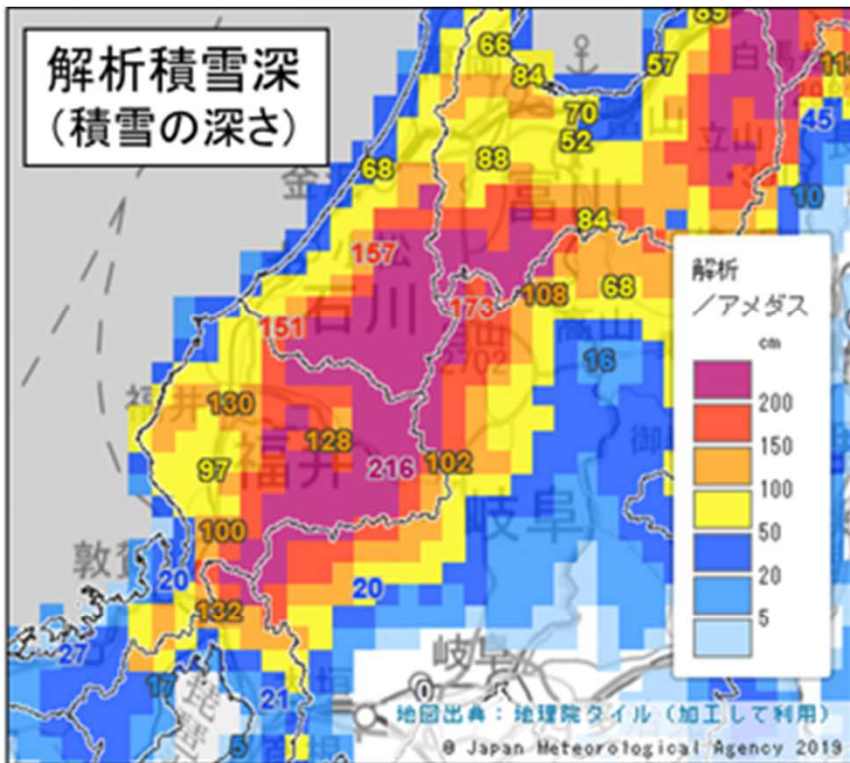
地点名	50年に一度の積雪深 (cm)	既往最深積雪 (cm)
相川	54	65
新潟	103	120
高田	213	377
下関	—	178
松浜	152	57
新津	240	187

「50年に一度の積雪深」を地図上に色分けした図



今後の雪（解析積雪深・解析降雪量）

解析積雪深・解析降雪量は、積雪の深さと降雪量の実況を1時間ごとに約5km四方の細かさで推定するものです。解析積雪深・解析降雪量を利用すると、積雪計による観測が行われていない地域を含めた積雪・降雪の面的な状況の把握でき、的確な防災対応に役立ちます。



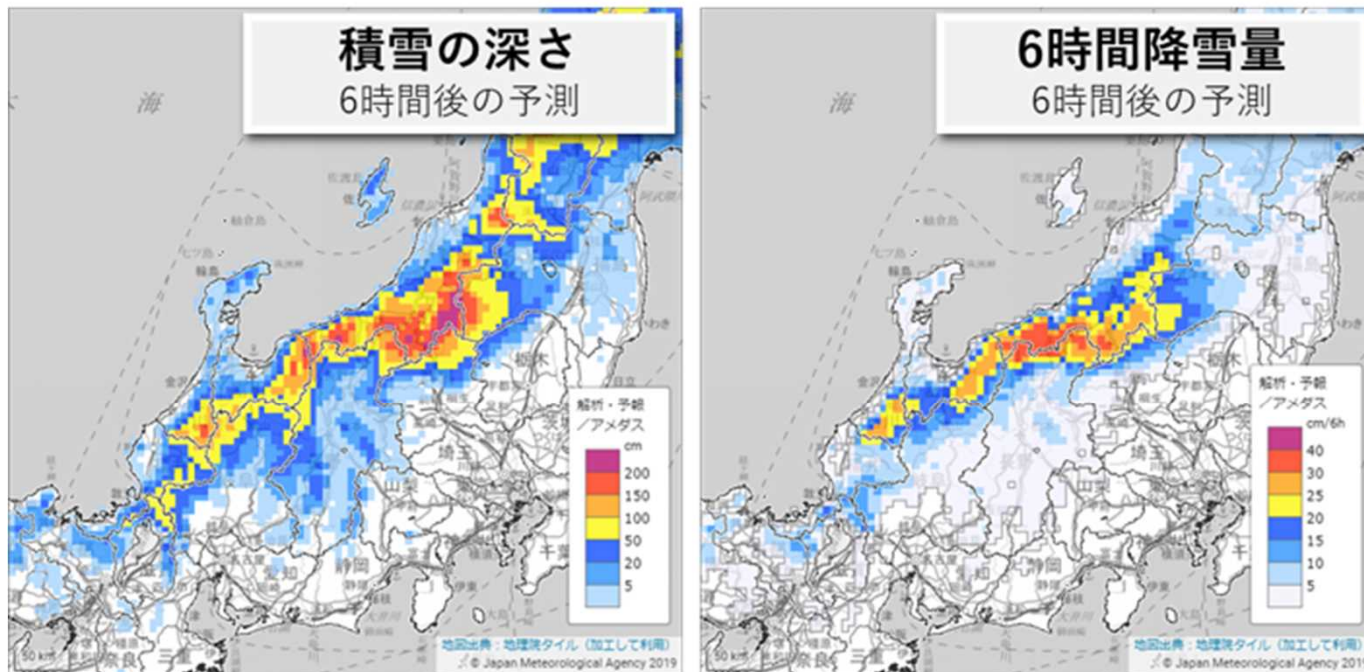
解析積雪深と解析降雪量の描画例(平成30年2月6日12時。日本時間)

数字はアメダスの積雪計の観測値。単位はセンチメートル。

今後の雪（降雪短時間予報）

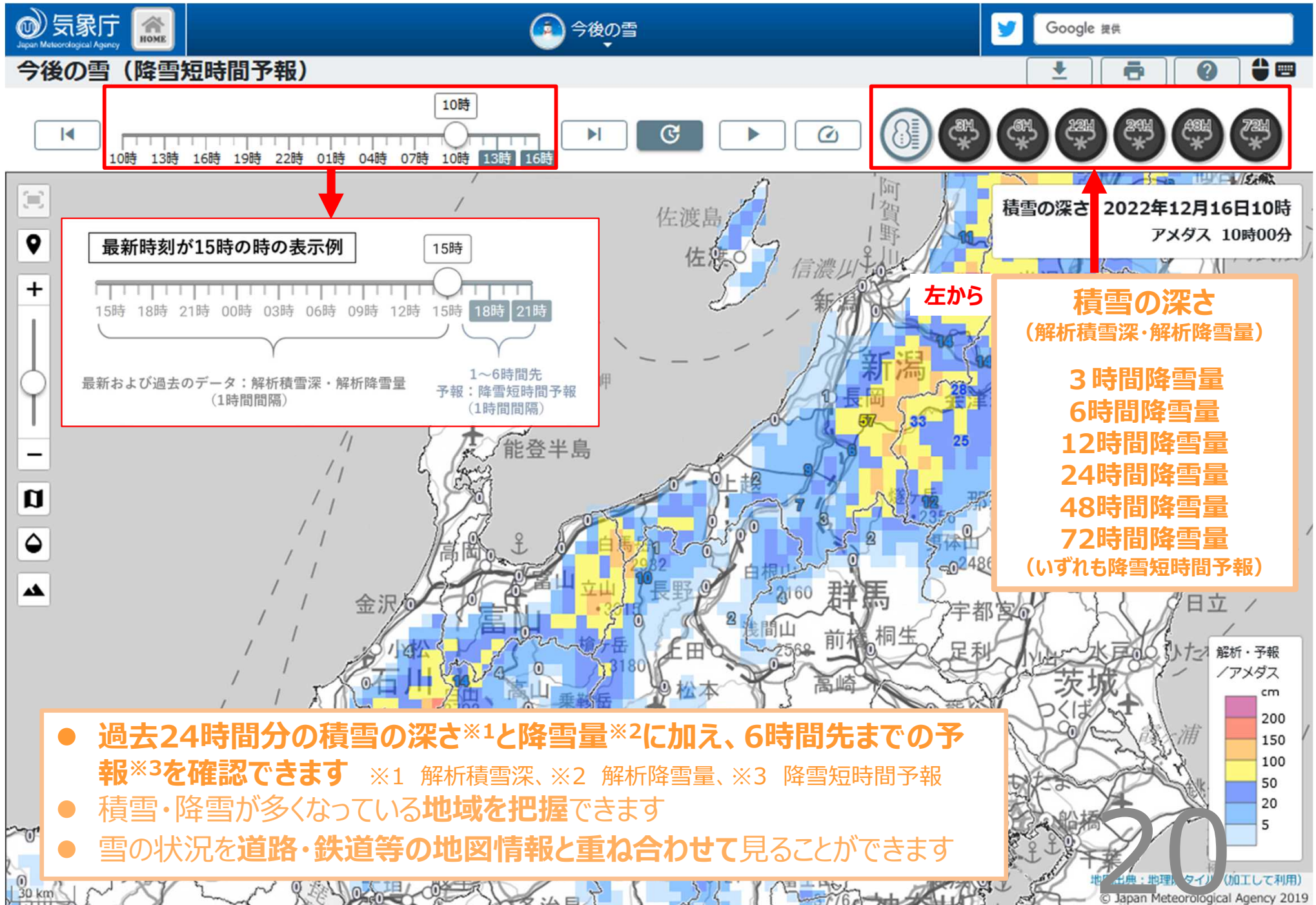
降雪短時間予報は、6時間先までの1時間毎の積雪の深さと降雪量を約5km四方の細かさで面的に予測したもので、1時間毎に発表します。**解析積雪深、解析降雪量**と合わせて、積雪深計による観測が行われていない地域を含めた積雪・降雪の解析・予測を面的な情報として把握でき、雪による交通への影響を前もって判断すること等に活用いただけます。

解析積雪深・解析降雪量、降雪短時間予報は約5km四方の平均的な値のため、局地的な降雪の多寡は表現できません。降雪量は少なめに予想する傾向があります。格子の値そのものを直接利用せず、積雪の深さや降雪量の大まかな分布状況・予報を把握するために利用してください。警報・注意報の発表状況について併せてご確認ください。



降雪短時間予報の「積雪の深さ」と「降雪量」の予測の描画例
(令和2年12月30日15時初期値。日本時間)

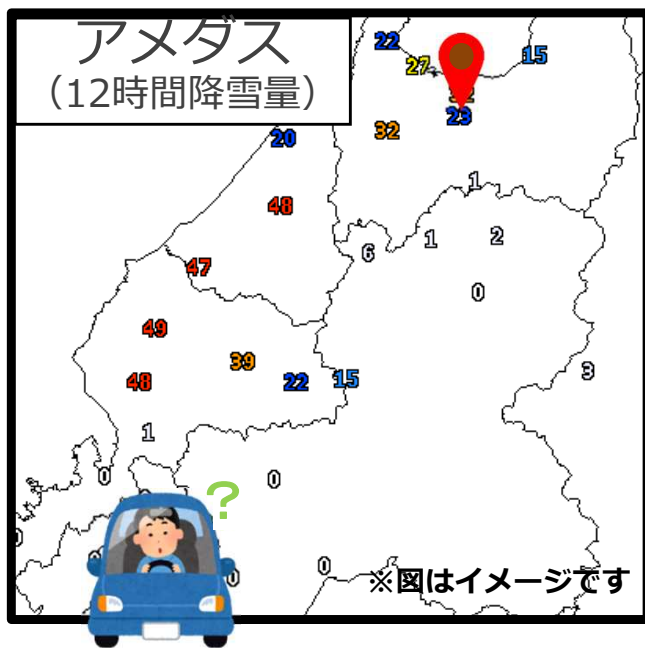
今後の雪 (解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報)



今後の雪の活用例

- 「今後の雪」ページでは、積雪・降雪が多くなっている**地域を把握**できます。
- 「今後の雪」ページでは、雪の状況を**道路・鉄道等の地図情報と重ね合わせて**見ることができます。
- 外出前に「今後の雪」ページと、交通情報や目的地の情報を合わせて確認することで、**経路の変更**や除雪などの**交通障害への備え、予定や計画等**様々な活用いただけます。

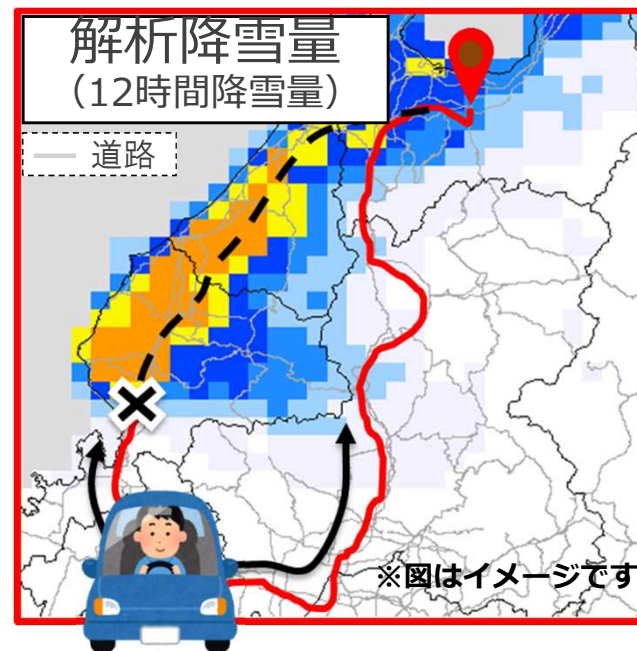
実測値はアメダスで確認



ニュースで大雪だと言っていたけど、出かけないといけない。どこの道路を通るのがいいんだろう？

アメダスだけでは細かな地域を確認できない！

解析降雪量の活用例



海寄りの地域で降雪量が多くなっているようだから、内陸の道路を通ろう！

【利用上の留意点】

約5km四方の格子内の平均的な値であるため、格子ひとつひとつの値を直接的に利用するのはなく、上図の例のように積雪・降雪のおおまかな分布を把握するために利用してください。

1.大雪と災害

2.大雪と防災気象情報

3.大雪時の防災気象情報時系列

令和4年度 今冬の記録

令和4年度 今冬の記録 (北陸地方整備局道路部)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/road/kiroku/kiroku.html>

令和4年度今冬の記録 p.6
トピックス (2) 長岡国道管内での集中降雪(柏崎地域)
での集中降雪(柏崎地域)

1. 道路に関する出来事
2. トピックス
3. 今冬の気象状況
4. 直轄国道の立ち往生車両発生状況
5. 今冬の取組
6. 今冬の写真

2. トピックス (2) 長岡国道管内での集中降雪(柏崎地域)

- ◆ 新潟県柏崎市では、12月19日からJPCZの影響で短期・集中的な降雪となり、観測史上最大の日降雪量(72cm)を38年ぶりに記録
- ◆ 本格的な降雪前より、事故に起因して北陸自動車道が長期の通行止め(約52時間)となり、国道8号に多くの交通が流入、記録的な降雪と相まって立ち往生車両に起因する大規模な車両滞留が発生
- ◆ 災対法区間指定及び約38時間に及ぶ通行止めにより集中除雪を実施

通行止め・災対法の区間指定状況



2022年12月18日から19日にかけての大雪による交通規制等の時系列

交通規制等の時系列



令和4年度 今冬の記録



令和5年4月

国土交通省
北陸地方整備局 道路部

令和4年12月18日～19日の大雪と防災気象情報①

月日	時刻	防災気象情報／交通規制等
12月14日	11:00	早期注意情報（警報級の可能性） 中越 18日「中」
16日	17:00	早期注意情報（警報級の可能性） 中越 18日・19日「高」
17日	07:08	大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第3号

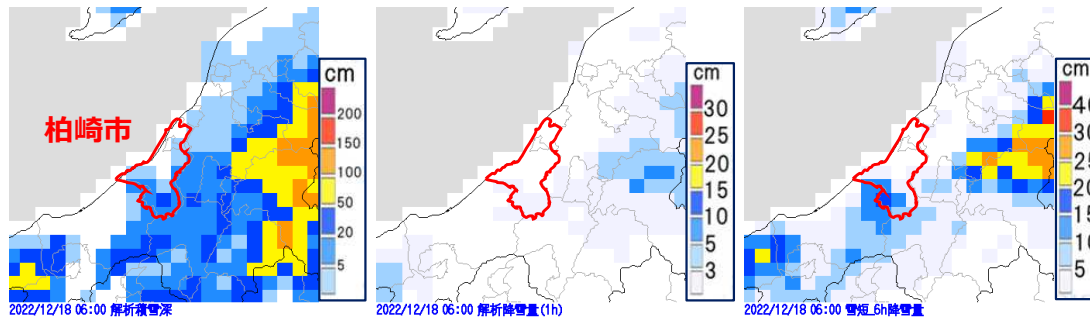
18日夜のはじめ頃から19日にかけて、中越では大雪による交通障害に警戒し、下越、上越では注意・警戒してください。佐渡では18日昼前から昼過ぎにかけて雪を伴った強風に、中越、上越、佐渡では18日朝から昼過ぎにかけて高波に注意・警戒してください。

16:48 大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第4号

18日夜遅くから19日にかけて、中越では大雪による交通障害に警戒し、下越、上越では注意・警戒してください。18日は中越、上越の海上と佐渡では高波や雪を伴った強風に注意・警戒してください。

04:22 大雪・着雪注意報（中越）

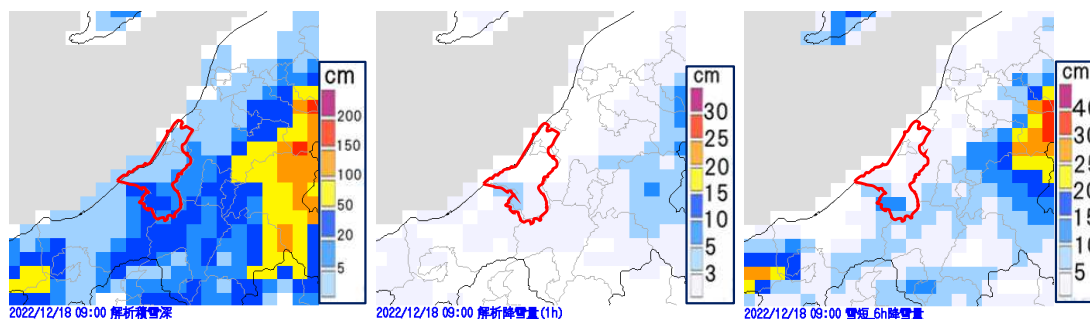
06:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



06:15 大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第5号

18日夜遅くから19日夕方にかけて、中越では大雪による交通障害に警戒し、下越、上越では注意・警戒してください。新潟県では、18日昼前にかけて雪を伴った強風に、19日明け方にかけて高波に注意・警戒してください。

09:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



交通関係事業者

(自動車関連事業者)

輸送の安全確保方策、利用者の安全確保方策等について検討

(高速道路会社)

- 体制準備
- 広域応援派遣の準備
- 関係機関との事前調整
- 大雪事前広報（通行止め可能性、冬装備要請）

(鉄道事業者)

- 除雪体制の確保
- 線区の状況把握
- 乗客等への運行情報を提供

(高速道路会社)

- 体制強化
- 道路のパトロール強化
- 凍結防止散布図

※注意

この時系列表は、決して当時のそれぞれの対応を検証・避難するためのものではありません。実事例をもとに今後の対応を考えていただきたいと思い、作成しています。

令和4年12月18日～19日の大雪と防災気象情報②

月日 時刻 防災気象情報／交通規制等
12月18日 15:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））

交通関係事業者

（鉄道事業者）

- 除雪体制の確保
- 線区の状況把握
- 乗客等への運行情報を提供

（高速道路会社）

- 体制強化
- 道路のパトロール強化
- 凍結防止散布図

（高速道路会社）

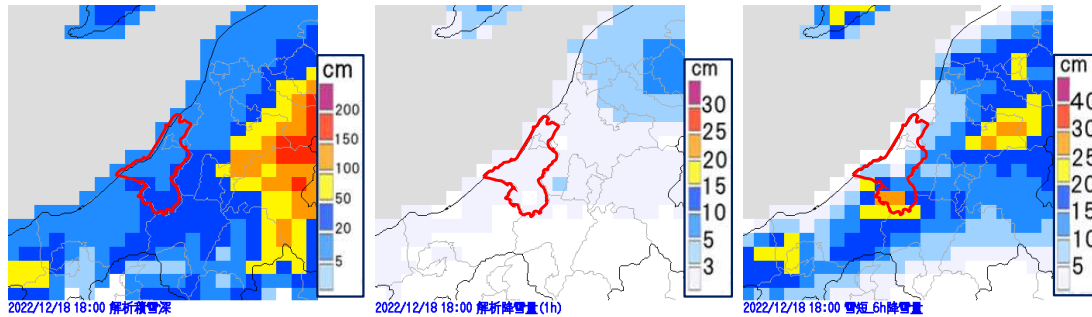
- 一般道との通行止めのタイミングの調整
- ドライバーへの情報提供

夕方

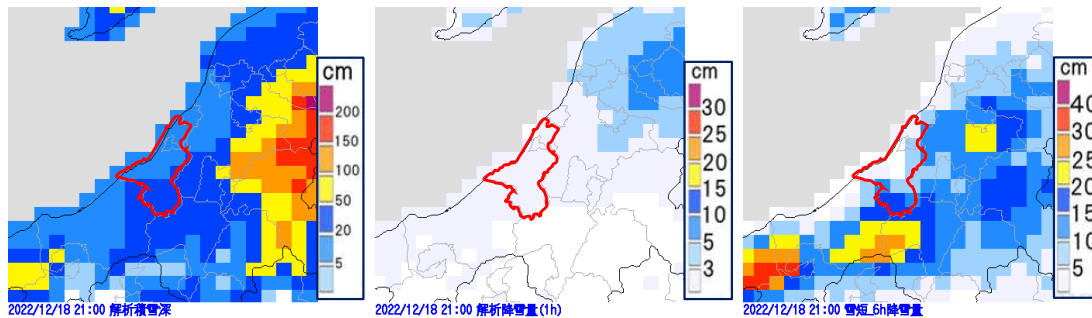
16:02 **大雪警報／風雪・なだれ・着雪注意報（中越）**
16:45 **北陸道（柏崎IC～中之島見附IC）通行止め**
17:00 **大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第6号**

下越では19日昼前にかけて、中越では18日夜のはじめ頃から19日夕方にかけて大雪による交通障害に警戒し、佐渡では19日明け方にかけて高波に注意・警戒してください。また、新潟県では落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意してください。

18:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



21:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



夜のはじめ頃

夜遅く



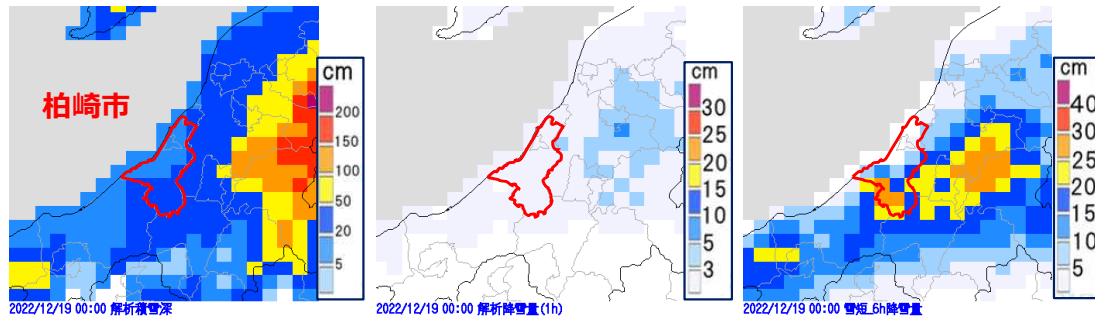
※注意

この時系列表は、決して当時のそれぞれの対応を検証・避難するためのものではありません。実事例をもとに今後の対応を考えていただきたいと思い、作成しています。

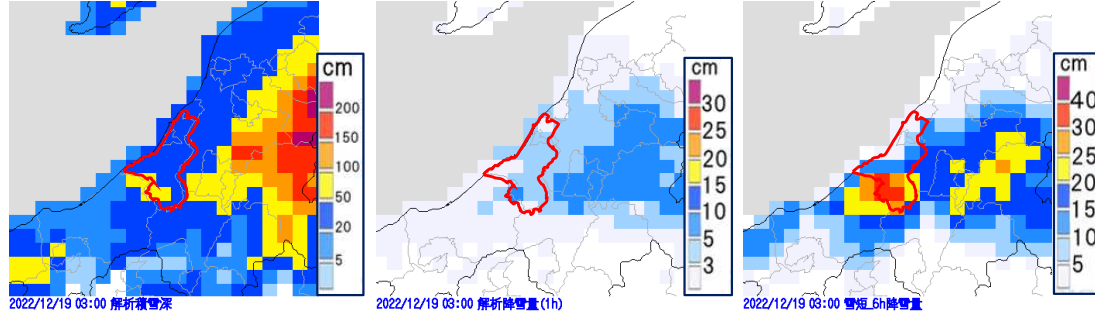
令和4年12月18日～19日の大雪と防災気象情報③

月日 時刻
12月19日 00:00

防災気象情報／交通規制等
実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



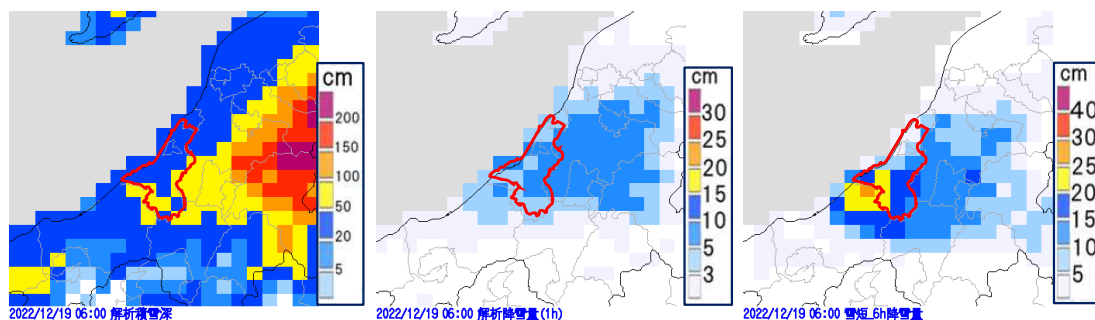
03:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



05:45 大雪と高波及び風雪に関する新潟県気象情報 第7号

中越と下越では19日夕方にかけて大雪による交通障害に警戒してください。また、新潟県では19日夜遅くにかけて落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意してください。

06:00 渋滞発生（米山周辺・鯨波周辺）
06:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



交通関係事業者

（鉄道事業者）

- 除雪体制の確保
- 線区の状況把握
- 乗客等への運行情報を提供

（高速道路会社）

- 体制強化
- 道路のパトロール強化
- 凍結防止散布図

（高速道路会社）

- 迅速な通行止め措置
- 関係機関との情報交換、通行止めに関する広報
- 改正災対法にもとづき区間を指定し、立ち往生車両を移動
- 資機材等の広域応援を実施

（鉄道事業者）

- 迅線路の除雪作業及び救援列車等による乗客の援助
- 乗客に対し、食料や毛布等を配布

※注意

この時系列表は、決して当時のそれぞれの対応を検証・避難するためのものではありません。実事例をもとに今後の対応を考えていただきたいと思い、作成しています。

未明

明け方

朝

令和4年12月18日～19日の大雪と防災気象情報④

月日
12月19日

時刻 防災気象情報／交通規制等

交通関係事業者

(高速道路会社)

- 迅速な通行止め措置
- 関係機関との情報交換、通行止めに関する広報
- 改正災対法にもとづき区間を指定し、立ち往生車両を移動
- 資機材等の広域応援を実施

(鉄道事業者)

- 迅線路の除雪作業及び救援列車等による乗客の援助
- 乗客に対し、食料や毛布等を配布



北陸地方整備局「令和4年度今冬の記録」より

※注意

この時系列表は、決して当時のそれぞれの対応を検証・避難するためのものではありません。実事例をもとに今後の対応を考えていただきたいと思い、作成しています。

朝

昼前

昼過ぎ

夕方

08:00 顕著な大雪に関する新潟県気象情報 第8号

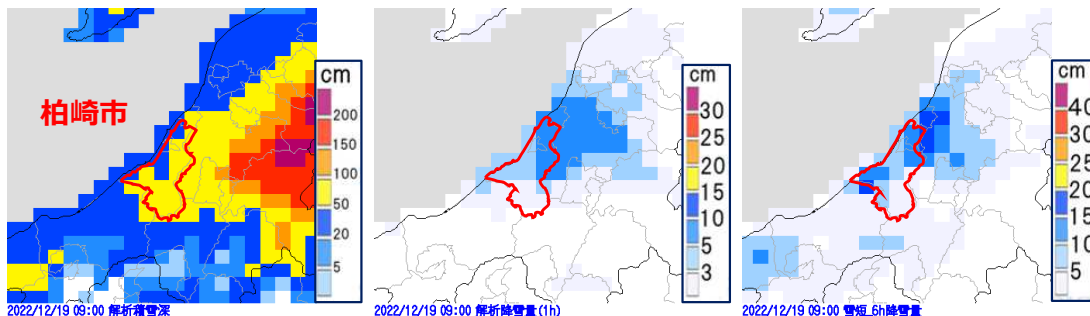
魚沼市守門では、19日7時までの6時間に45センチの顕著な降雪を観測しました。この強い雪は19日夕方にかけて続く見込みです。中越の山沿いでは、大規模な交通障害の発生するおそれが高まっています。

08:30 渋滞発生（日吉周辺）

08:32 大雪と雷及び突風に関する新潟県気象情報 第9号（図情報）

魚沼市では顕著な大雪となっている所があります。この強い雪は19日夕方にかけて続く見込みです。また、柏崎地域や長岡地域の平地でも降雪が強まっています。大雪による交通障害に警戒してください。

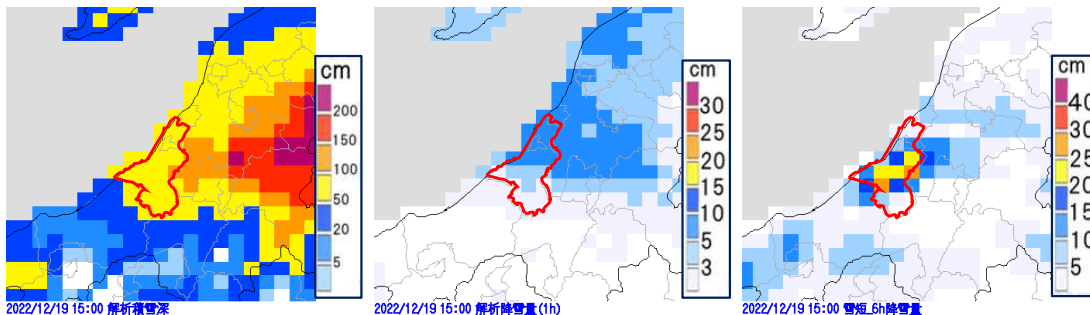
09:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



11:47 大雪と雷及び突風に関する新潟県気象情報 第10号

柏崎地域では、除雪が困難となる積雪になる可能性があります。19日夕方にかけて、さらに大雪警報級の強い雪が続く見込みです。大雪に厳重に警戒し、交通障害が発生する可能性を考慮して、不要不急の外出を控えるようにしてください。

15:00 実況・予想（解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報（6時間））



15:40 通行止め（集中除雪）

新潟地方気象台の取組み

新潟地方気象台では、運輸事業者の皆さまの業務を支援するために、以下のような取組みを行っています。

1 平時（通常時）

- **出前講座**
防災気象情報・地震火山情報等の読み解き方を理解し、業務への活用をしていただくことを目指します。
- **事業継続計画への助言**
事業継続を判断するための的確な基準の作成へ助言します。
- **気象台への要望の確認**
事業継続のために気象台の提供するサービスの向上に努めます。

2 緊急時（悪天時等）

- **天気の見通しについて情報提供**
予想される悪天に対し、的確に事業継続を判断するための情報を提供します（電話やメールなど）。

終わります

新潟地方気象台は、運輸事業者の
皆さまの業務を支援して参ります。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

< 運輸防災マネジメントセミナー >

大雪時の道路交通確保対策



北陸地方整備局

国土交通省

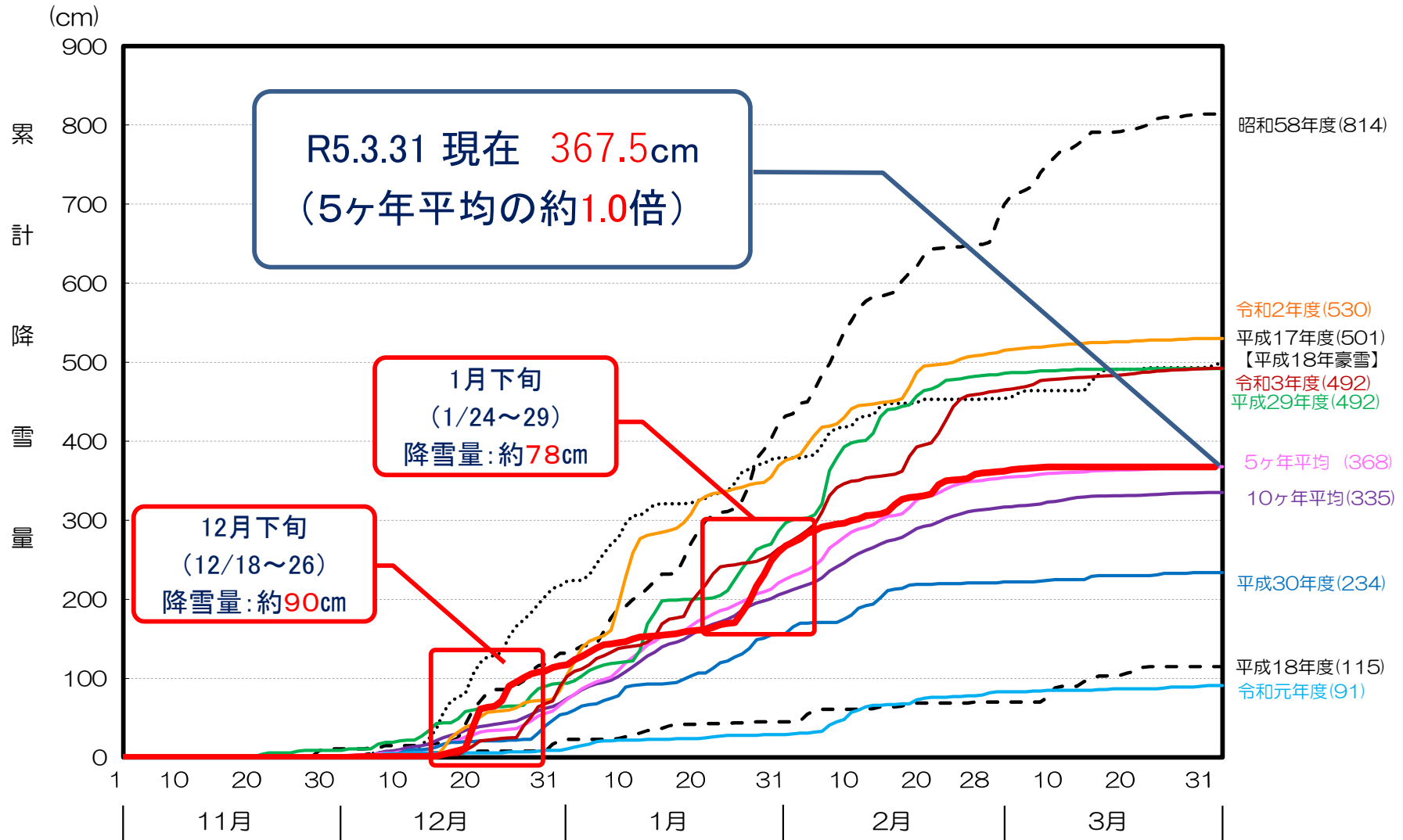


1. 昨冬の降雪状況	1
2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応	5
3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み	13

1. 昨冬(令和4年度)の降雪状況(累加降雪量)



- 令和4年度の北陸地方整備局管内の降雪量は平年並み(5カ年平均の1.0倍)
- 12月下旬、1月下旬の寒波により約5割の降雪を観測



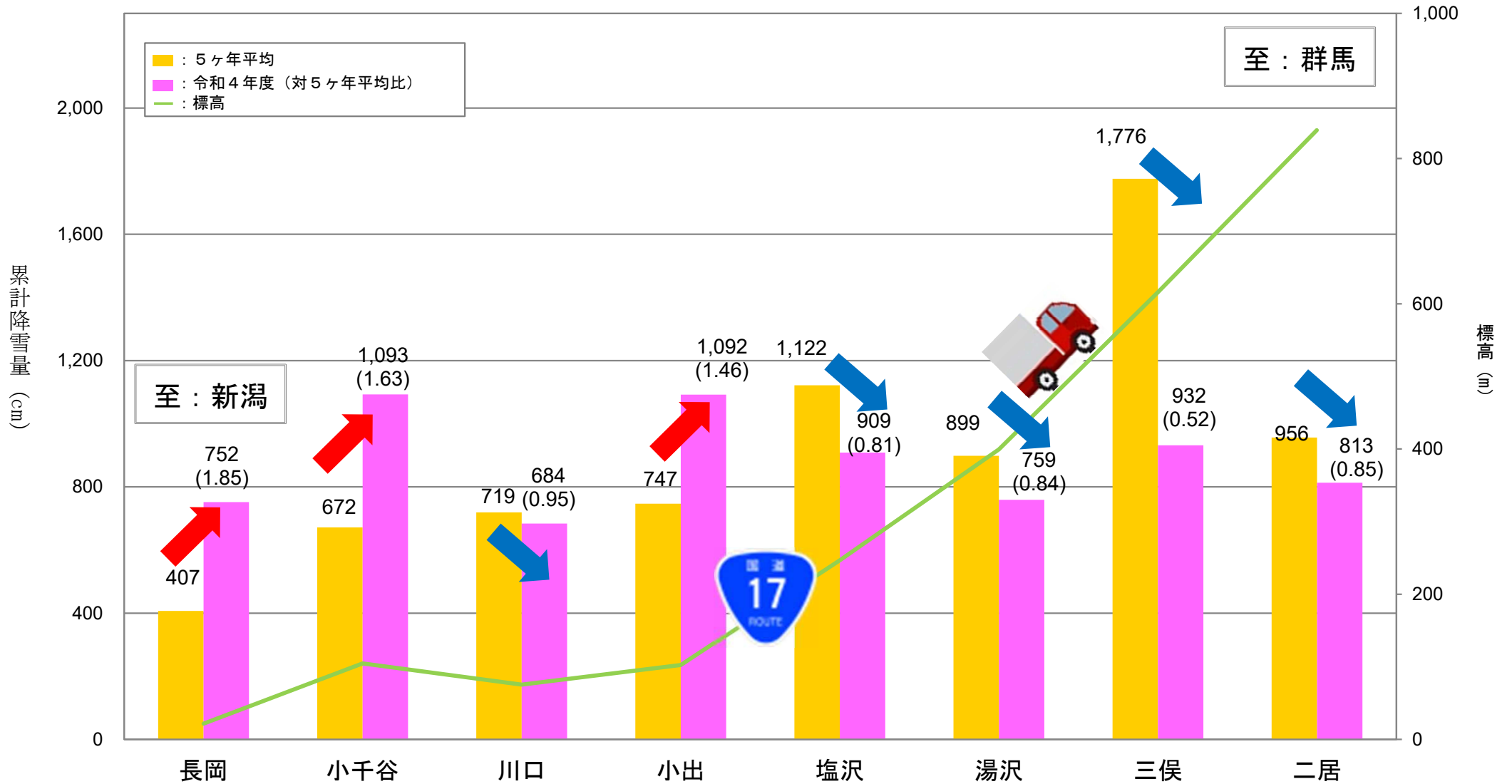
グラフ：北陸地方整備局 管内一般国道指定区間の累計降雪量

(42観測地点の加重平均 令和5年3月31日 8:30現在)

1. 昨冬(令和4年度)の降雪状況(降雪傾向)



- 令和4年度は、平均と比較し平野部の降雪量多く、山間部は少ない



図：国道17号 観測所別累加降雪量

1. 昨冬(令和4年度)の降雪状況(立ち往生発生状況)

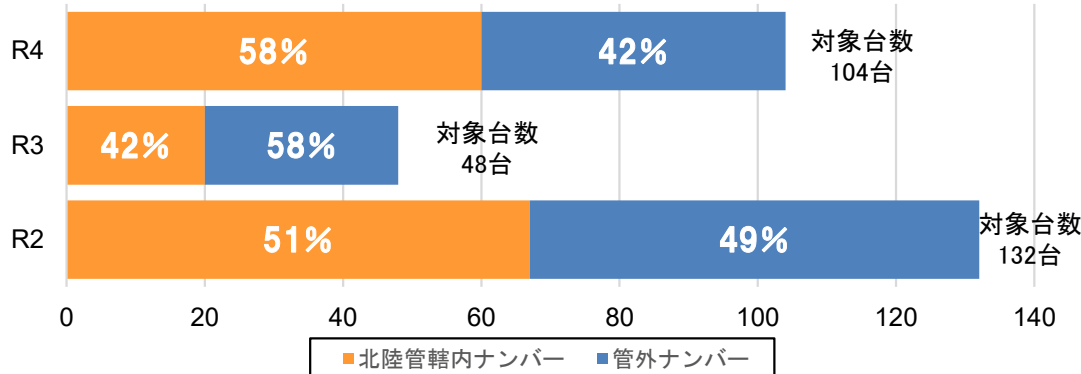


- 令和4年度は直轄国道で発生した立ち往生は173台※1
- 地域名を確認できた車両は104台、その内、北陸管内※2 の地域名車両は60(58%)

立ち往生車両発生件数一覧表 (令和5年3月31日現在)

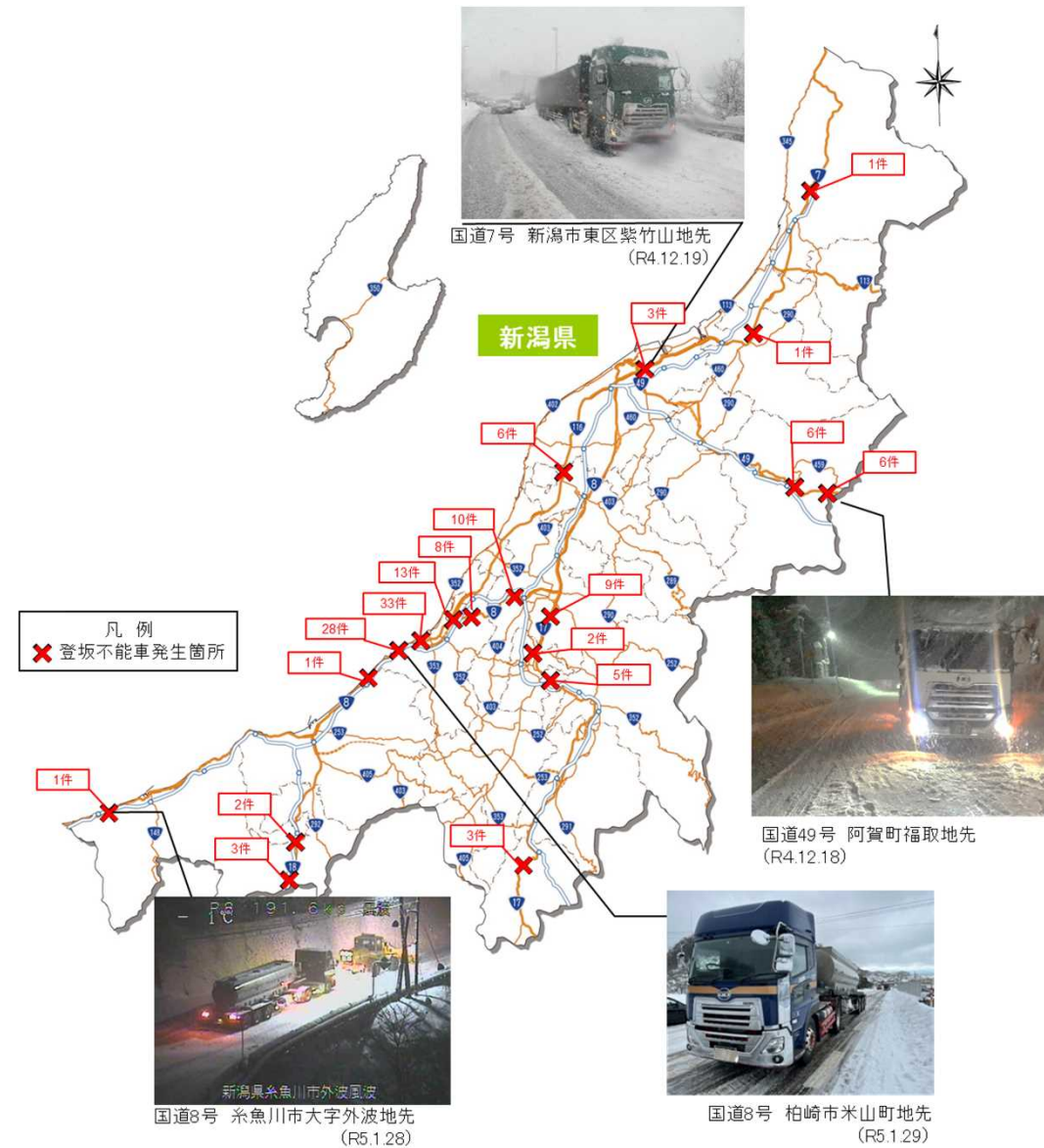
道路種別	県名			北陸計	
	新潟県	富山県	石川県		
一般国道	7号	5	-	-	5
	8号	94	11	7	112
	17号	19	-	-	19
	18号	5	-	-	5
	41号	-	1	-	1
	49号	12	-	-	12
	116号	6	-	-	6
	160号	-	8	-	8
	470号	-	1	4	5
合計	141	21	11	173	

地域名別ナンバー比較



※1過去3年において、北陸地方整備局が、巡回等で立ち往生を確認した地域別ナンバーの件数
地域別の交通量を考慮した数値ではない

※2 新潟、長岡、上越、富山、石川、金沢ナンバー



図：立ち往生発生箇所状況



積雪・凍結時の遵守法令

- 積雪又は凍結した路面では、冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が都道府県道路交通法施行細則又は道路交通規則(運転者の遵守事項)によって規定されています。(沖縄県を除く)
違反行為は、反則金の適用となります。(大型：7千円、普通：6千円、自動二輪：6千円、原付車：5千円)

■ 都道府県道路交通法施行細則又は道路交通規則(抜粋)(2023年8月現在)

(新潟県：新潟県道路交通法施行細則 第12条第1号)

積雪又は凍結のため、すべるおそれのある道路において自動車又は原動機付自転車を運転するときは、次のいずれかに該当するすべり止めの措置を講ずること。

- イ 前又は後の駆動輪のタイヤに鎖等を取り付けること。この場合において、他の車両をけん引するときは、被けん引車の最後軸輪にも鎖等を取り付けること。
- ロ 全車輪に、すべり止めの性能を有する雪路用タイヤを取り付けること。

(富山県：富山県道路交通法施行細則 第17条第3号)

積雪又は凍結している道路において、車両(軽車両を除く。)を運転するときは、タイヤチェーン又は滑り止め用特殊タイヤを取り付けるなど、路面の状況に応じ有効な滑り止め装置を講ずること。ただし、タイヤチェーンについては、前車輪又は後車輪に取り付けられれば足りる。

(石川県：石川県道路交通法施行細則 第12条第1号)

積雪又は凍結している道路において、自動車又は原動機付自転車を運転するときは、雪道用タイヤ(滑り止め性能を有する雪道用タイヤで接地面の突出部が五十パーセント以上摩耗していないものに限る。)を全車輪に装着し、又はタイヤチェーン等を駆動輪(全ての車輪が駆動するものにあたっては、前軸輪又は後軸輪)及び被けん引車の最後部の軸輪に取り付けて滑り止めの措置を講ずること。

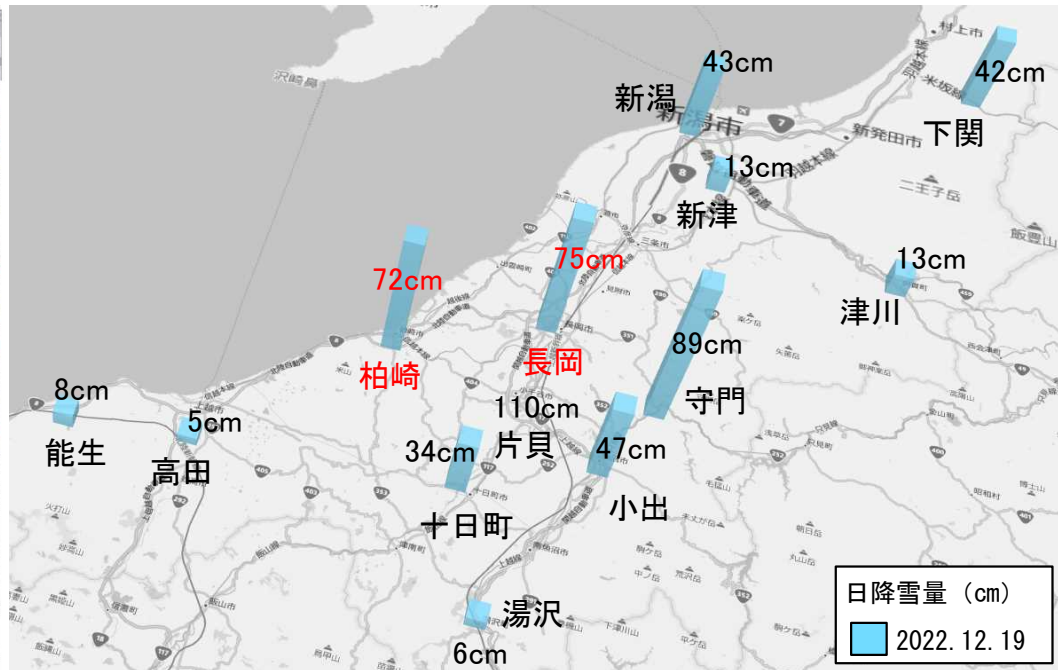
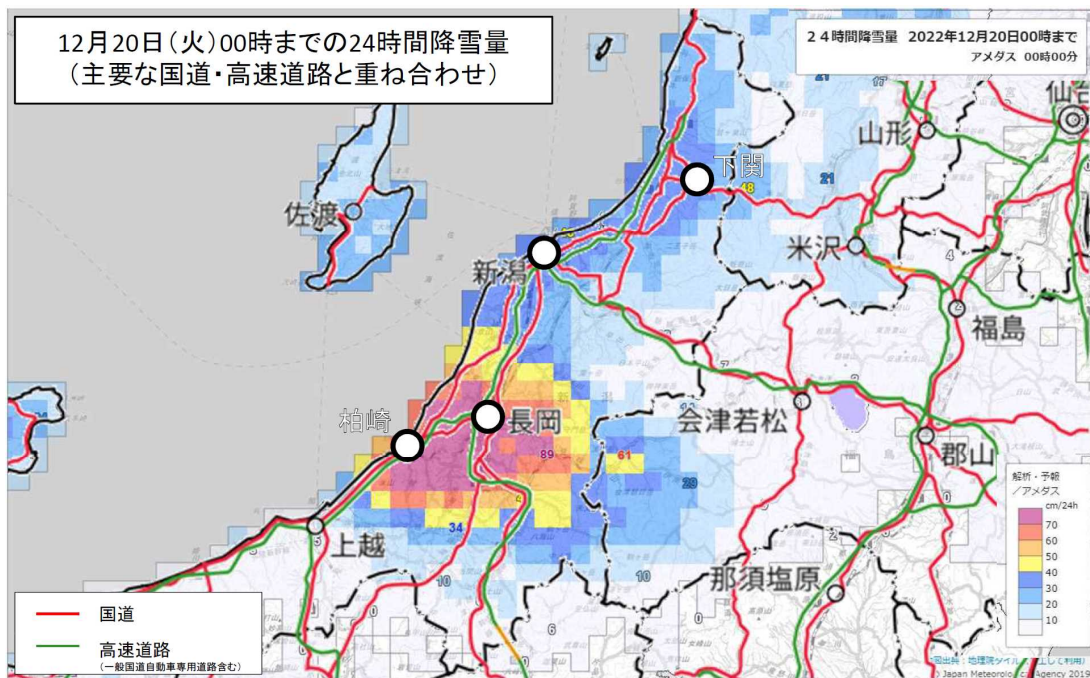
(長野県：長野県道路交通法施行細則 第14条第2号)

積雪又は凍結している道路において自動車(二輪のものを除く。)を運転するときは、タイヤ・チェーン又は防滑タイヤ(滑り止めの性能を有するタイヤをいう。以下この号において同じ。)を用いる等滑り止めの処置を講ずること。この場合、タイヤ・チェーンを用いるときは両側の後輪(前輪駆動により走行するものは前輪)、防滑タイヤを用いるときは全輪とすること。

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応



- 令和4年12月18日から19日にかけて非常に強い寒気が入り強い冬型の気圧配置
- 19日未明には、JPCZの影響による柏崎市・長岡市を中心に集中的な降雪

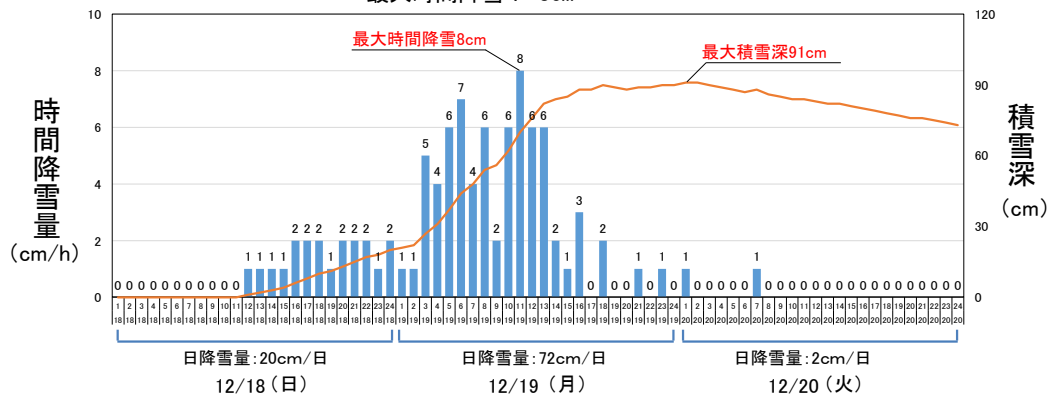


※気象庁アメダス、観測地点上にグラフをプロット
※片貝は小千谷市提供データによる

【柏崎 時間降雪量】

※気象庁 柏崎観測所

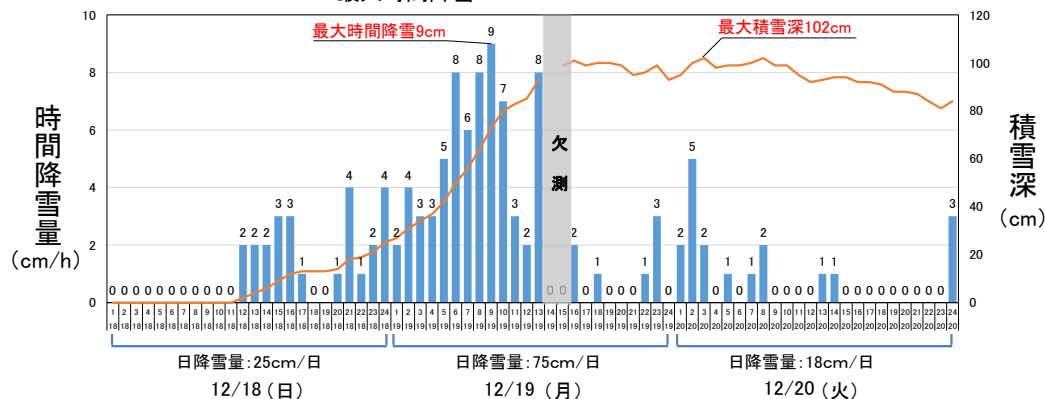
最大積雪深 : 91cm [12月20日] ※観測史上第2位 (12月)
最大日降雪量 : 72cm [12月19日] ※観測史上最大
最大時間降雪 : 8cm



【長岡 時間降雪量】

※気象庁 長岡観測所

最大積雪深 : 102cm [12月20日] ※観測史上第2位 (12月)
最大日降雪量 : 75cm [12月19日] ※観測史上第3位
最大時間降雪 : 9cm



図：令和4年度新潟県内の冬期道路に関する検討会資料 「降雪状況」抜粋

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応



- 18日夕方から高速道路では同時多発的に発生した事故に伴い、広範囲・長時間に及ぶ通行止めが発生
- 国道8号、17号でも立ち往生車が多発し、これらを契機として大規模な車両滞留に発展

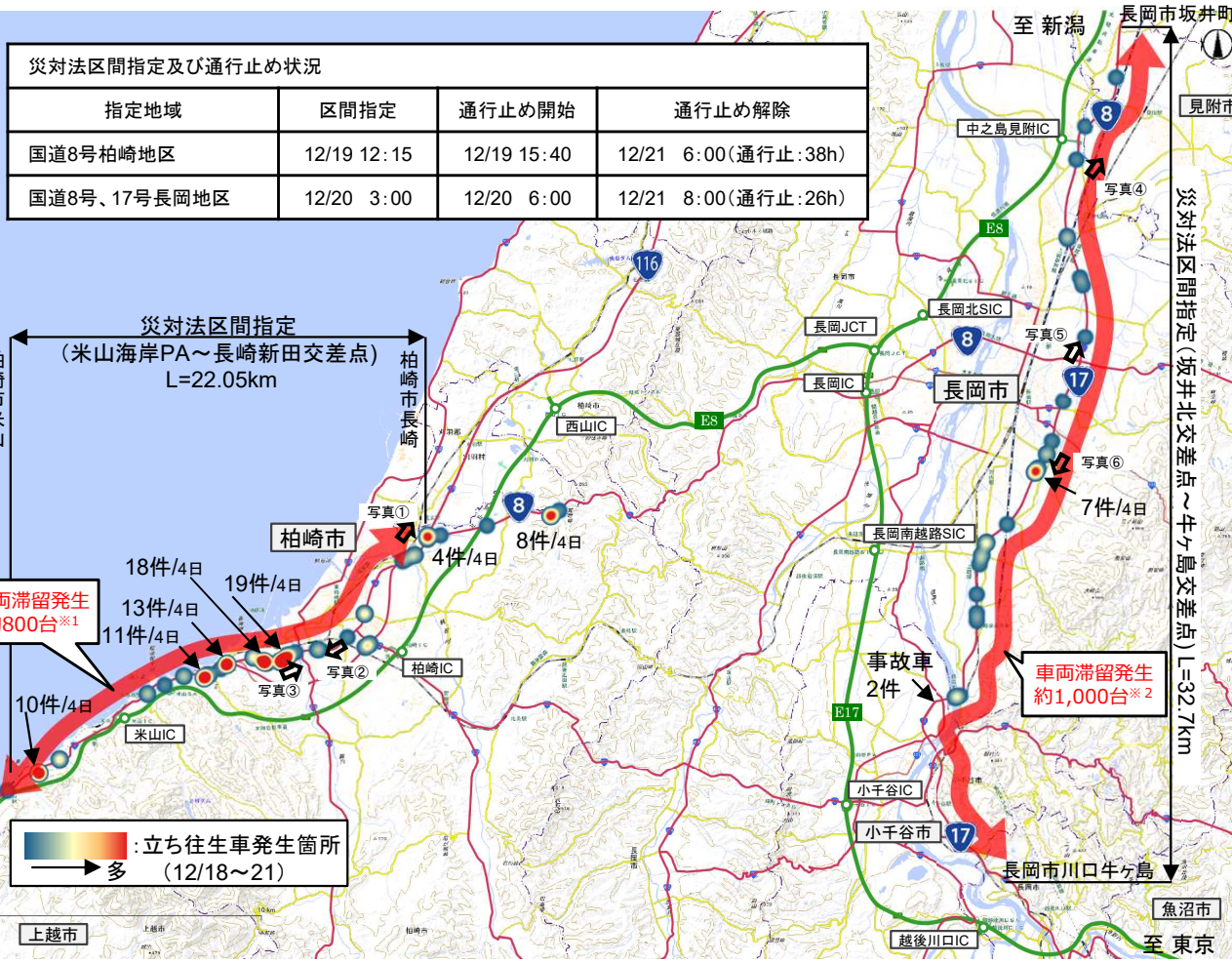
写真① 19日13時頃 長崎新田87.3kp (上り)



写真② 20日9時頃 幸町93.8kp (上り)



写真③ 21日1時頃 米山台94.9kp (下り)



写真④ 20日10時頃 中之島見附IC付近 (下)



写真⑤ 19日20時頃 川崎58.3kp (下り)



写真⑥ 19日20時頃 高畑南280.4kp (上り)



※1、2 柏崎地区はTEC-FORCE(現地活動班)による滞留車両の確認及び支援物資の配布台数、長岡地区はCCTV映像等から滞留車両台数を推定

図：令和4年度新潟県内の冬期道路に関する検討会資料 「交通障害・立ち往生発生の状況」抜粋

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(当面の対応)



- 記録的な集中降雪による長時間の車両滞留における課題に対し同様の降雪が発生した際の道路交通の混乱を最小限とすることを目的に有識者、事業者、道路管理者で構成する検討会を設置

方向性	見直し項目	対応
行動計画見直し	降雪量による行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 閾値:10cm/時間、2連続5cm/時間による行動計画策定【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・実測値判断により機械的に通行止めによる集中除雪を実施 〔 予防的通行規制区間の代表観測所を設定(長岡:川崎、柏崎:日吉町) 〕 ・国道事務所の監視員による降雪量の24時間監視を実施 ● 関係機関と実測降雪量を共有(情報連絡本部開設時)【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・共有サイトを活用し国道事務所より情報連絡本部構成機関へ随時情報共有を実施 ・降雪予測に加え実測値共有による道路ネットワーク全体への注意喚起を強化 ・顕著な降雪(5cm/h)観測時はSNS等によりメディア及び道路利用者に情報提供
	情報連絡本部設置基準の追加	<ul style="list-style-type: none"> ● 閾値により情報連絡本部設置を自動化【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の設置基準に加え降雪量による設置基準を設定 ・情報共有タイミング、方法、内容等を関係機関と再協議
	国道・高速道路の同時通行止め	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道・高速道路の同時通行止【国道・高速共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・国道と高速道路のどちらかにおいて交通障害が発生した場合、緊密な連携のもと躊躇なく同時通行止めを実施 ・降雪地域への交通流入抑制(広域迂回誘導の強化、必要に応じたUターン処理など)を実施
予防的通行規制区間の追加	長岡地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有化 ・受注者等による通行規制要員の確保
	柏崎地区	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏崎市米山台から同市曾地間の予防的通行規制区間を新設【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有化 ・柏崎市日吉町から天神町間を通行止めし、新潟県管理区間(国道252号)を含む柏崎バイパスへの交通誘導を実施 ・降雪期間を通じた除雪車の事前配備 ・受注者等による通行規制要員の確保

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(当面の対応)



方向性	見直し項目	対応
各種情報提供及び出控え広報の強化	各事象毎の情報内容の追加	<ul style="list-style-type: none"> ●巡回強化【高速】 <ul style="list-style-type: none"> ・巡回強化などによる安全運転の徹底 ●出控え広報【国道・高速共通】 <ul style="list-style-type: none"> ・出控え広報等を継続し、大雪時の交通量を抑制 (道路情報板、SA・PAデジタルサイネージ、SNS、インターネット広告、トラック協会への依頼等) ・毎日、定時(6時、16時)の情報提供(路面状況:Twitter)において、大雪時の不要不急の出控え広報を追加 ●事前準備【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・広報内容及び体制、タイミングを行動計画において事前設定 ・気象(降雪)情報を踏まえた渋滞状況調査人員(地元業者等)の事前確保 ●大雪警報発表時【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・道路情報板で「大雪警報発表中」と「不要不急の出控え」表示、毎日の情報提供頻度増 ●事象発生時:スタック車発生【国道】 <ul style="list-style-type: none"> ・スタック車の情報提供、マスコミに対し定時の記者発表の実施 ・滞留しているドライバー向けに定時での情報発信(今後の見通し、乗員保護活動等) ・Twitterによる「大型車チェーン必要」の情報発信 ・乗員保護活動時にドライバーへの情報提供(Twitter、HPのQRコード)

図：令和4年度新潟県内の冬期道路に関する検討会資料 「当面の対応」抜粋

定時情報

定時情報に「不要不急の出控え」を追加

大雪警報時

大雪警報発表の情報提供

関係機関が連携し、迅速な情報提供を実施

【長岡市LINE】

通行止め時

規制箇所でのUターン状況

除雪状況

路面状況

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(まとめ)



● 検討会における提言を踏まえソフト・ハードの対策を推進

【第1回対策検討会(令和5年1月23日)】

行動計画の見直し

降雪量による行動計画【国】

- 降雪量の**閾値による行動計画策定**【国】 4ページ
 - ・実測値判断により機械的に通行止め、集中除雪を実施
- 関係機関と**実測降雪量を共有**(情報連絡本部開設時)【国】 4ページ
- 閾値による行動計画の実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

情報連絡本部設置基準の追加【国】

- 降雪量の**閾値により情報連絡本部設置を自動化**【国】 4ページ
 - ・予測値による従来の設置基準に加え降雪量実測値による設置基準の設定等
- 閾値による情報連絡本部の設置を遅滞なく実行するため、来冬に向けて訓練を実施【国】

国道・高速道路の同時通行止め【国・高速共通】

- 国道と高速道路のどちらかにおいて、交通障害が発生した場合、**緊密な連携のもと躊躇なく同時通行止めを実施**【国・高速共通】 4ページ
- 降雪地域への交通流入抑制を実施【国・高速共通】

災害対策基本法の運用見直し

- 降雪量の閾値による災対法区間指定(予防的通行規制区間)【国】
- 車両滞留が発生する恐れがある場合には、閾値により遅滞なく災対法区間指定を実施するものとし、実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】
- 荷主及び車両管理者への牽引等に関する周知【国】

予防的通行規制区間の追加

- 長岡市福島から小千谷市木津区間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・閾値による除雪梯団の運用方針を共有[長岡・柏崎]
 - ・受注者等による**通行規制要員の確保**[長岡・柏崎] 4ページ
- 柏崎市米山台から同市菅地間の予防的通行規制区間を新設【国】
 - ・柏崎市日吉町～天神町間を通行止めし、県管理区間(R252)を含む柏崎バイパスへの交通誘導
 - ・降雪機関を通じた**除雪車の事前配備** 2ページ
- 建設業協会と**通行規制要員確保**の協力体制を構築【国】 4ページ

各種情報提供及び出控え広報の強化

各事象毎の情報内容の追加

- 巡回強化などによる安全運転の徹底【高速】
- 出控え広報による交通量抑制**【国・高速共通】 5,6ページ
- 事前準備【国】
 - ・**広報内容及び体制、タイミングを行動計画において事前設定等** 4ページ
 - ・気象(降雪)情報を踏まえた渋滞状況調査人員(地元業者等)の事前確保
- 建設コンサルタンツ協会と定期的に調整を図り、**現地調査要員確保**の協力体制を構築 4ページ
- 大雪警報発表時【国】
 - ・**道路情報板で「大雪警報発表中」と「不要不急の出控え」表示** 4ページ
- 事象発生時:立ち往生車両発生【国】
 - ・**スタック車の情報提供、マスコミに対し定時の記者発表の実施** 4ページ
 - ・**滞留しているドライバー向けに定時の情報発信(今後の見通し、乗員保護活動等)** 4ページ
 - ・**Twitterによる「大型車チェーン必要」の情報発信** 4ページ

【第2回対策検討会(令和5年3月23日)】

除雪能力を大幅に超える降雪への対応

■ : ハード対策
■ : ソフト対策

効果的な広域迂回に関する情報提供【国・高速共通】

- 5機関共同会見(北陸地方整備局、気象庁、NEXCO(東日本・西日本)、北陸信越運輸局)による事前の情報提供、**出控え要請の徹底**【国・高速共通】

除雪体制・監視体制の強化【国】

- 急勾配区間等に消融雪施設を検討・設置**【柏崎】 2ページ
- 除雪機械の増強(除雪ドーザ)と、大雪予測時の除雪機械事前配置(ロータリ除雪車)**により、路肩幅員狭小区間を集中除雪【柏崎】 2ページ
- R8柏崎バイパスの交通確保を最優先し、市街地部での滞留発生を抑制するため、堆雪処理に時間を要する**柏崎高架橋区間等に消雪パイプを設置**【柏崎】 2ページ
- R17高畑南交差点前後に、**消雪パイプを設置**【長岡】 3ページ
- 除雪工区境のR17越の大橋付近について、長岡工区、堀之内工区の両工区が重複して除雪し、**除雪頻度増**【長岡】 3ページ
- 迅速な除雪作業に向けた体制強化**【長岡・柏崎】
- CCTVカメラを増設、監視体制強化**【長岡・柏崎】 2,3ページ

迅速な予防的通行止めと早期の通行止め解除【国】

- 除雪支障車両の**待避スペースを本線脇に確保(非常駐車帯の拡大等)**【長岡・柏崎】 2,3ページ
- 滞留車両の本線**Uターン可能箇所**の確保(中央分離帯の開口部設置等)【長岡・柏崎】 2,3ページ
- 通行止め規制箇所に**職員や規制要員の待機・休憩施設、仮設トイレ設置**【長岡・柏崎】 2,3ページ
- 駐車場(待避スペース)整備や遠隔操作による通行止め装置導入等、**迅速な予防的通行止め**に資する施設の整備【その他】

気象予測精度向上による雪氷体制検討【高速】

- JPCZに対する気象予測の継続検討

交通障害の早期解消【高速】

- 大雪予測時、集中降雪時及び通行止め時の1.5車線(1車線+緊急車両通行帯)等の柔軟な交通運用を実施するための目安の明確化(継続実施中)
- 通行止め時においても緊急避難路として高速道路を活用する場合の運用オペレーションの確立
- 上振れした降雪時における応援体制の強化
- ICへのアクセス道路の除雪対応の明確化・緊密な連携

渋滞・車両滞留状況の把握

- CCTVカメラを増設、監視体制強化**【国】(再掲) 2,3ページ
- 従道路側の状況を早期に確認・共有し、従道路管理者への除雪の要請や自治体を通じた**出控え広報**を実施する行動計画を立案。実行力を高めるため、来冬に向けて訓練を実施【国】

更なる対応力向上に向けた取り組み

- 降雪量データの補完を目的に、簡易レーザー式積雪深計を5箇所試行設置(R5.2月)、閾値付近の降雪量となる場合、簡易レーザー式積雪深計のリアルタイムデータから面的に降雪状況を把握【国】
- 路面状況や立ち往生車両の早期発見のため、立ち往生発生箇所に簡易カメラ(インターバル式)を6箇所試行設置(R5.2月)、状況把握を強化【国】
- R5年度以降は簡易レーザー式積雪深計、簡易カメラともに箇所を増設し運用【国】

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(行動計画の見直し)



タイムライン	気象情報	道路状況		情報連絡本部	長岡国道事務所
		高速	国道		
-1w~	週間気象予測 「寒気が強まる予測」			●情報連絡本部の開設可能性事前連絡	
-72h	大雪に関する気象情報 ※72時間先予測で長岡・柏崎地区において閾値(5cm/h×2h若しくは10cm/h)を超える予測			●情報連絡本部の開設(WEB会議) ・情報共有と今後の体制の確認 ・関係機関の体制確認 ・「出控え」広報強化(各機関) (防災無線・メール, HP, SNSなど)	○予防的通行止め体制準備開始 ○「大雪注意喚起」「出控え」広報開始 (HP, SNS, 道路情報板) ○建設業協会、建設コンサルタンツ協会及び受注者等への通行規制(調査)要員の確保調整
-48h	大雪に関する気象情報			●情報連絡会議(WEB会議) ・情報共有と今後の体制の確認 ・「出控え」広報継続(各機関)	○予防的通行止め体制準備 ○「大雪注意喚起」「出控え」広報継続 (HP, SNS, 道路情報板)
-24h	大雪に関する気象情報 ※概ねの地域、予想降雪量 ※降雪の始まり			●情報連絡会議(WEB会議) ・予防的通行止め区間(高速・国道)の調整 ・集中除雪、相互支援箇所の確認 ・通行止めの可能性が高い区間の公表 ・広域迂回、出控え広報(各機関)	○予防的通行止め可能性区間公表 ○「大雪注意喚起」「出控え」「広域迂回」の広報強化 (HP, SNS, 道路情報板)
-12h ~-6h	大雪警報発令			●情報連絡会議(WEB会議) ・気象情報の共有(予測等) ・降雪実績(テレメータデータ)の共有 (以降定期的に共有) ・各道路管理者の体制の共有	○除雪体制強化 ○降積雪状況、路面状況監視強化 ○「大雪注意喚起」「出控え」「広域迂回」の広報継続 (HP, SNS) ○道路情報板「大雪警報発令中」「不要不急の出控え」表示
-3h	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ※長岡・柏崎地区において閾値超過の予測 </div>	予防的通行止め準備		●情報連絡会議(WEB会議) ・予防的通行止め開始時刻の確認 ・予防的通行止め予告広報 (防災無線・メール, HP, SNSなど)	○道路情報板「通行止め予告」表示 ○記者発表「予防的通行止め予告」 「大型車チェーン携行」(-1hまでに) ○予防的通行止め規制準備完了 ○集中除雪準備完了 ○建設業協会、建設コンサルタンツ協会及び受注者等への通行規制(調査)要員の派遣準備完了
0h	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ※長岡・柏崎地区において閾値超過を観測 </div>	予防的通行止め開始		●情報連絡会議(WEB会議) ・予防的通行規制開始 (高速・国道同時通行止め) ・予防的通行止め広報開始 (防災無線・メール, HP, SNSなど) ・実施状況の共有 ・支援、解除等の調整	○予防的通行止め規制開始 ○集中除雪開始 ○道路情報板「通行止め」表示 ○記者発表「予防的通行止め」

●5cm/h×2h若しくは10cm/h観測した場合

図：今冬に向けた道路交通確保に関する取組状況についての記者発表資料「【ソフト対策】行動計画の見直し」抜粋

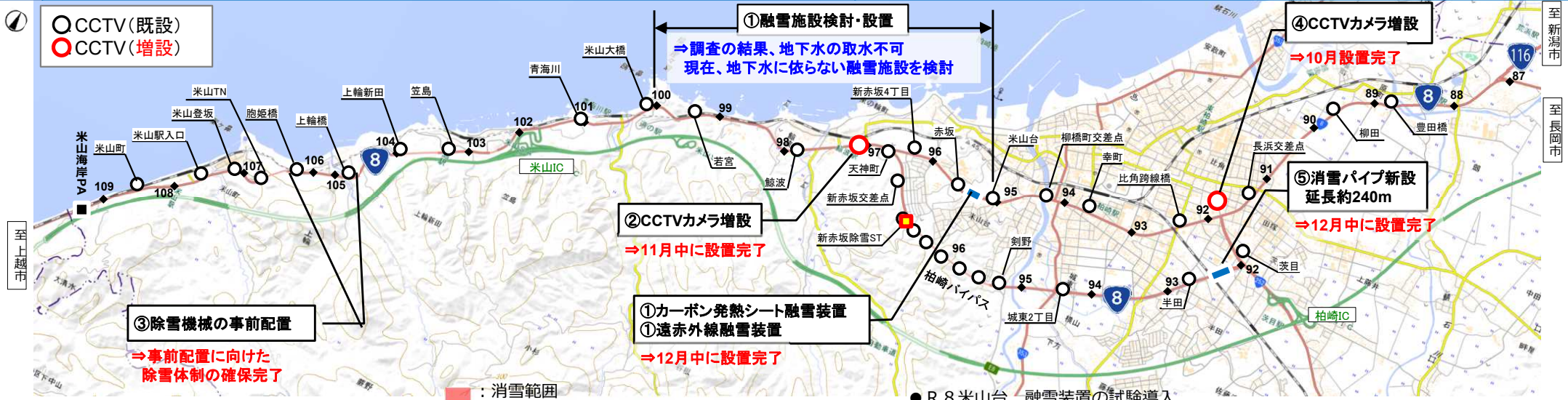
2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(ハード対策 柏崎地域)



令和4年12月の大雪を踏まえた対応

対応状況

①	場所: 国道8号 95kp付近～100kp付近 米山台～青海川付近 対策: 取水が難しい区間であるが、 融雪施設を検討・設置	・ポーリング調査の結果、消雪パイプ地下水の取水が不可判定のため 融雪施設を検討 ・米山台に 遠赤外線融雪+カーボン発熱シート融雪を試験導入
②	場所: 国道8号 97kp付近 鯨波付近 対策: CCTVカメラを増設し監視体制強化 。本線の路面状況及び滞留状況を早期に確認	・国道8号 97.08kp(上)に CCTVカメラ設置 (令和5年11月中 設置完了予定)
③	場所: 国道8号 105kp 胞姫橋～上輪橋付近 対策: 海岸部の大雪予測時は、 事前に新赤坂除雪STに除雪機械(ロー刈除雪車、除雪ドーザ) を配置し、橋梁とその前後を集中除雪	・ロータリ除雪車・除雪ドーザ等を事前配置するための体制確保
④	場所: 国道252号 対策: 日吉町交差点に CCTVカメラを増設し監視体制強化 。R252の除雪状況を確認し、必要に応じて相互除雪を実施	・国道8号 91.8kp柏崎維持出張所鉄塔に CCTVカメラ設置 (令和5年10月 設置完了)
⑤	場所: 国道8号 柏崎BP 92kp 柏崎高架橋 対策: 消雪パイプを検討・設置	・柏崎高架橋(下)に 消雪パイプを設置 (令和5年12月中 設置完了予定)
⑥-1	◆ 迅速な予防的通行止めの実施体制確保 場所: 国道8号、国道116号の通行止め実施箇所 対策: 通行止め実施箇所における 規制要員の待機・休憩施設の設置(仮設)	・R8天神町交差点、米山海岸PA、R116五分一待避所に 規制要員待機施設を設置* (令和5年11月中 設置完了予定) ※仮設プレハブ2棟、仮設トイレ、電源(発動発電機等)
⑥-2	◆ 早期通行止め解除に向けた対策 場所: 国道8号、国道116号の既設駐車帯 対策: 除雪支障車両の待避スペース 、本線Uターン可能箇所、迅速な除雪作業に向けた体制強化	・既存の駐車帯を降雪前に除雪し、待避スペースを確保するための体制確保



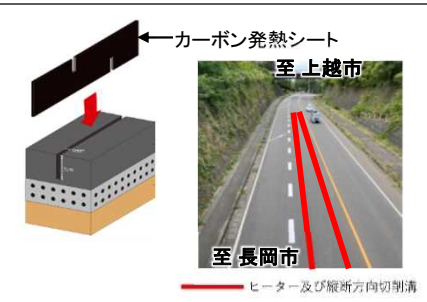
令和4年12月19日 17時頃
R 8 柏崎高架橋(下) 積雪状況



【対応⑤: 除雪効率化】
R 8 柏崎高架橋(下)に消雪パイプ設置



遠赤外線融雪装置(施工イメージ)

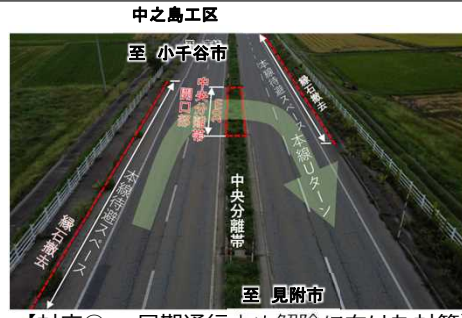


カーボン発熱シート融雪装置(施工イメージ)

2. 令和4年12月長岡・柏崎地域の大雪対応(ハード対策 長岡地域)



令和4年12月の大雪を踏まえた対応		対応状況
①	場所: 国道8号 56kp 福島交差点付近 対策: CCTVカメラを増設し監視体制強化し、滞留・路面状況を早期確認・共有。従道路管理者への除雪要請、自治体を通じた出控え広報の実施	・国道8号 56.02kp(下)にCCTVカメラ設置(令和5年11月中 設置完了予定)
②	場所: 国道17号 282kp 長倉IC付近 対策: CCTVカメラを増設し監視体制強化し、滞留・路面状況を早期確認・共有。従道路管理者への除雪要請、自治体を通じた出控え広報の実施	・国道17号 281.89kp(下)にCCTVカメラ設置(令和5年11月中 設置完了予定)
③	場所: 国道17号 280kp 高畑南交差点付近 対策: 本線に消雪パイプを設置 ⇒ 立ち往生発生を予防(従道路とも除雪連携)	・高畑南交差点前後の上り勾配車線に消雪パイプを設置(令和5年12月中 設置完了予定)
④	場所: 国道17号 273kp 六日市町付近 対策: CCTVカメラを増設し監視体制強化 ⇒ 本線の路面状況、滞留状況を早期に確認	・国道17号 272.89kp(下)にCCTVカメラ設置(令和5年11月中 設置完了予定)
⑤	場所: 国道17号 271kp 越の大橋付近 (隣接工区応援除雪を効率化) 対策: 両工区で重複して除雪(堀之内工区が除雪区間を長岡側に延伸)。堀之内工区の除雪梯団用の回転場を設置(植栽帯撤去による除雪待避スペース設置)	・妙見南交差点に側道を活用した除雪車回転場を確保(令和5年11月中 設置完了予定) ・重複除雪を徹底すべく、除雪作業受注者と除雪方法、実施タイミングを調整
⑥	◆ 長岡工区梯団除雪の分離 (従前からのオペレーション再徹底) 対策: 降雪状況等に応じて梯団を2班に分離し、必要な走行車線(上下線)を早期に確保	・除雪作業受注者と梯団2班体制の除雪方法を再確認
⑦-1	◆ 迅速な予防的通行止めの実施体制確保 場所: 国道8号、国道17号の通行止め実施箇所 対策: 通行止め実施箇所における規制要員の待機・休憩施設の設置(仮設)	・R8: 坂井北交差点、川崎IC、宮本除雪ST、R17: 湯沢除雪ST、堀之内除雪ST、木津除雪回転場に規制要員待機施設を設置※(令和5年11月中 設置完了予定) ※仮設プレハブ2棟、仮設トイレ、電源(発動発電機等)
⑦-2	◆ 早期通行止め解除に向けた対策 場所: 国道8号、国道17号 対策: 除雪支障車両の待避スペース、本線Uターン可能箇所、迅速な除雪作業に向けた体制強化	・R8福島交差点、R17青木町(町田(交)～横枕(交))、下条町(豊詰(交)～片田IC)に待避スペース設置(令和5年11月中 設置完了予定) ・R8: 中之島見附IC、福島交差点(既設)、R17: 青木町(町田(交)～横枕(交))、下条町(豊詰(交)～片田IC)に本線Uターン可能箇所として中央分離帯開口部を設置(令和5年11月中 設置完了予定)



令和4年12月19日 20時頃
R17高畑南交差点付近 車両滞留状況

【対応③：立ち往生発生を予防】
R17高畑南交差点前後の上り勾配車線に消雪パイプを設置

【対応⑦：早期通行止め解除に向けた対策】
中央分離帯開口部を設置 (R17青木町)

図：今冬に向けた道路交通確保に関する取組状況についての記者発表資料「【ハード対策】令和4年12月の大雪を踏まえた今冬の主な対応(長岡地区)」抜粋



3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み

I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、**短期間の集中的な大雪**※が局所的に発生
※: 大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、**幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ**
- 短期間の集中的な大雪時に**、通常時と比べて自動車の利用台数に**変化が見られたケースも存在**
⇒ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも**変化の兆し**(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取り組み

1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 短期間の集中的な大雪時に**大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路と、並行する国道等を**交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果**、大規模な車両滞留につながったケースもあった

2. 道路管理者等によるこれまでの主な取り組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど**道路利用者に注意喚起を実施**
- 関係機関の連携強化を図るため、**地域単位で「情報連絡本部」を設置**
- 予防的通行規制**区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能

⇒ これらの取り組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めしないこと」や「高速道路と並行する国道等を交互に通行止めし、道路ネットワークを確保すること」を目標として対応

今後の考え方

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応

IV 大雪時の道路交通確保に向けた取り組みの強化

1. 道路管理者等の取り組み

(1) ソフト的対応

- タイムライン(段階的な行動計画)の作成**
 - ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施・合同訓練実施
 - ・気象予測精度向上
- 除雪体制の強化**
 - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
- 除雪作業を担う地域建設業の確保**
 - ・契約方法の改善・予定価格の適正な設定等
- 除雪作業への協力体制の構築**
 - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
- チェーン等の装着の徹底**
 - ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施
- 短期間の集中的な大雪時の行動変容**
 - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
 - ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化
- 短期間の集中的な大雪時の計画的・集中除雪の実施**
 - ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避
 - ・リスク箇所の事前把握と監視強化
- 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応**
 - ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
 - ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール、トリガーをタイムラインに位置づけ
 - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
 - ・地方整備局等が主体となった乗員保護

(2) ハード的対応

- 基幹的な道路ネットワークの強化**
 - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、**大雪の観点からもネットワークを強化**
- スポット対策、車両待機スペースの確保**
 - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
 - ・**中央分離帯開口部やUターン路の整備**等

2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取り組み

- 短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)**
 - ・通行止めの必要性やジャストインタイムの限界への理解の促進
- 冬道を走行する際の準備**
 - ・チェーン等の装備の備え

3. より効率的・効果的な対策に向けて

- 関係機関の連携の強化
- 情報収集・提供の工夫
- 新技術の積極的な活用

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(広報)



短期間の集中的な大雪時の行動変容

早期の雪道への備え

- 早期の冬用タイヤへの交換呼びかけ
- 大規模車両滞留の発生タイミングの周知



冬用タイヤ交換しよう。

11月は、タイヤ装着運動月間です。

早くおまわり!

大規模車両滞留の発生時期 (H25~R4)

11月	12月	1月	2月	3月
	7回	6回	4回	3回

ここまでに装着

12月~1月にほとんど発生

発生ゼロ

12月中旬~要注意! 大規模な車両滞留が何度も発生しています!

- 冬用タイヤへの早めの交換、タイヤチェーンの携行・早めの装着を。
- 冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上あることを確認。
- 大型車は常にチェーン携行を。

最も早い初積雪日

関東	平成29年 11月21日	中部	令和3年 11月27日
長野市		高山市	

ノーマルタイヤでの冬道走行は 罰則対象!

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

国土交通省 公益社団法人 雪センター

図：冬期啓発ポスター

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(広報)



短期間の
集中的な
大雪時の
行動変容

出控え要請

- 大雪時の「出控え」など協力要請
- 雪道のもしもの備えを呼びかけ

大雪 予想時 不要不急の 外出は控えて!

大規模な車両滞留を
発生させないために
ご協力をお願いいたします。

雪みち情報・ライブカメラ・ツイッター
外出前にチェック!
全国の雪みち情報「おしえて!雪ナビ」

冬タイヤ・
チェーンはもちろん、車内にもしもの備えを!

乾いた砂を
ペットボトルに
入れて
滑り止め

反則金	大型	普通	二輪	原付
	7千円	6千円	6千円	5千円

都道府県道路交通法施行規則または道路交通規則にて
積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわ
ゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く)
違反行為は、反則金の適用となります。
※タイヤチェーン未装着等の通行を禁止する規制は、
冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

国土交通省 公益社団法人 雪センター

図：冬期啓発ポスター



3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(広報)

短期間の
集中的な
大雪時の
行動変容

出控え要請

- 緊急発表や共同会見^(※)によるメディアを通じた「大雪リスク」広報
- 出控えや広域迂回の呼びかけ

<令和4年度>

- 令和4年12月22日： 緊急発表に伴う共同会見
- 令和4年12月28日： 年末年始の気象に関する共同会見
- 令和5年 1月20日： 緊急発表に伴う共同会見

※新潟地方气象台、国土交通省 北陸地方整備局、北陸信越運輸局
東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社



写：R4.12.28共同会見



3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(広報)

短期間の集中的な大雪時の行動変容

出控え要請

緊急発表や通行止めの可能性などの発表を行う場合は、運輸事業者団体や荷主団体へ記者発表と同時に情報提供



緊急発表

1月24日頃から26日頃にかけて大雪の可能性がります

北陸地方では24日頃から26日頃にかけて冬の気圧配置が強まり、上空には今季一番の非常に強い寒気が流れ込む見込みです。大雪に注意・警戒が必要です。大雪に注意・警戒が必要で、警報級の大雪となる可能性があります。また、雪を伴った強風又は暴風や高波に注意・警戒をお願いします。

【気象の見通し】 24日頃から26日頃にかけて冬の気圧配置が強まり、上空には今季一番の非常に強い寒気が流れ込む見込みです。大雪に注意・警戒が必要で、警報級の大雪となる可能性があります。また、雪を伴った強風又は暴風や高波に注意・警戒をお願いします。

- 不要不急の外出は控えてください。
- 大型車は、チェーンの装着(携行)をお願いします。
- 運送日の調整などについてご協力をお願いします。
- 各公共交通機関における運行情報に注意してください。

気象状況・道路状況についてのお問い合わせ先

気象庁 北陸地方気象台	気象防災情報課 関根 健吉	電話 025-281-5872(代表)
国土交通省 北陸地方整備局	道路管理課長 藤崎 昌幸	電話 025-280-8800(代表)
【道路に関する情報】		
日本高速道路株式会社	お客様センター	電話 070-024-024
日本東海道路株式会社	お客様センター	電話 0120-922-229
【公共交通機関に関する情報】		
【鉄道・一歩連絡に関する情報】		

気象の見通し

24日頃から26日頃にかけて冬の気圧配置が強まり、上空には今季一番の非常に強い寒気が流れ込む見込みです。大雪に注意・警戒が必要です。警報級の大雪となる可能性があります。また、雪を伴った強風又は暴風や高波に注意・警戒をお願いします。

【最新の気象情報に注意してください。】

予想天気図 (1月24日21時~1月26日21時)

2週間気温予報

日付	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
北陸地方(平均気温)	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

最新の気象情報は、こちらから入手できます。
北陸地方の雪に関する情報のページ
<https://www.data.jma.go.jp/nigata/yuki/yukilink.html>

写：R5.1.20 緊急発表共同会見

【北陸地方整備局発表】 大雪による通行止めの可能性のある区間 (1月24日 (水) 12時30分時点)

【NEXCO中日本 会社発表】 大雪による通行止めの可能性のある区間 (1月24日 (水) 12時30分時点)

【NEXCO東日本 会社発表】 大雪による通行止めの可能性のある区間 (1月24日 (水) 12時30分時点)

大雪による通行止めの可能性

大雪や吹雪により、交通量やスタック量に超過した大規模な交通障害が発生するおそれがある場合や通行する区間や通行止めの区間がある場合は、下記区間以外の区間について通行止めを実施する場合があります。

※高速道路と並行している国道を記載しています

写：R5.1.24大雪の影響による通行止めの可能性のある区間について

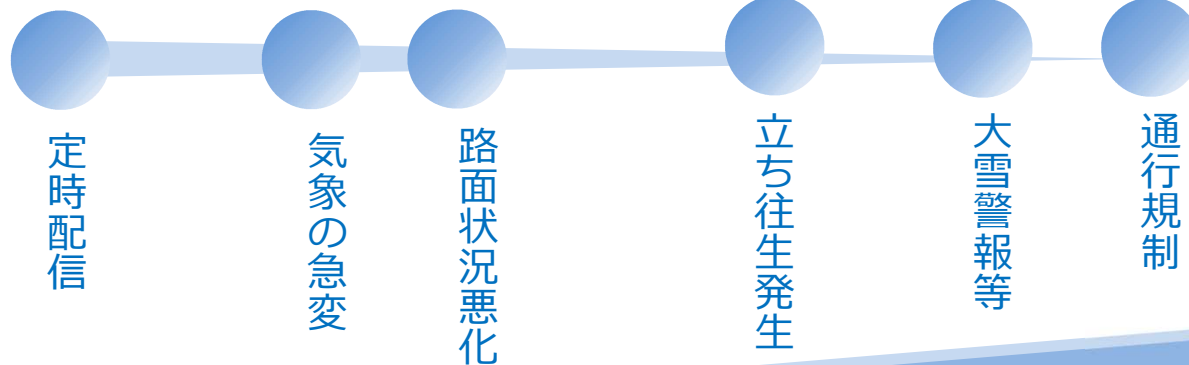
3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(広報)



短期間の
集中的な
大雪時の
行動変容

リアルタイムな情報発信

■ SNSによる道路状況のリアルタイム発信



1月28日6時現在 #国道8号 の道路状況をお知らせします。
朝の交通に備えて除雪を行っています。
除雪車が出動していますので、付近を走行される際はご注意ください。
外出される際は最新の道路情報の確認をお願いします。



国土交通省長岡国道事務所 @mlit_chokoku · 1月29日
#国道8号 長岡方面 柏崎市米山町付近で #スタック車両 の発生により #車両滞留 が発生しています。付近を走行予定の方はお気を付けてください。



図：SNSによる情報発信

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ソフト対策)



短期間の
集中的な
大雪時の
行動変容

チェーン装着指導

- 降雪や路面状況等から登坂不能車両による立ち往生車両の発生や車両滞留が想定された場合、速やかなチェーン装着指導を実施



新潟県南魚沼郡湯沢町神立 上り

写：チェーン装着指導状況（神立除雪ST）



写：チェーン装着指導状況（江口道路ST）

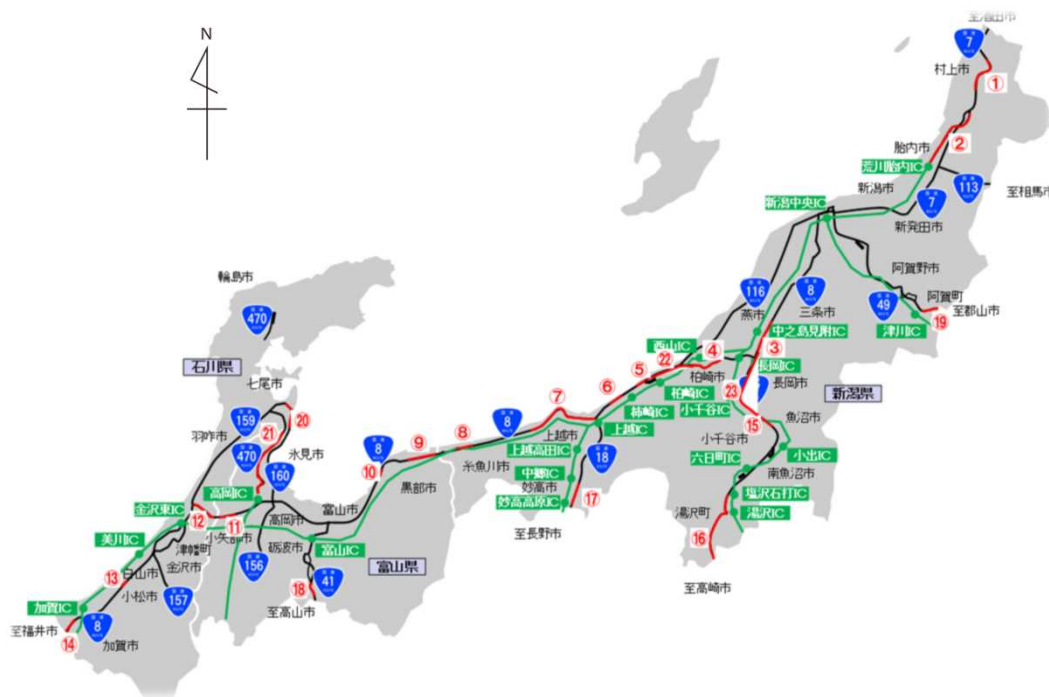
3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み（ハード・ソフト対策）



大雪時の
計画的
集中除雪
の実施

予防的通行規制区間

- 道路構造等に起因して立往生が発生しやすい区間を指定し、大雪時は通行止めによる集中除雪を実施し、大規模な車両滞留を防止
- 繰り返し広報を行うことにより、タイヤチェーンの早期装着などドライバーへの注意喚起を実施



路線名	No.	延長 (km)	区間名	路線名	No.	延長 (km)	区間名
国道7号	①	15.3	村上市大須戸～村上市上大島	国道8号	⑬	2.0	八幡IC～東山IC (小松市八幡～小松市東山町)
日本海沿岸 東北自動車道	②	21.0	荒川胎内IC～朝日まほろばIC		⑭	3.4	加賀市熊坂町～加賀市熊坂町(福井県境)
	③	10.2	見附市坂井町～長岡市福島町	国道17号	⑮	9.0	魚沼市下島～小千谷市木津
	④	16.2	長岡市宮本～柏崎市曾地		⑯	32.5	湯沢町三国～南魚沼市関
	⑤	14.5	柏崎市米山台～柏崎市米山	国道18号	⑰	19.8	妙高市関川～妙高市猪野山
	⑥	11.1	上越市柿崎～上越市大湯	国道41号	⑱	4.5	富山市猪谷～富山市庵谷
国道8号	⑦	20.7	上越市下源入～糸魚川市能生	国道49号	⑲	8.7	阿賀町鳥井～阿賀町野村
	⑧	7.4	糸魚川市外波～糸魚川市市振	国道160号	⑳	13.9	七尾市大田町～七尾市大泊町
	⑨	9.3	朝日町境～朝日町月山	国道470号	㉑	30.1	氷見市脇～高岡市池田
	⑩	1.0	魚津市友道～魚津市住吉	国道8号	㉒	9.9	柏崎市曾地～柏崎市米山台
	⑪	9.7	高岡市福岡町～津幡町九折	国道8・17号	㉓	23.2	長岡市福島町～小千谷市木津
	⑫	8.8	津幡町九折～津幡町舟橋				

図：予防的通行規制区間一覧

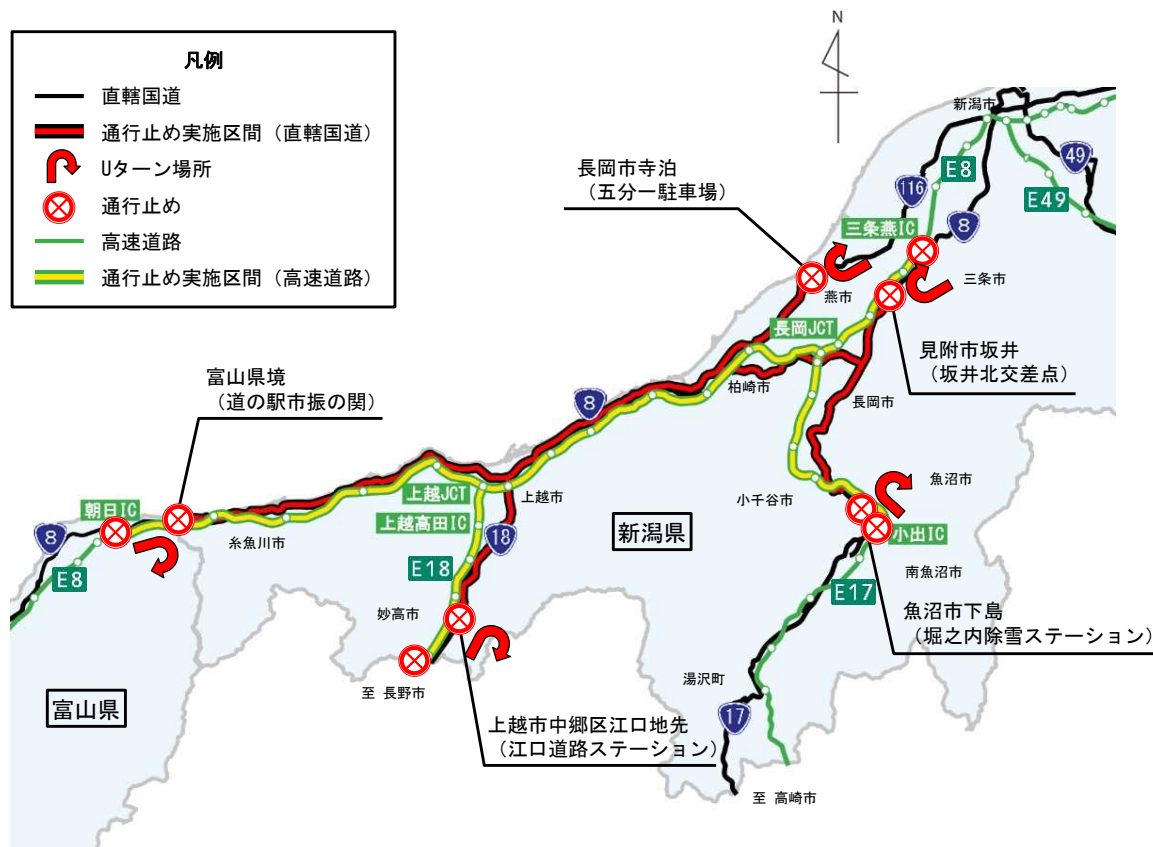
3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ハード・ソフト対策)



大雪時の
計画的
集中除雪
の実施

広域通行規制

- 広範囲で大雪が予想される場合は、躊躇なく高速道路及び並行する国道を広域で通行規制し、強降雪地域への流入車両を抑制し、除雪効率を向上させることにより、立ち往生車両等の交通障害の発生を防止



日時：令和5年1月28日(土) 19:00~29日(日) 6:00
 規制時間：約11時間
 延長：国道 延べ242km
 高速道路 延べ250km

図：広域通行規制事例 (R5.1.28)

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ハード対策)



スポット
対策・待機
スペース
確保

チェーン着脱場・待機所

- 予防的通行規制区間や急勾配区間前後にチェーン着脱場や待機所を整備



写：道の駅あらい



写：道の駅あらい（屋根付き駐車施設）



写：道の駅あらい（屋根付き駐車施設）

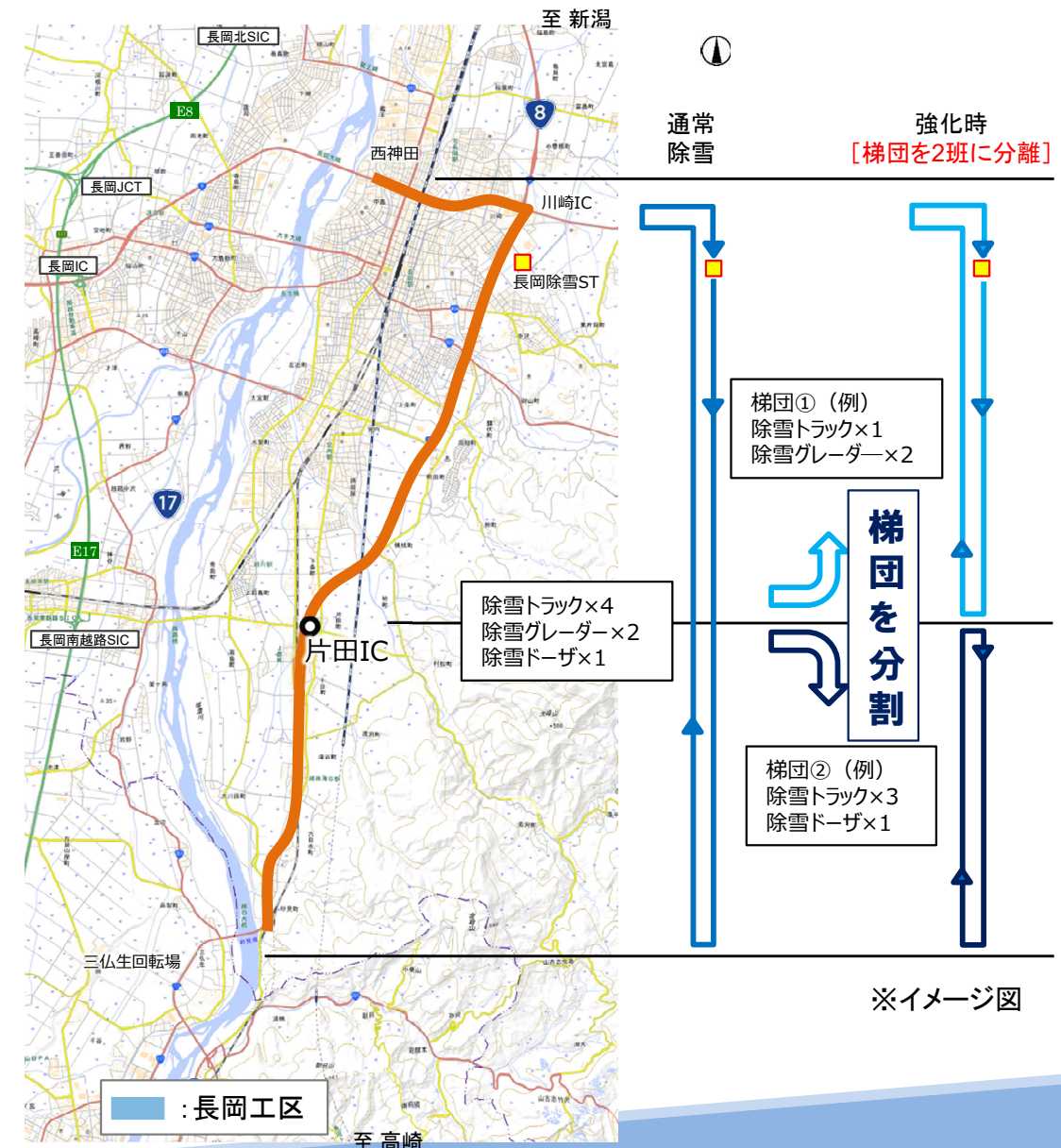


3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ハード対策)

除雪体制の強化

集中除雪

- 大雪時は通常の除雪体制を変更し車道部の走行性確保を重視した集中除雪を実施
- 強い降雪が継続する場合は、通行止めによる集中除雪を実施し、除雪効率の向上を図り、走行性改善後、速やかに通行規制を解除



※イメージ図

図：集中除雪体制事例

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ハード対策)



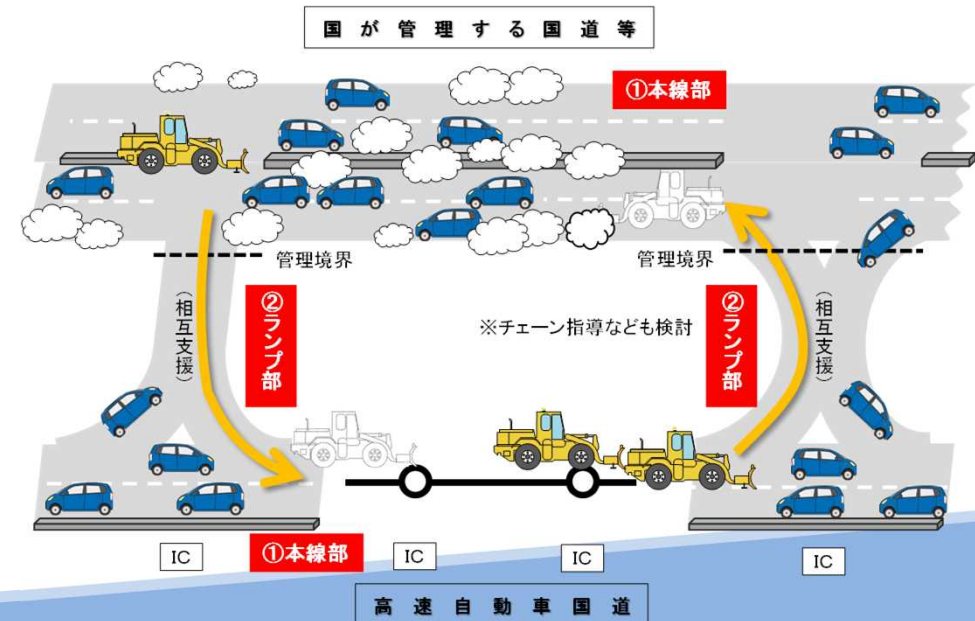
除雪体制
の強化

高速道路と直轄国道の 相互除雪

- 高速道路と並行国道の同時通行止めによる集中除雪に加え、必要に応じて相互の除雪支援を実施することにより交通の早期安定化を実施



写：NEXCOとの除雪相互支援訓練状況



図：相互除雪イメージ

3. 冬期道路交通確保に向けた取り組み(ハード・ソフト対策)



立ち往生車
両が発生し
た場合の迅
速な対応

乗員保護活動

- 地方整備局を中心に関係自治体・団体と協力し、大規模な車両滞留が発生した場合は、安否確認や食料配布、宿泊地への移送等の乗員保護活動を実施



写：乗員保護活動状況

お願い

大雪時は不要不急の外出を控えてください！

◆ 全国雪みち情報はこちらから→「おしえて！雪ナビ」

URL <https://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/yukinavi/>

◆ 新潟県の道路情報はこちらから→「X(旧ツイッター)」

◆ 富山県の道路情報はこちらから→「X(旧ツイッター)」

◆ 石川県の道路情報はこちらから→「X(旧ツイッター)」

◆ 道路の異状を発見したら・・・「道路緊急ダイヤル」へ→#9910



高速道路における異常降雪事例とその対応

2023年12月8日

NEXCO東日本 新潟支社

NEXCO中日本 金沢支社



1 R4シーズンの降雪状況	P.2
2 北陸地方における豪雪事例	P.5
3 <振り返り> 令和4年度の取り組みについて	P.19
4 令和5年度の重点取り組み	P.29

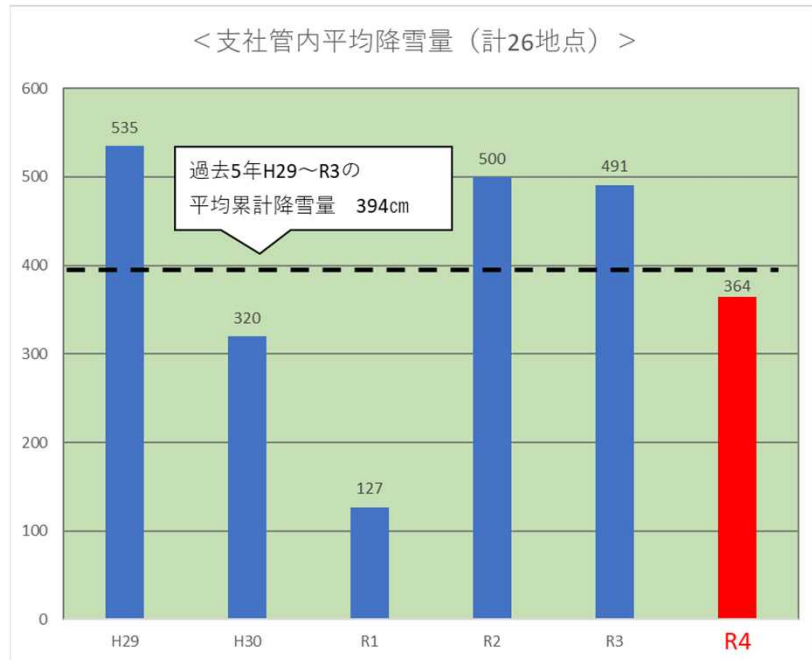
1 R4シーズンの降雪状況

1-1 R4シーズンの新潟支社管内気象状況等

- 管内平均降雪量は364cmで、過去5年平均と比較して約1割減少 (-30cm)
- 通行止め量は約3万km・時間で、過去5年平均と比較して約9割増加 (+1.4万km・時間)
- 事故発生件数は580件で、過去5年平均と比較して約2割減少 (-163件)
- 雪氷作業延長は約57万kmで、過去5年平均と比較して約1割減少 (-4万km)

※NEXCO東日本調べ

■ 支社管内平均降雪量



■ 通行止め量

年度	累計通行止め量
令和元年度	約0.1万km・時間
令和2年度	約6万km・時間
令和3年度	約0.6万km・時間
令和4年度	約3万km・時間

※累計通行止め量の対象事象
事故・故障・路面積雪・降雪視界不良・地吹雪・路面凍結・一般道アクセス不良

■ 事故発生件数

年度	事故発生件数
令和元年度	554件
令和2年度	629件
令和3年度	724件
令和4年度	580件

※NEXCO東日本調べ

■ 1シーズンの雪氷作業延長

年度	雪氷作業延長
令和元年度	約26万km
令和2年度	約60万km
令和3年度	約68万km
令和4年度	約57万km

※延長については凍結防止剤散布及び除雪の作業延長合計値



1-2 R4シーズンの新潟支社管内累計降雪量グラフ

※期間 各年11月10日～4月15日
(R4年度は3月31日までの集計)

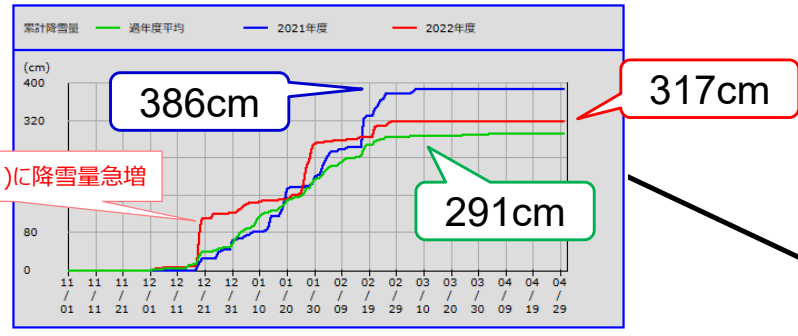


○道路別代表4地点の累計降雪量は、過去5年平均よりも少ない

○一方で、平野部（北陸道中之島見附IC等）における初冬期（12月）の降雪量は、過去5年平均より多く、集中的な降雪状況

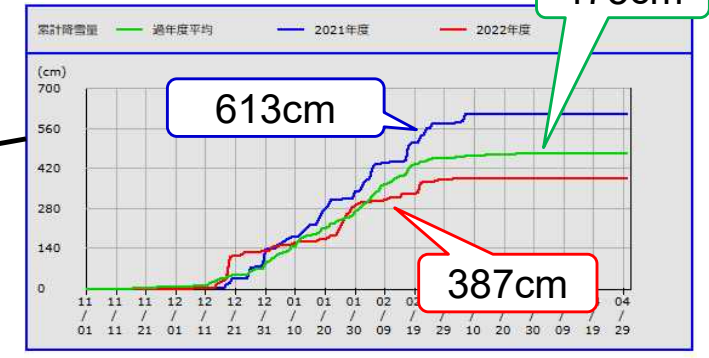
凡例 過去5年平均 R3 R4

①北陸道 中之島見附IC 累計317cm

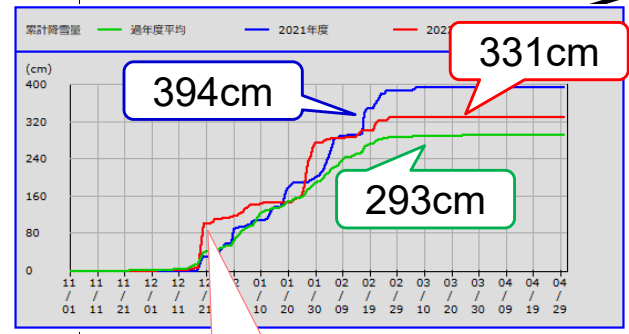


R4は初冬期(12月)に降雪量急増

④磐越道 津川IC 累計387cm

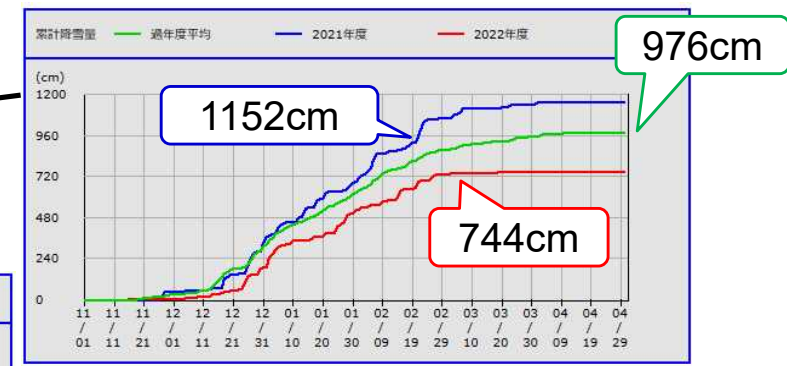


②関越道 長岡IC 累計394cm

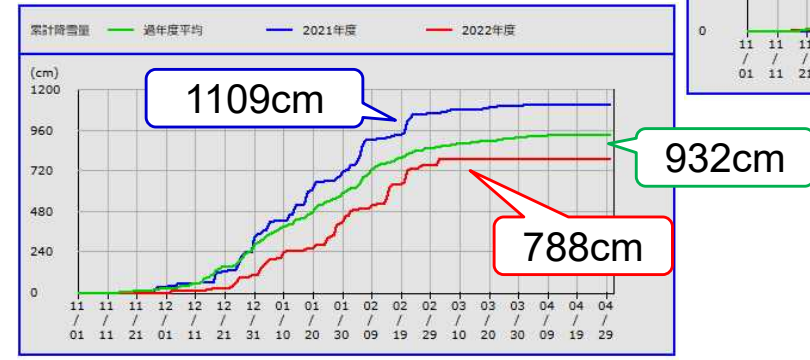


R4は初冬期(12月)に降雪量急増

⑤関越道 土樽PA 累計744cm



③上信越道 妙高高原IC 累計788cm



2 北陸地方における豪雪事例

2-1 北陸地方における豪雪事例（新潟県） ①

～ 令和2年度の豪雪（関越大規模滞留・北陸長期通行止）～

① 湯沢管内大規模車両滞留事案 ⇒ 2020.12.16～19

- ・アメダス湯沢の24時間（113cm）及び48時間（144cm）降雪が過去最高を更新
- ・関越道塩沢石打IC～小出IC④で約1750台、湯沢IC～月夜野IC⑤で約350台の計約2100台が2日間に渡る大規模な車両滞留が発生
- ・自衛隊も要請し最終車両排除は12/18 22:15⇒通行止解除は12/19 21:30



② 上越管内長時間通行止事案 ⇒ 2020.1.7～13

- ・冬型気圧とJPCZ（日本海寒帯気団収束帯）に見舞われ、上越高田ICの72時間降雪量（187cm）が過去最高を大幅に更新
- ・立往生は通行止め端末ICとなった上越ICと柿崎ICの出口から本線までの約100台、約3時間で解消
- ・本線通行止最長時間が上信越道の上越JCT～上越高田ICの約5日間
(1/8 15:55～1/13 23:45の127時間50分)



2-1 北陸地方における豪雪事例（新潟県）②

～ 令和2年度の豪雪（関越大規模滞留・北陸長期通行止）時の気象概況 ～

気象概況

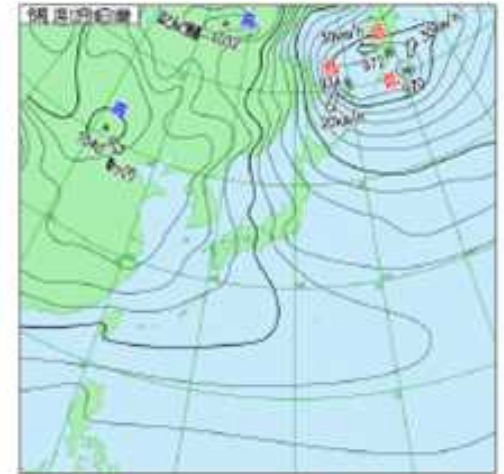
令和2年12月15日から17日にかけて、最も強い寒気が南下し、冬型の気圧配置が強まった。
新潟県中越地方山間部や、群馬県北部を中心にまとまった降雪となり、湯沢町では24時間降雪量、48時間降雪量が観測史上1位を記録する大雪となった。

アメダス湯沢における24時間降雪量（cm）の歴代記録

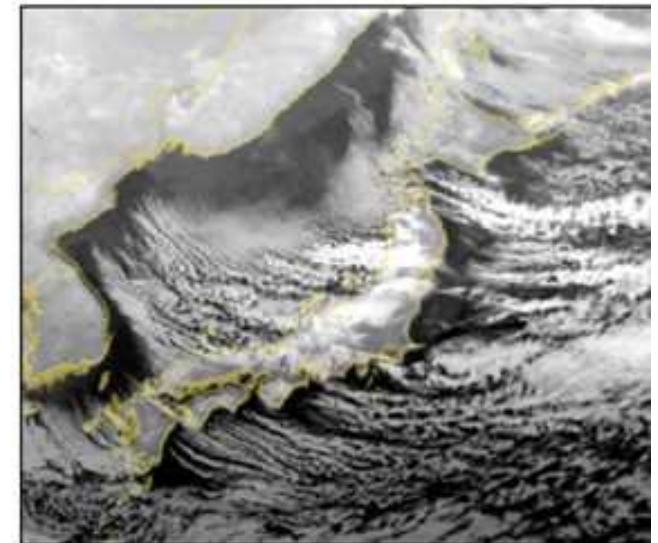
観測期間：1982年11月10日～2020年12月16日

歴代順位	観測日時	24時間降雪量
1	2020/12/15 4:00～12/16 4:00	113cm
2	2000/12/25 16:00～12/26 16:00	101cm
3	2014/12/14 1:00～12/15 1:00	96cm
4	2005/12/12 21:00～12/13 21:00	94cm
5	1985/3/30 9:00～3/31 9:00	92cm
6	1988/1/9 8:00～1/10 8:00	89cm
7	2017/12/26 16:00～12/27 16:00	88cm
8	1987/1/4 7:00～1/5 7:00	85cm
8	1996/1/30 9:00～1/31 9:00	85cm
8	2009/12/31 11:00～1/1 11:00	85cm

観測史上1位を記録



実況天気図（16日21時）



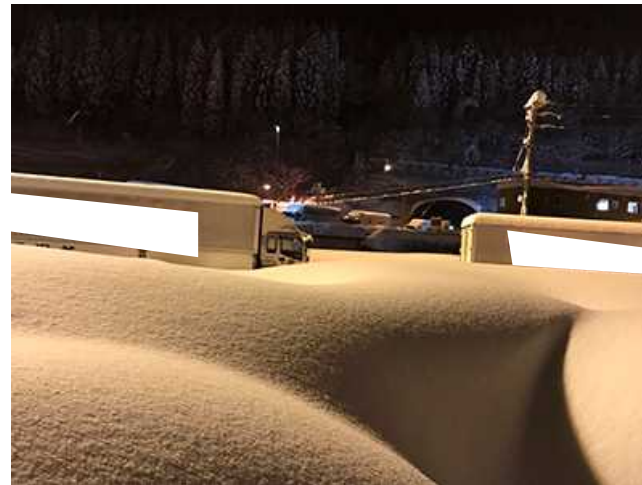
雲の様子（16日21時）

2-1 北陸地方における豪雪事例（新潟県）③

～ 令和2年度の豪雪（関越大規模滞留・北陸長期通行止）現場状況写真 ～

NEXCO

12/17夜間 現場状況写真



2-1 北陸地方における豪雪事例（新潟県）④

～ 令和2年度の豪雪（関越大規模滞留・北陸長期通行止）現場状況写真 ～

12/18朝方 現場状況写真



2-2 北陸地方における豪雪事例（富山県）

～ 令和2年度の豪雪（東海北陸道での滞留・通行止め）～

「東海北陸道大規模車両滞留事案」 ⇒ 2021.1.9～11

- ◆ 時間最大降雪量の9.3 cmを観測し、累計積雪量179.3 cmを記録
- ◆ 東海北陸道 福光IC～小矢部砺波JCT^①で約200台の大規模な車両滞留が発生
- ◆ 自衛隊への派遣を要請し、最終車両排除は1/11 0:20 ⇒ 通行止解除は1/11 21:00



2-3 北陸地方における豪雪事例（福井県）

～ 令和2年度の豪雪（北陸自動車道での滞留・通行止め）～

「北陸自動車道 車両滞留事案」 ⇒ 2021.1.9～12

- ◆ 時間最大降雪量の**5 cm**を観測し、**累計積雪量131.5 cm**を記録
- ◆ 大型車の事故を発端に、北陸自動車道 武生IC～金津ICで約1,600台の**大規模な車両滞留**が発生
- ◆ **自衛隊への派遣を要請**し、最終車両排除は1/11 22:57 ⇒ 通行止解除は1/12 6:00



事故を発端とした滞留発生



トラクターショベルによる走行不能車両の救援



人力による走行不能車両の救援

R3年度からの大雪時の対応方針

R2年度関越道大規模車両滞留などを踏まえ、国の「大雪時の道路交通確保対策中間とりまとめ」の改訂(R3.3)や、北陸地方整備局・北陸信越運輸局・新潟県及びNEXCO東日本の「関越道集中降雪による対応検討会中間とりまとめ」の提言(R3.3)に基づく方針として定めたもの。

- **乗員の人命を最優先**に、**大規模な車両滞留を徹底的に回避**する対策を実施する。
- 県内冬期道路ネットワークの確保に向け、**国や県等との相互連携**を図り、**保有する除雪体制がしっかり発揮**できるように準備するとともに、**5つの力(対応力・情報力・予防力・予測力・基盤力)**を強化することで、高速道路の通行確保に集中的に取り組む。

2-5 令和3年度における具体的対応策 ①

事前情報・リアルタイム情報提供の強化

■コーポレートサイトお知らせ

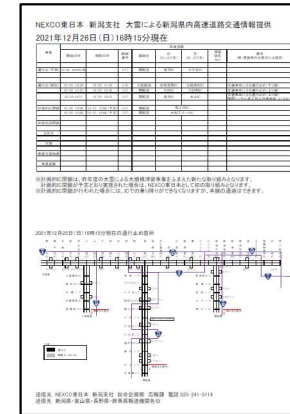


■Twitter (現X) 公式アカウント



(ツイート回数86回)

■マスコミへの情報提供



緊急性の高い
寒波襲来時に実施
12月(中旬・下旬)
2月(中旬)

■テレビCM



通常時O.A.版



緊急時用差替O.A.版(12/27実施)

■ラジオCM

収録済み素材への差し替えや生読みによる対応を実施(12/17~12/18、12/24~12/27)

2-5 令和3年度における具体的対応策 ②

LINE公式アカウントによる冬道情報の提供

❄️ 冬のおでかけの必需品! ❄️

高速道路 冬道情報は



LINEの 友だち登録で

手に入れよう!

あなたに、ベストウェイ。 NEXCO 東日本

これさえ登録していれば冬道も安心

LINE公式アカウントで、冬道走行に役立つ最新情報を発信しています

- 1 通行止め予測・重要なお知らせ**
 - 新潟県内の通行止め予測等
 - 高速道路影響サイト

天気予報を踏まえ、今後の通行止め見込みなどをお知らせします。
- 2 高速道路気象予測**

高速道路のピンポイントの天気を確認することができます。雪山県などNEXCO中日本管内の天気もチェックできます。
- 3 道路映像**
 - 高速道路
 - 一般国道(新潟県)

リアルタイムの道路映像を確認することができます。
- 4 冬道走行でのお願い**
 - 冬道ドライブ
 - なぜスタックが起こるの?(動画)
 - スタックが発生しやすい箇所(地図)

昨年度、大規模凍結を引き起こしたスタックが起こる原因や発生しやすい箇所などを確認できます。
- 5 ドラトラ**

全国の高速道路の交通情報サイト。リアルタイムの状況を確認できます。
- 6 Twitter(NEXCO東日本 新潟)**

Twitterでもさまざまな高速道路の情報を発信しています。



ご利用はLINEアプリで
友だち登録をお願いします

QRコードで登録

ホーム 友だち追加 QRコード読み込み

ID検索で登録 @kousoku-fuyumichi

ホーム 友だち追加 ID検索



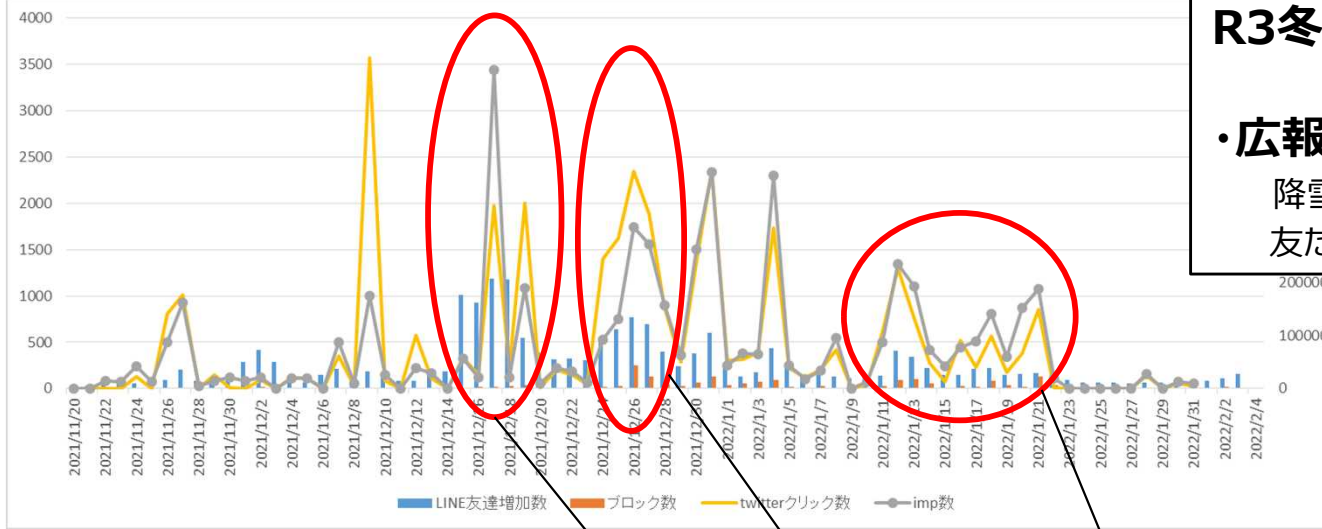
R3冬季から新潟支社で導入



R4以降、東日本版として拡大

2-5 令和3年度における具体的対応策 ③

LINE + Twitter (現 X) の推移

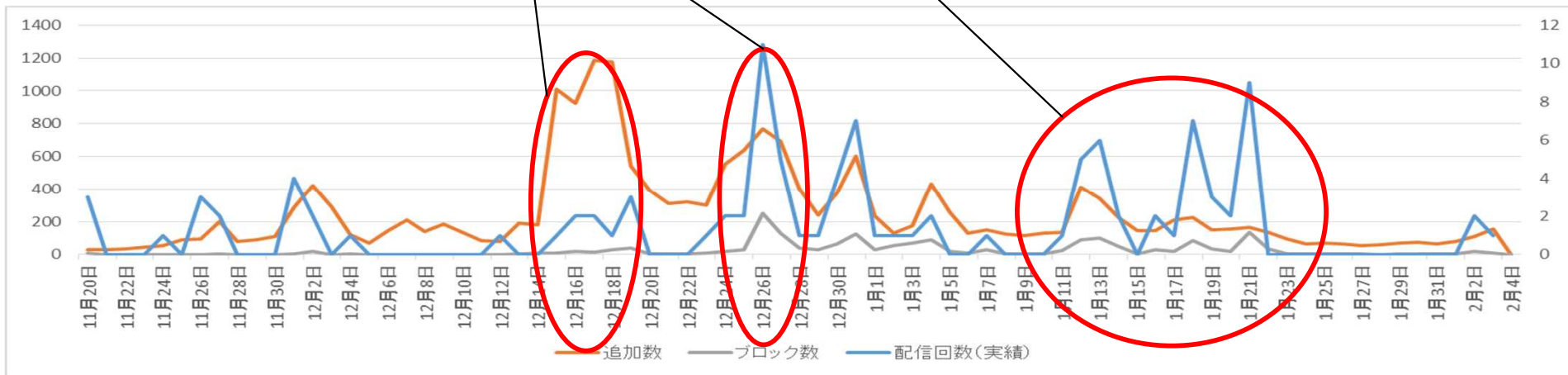


R3冬季の状況（新潟支社で実施した例）

・広報媒体別の配信数及び登録者数の推移

降雪予報及び降雪量が多かった事象時に
友だち登録数やimp数が増加。

LINEお友達数推移



県内全域
降雪予報

寒波

寒波

2-5 令和3年度における具体的対応策 ④



本線監視用Webカメラの増設



カメラ一覧 (台数)	
CCTV	96
WEBカメラ	186
合計	282

定点カメラ画像撮影システム
 通行止め時に端末となるICのランプ部やCCTV等の未設置個所に設置
 R2 : 50箇所程度緊急設置
 R3~4 で100台程度追加設置
 ⇒ R5は、32箇所設置済

2-5 令和3年度における具体的対応策 ⑤

○令和3年12月27日（月）23時頃、E17関越道六日町IC～小出IC間④の195.7KP付近で、**大型車（走行3台、追越2台）が走行不能となり、車線が閉塞**された。

○その影響で、関越道六日町IC～小出IC間④⑤が**約6時間にわたり通行止め**となった。なお、現場付近を先頭にした**車線閉塞後の車両滞留台数は106台となり、滞留解消まで約3時間**を要した。

■ 12月27日 時系列

時刻	内容
22:44	関越道下り195.7KP トレーラー①、②の停止を確認
23:00	④⑤六日町IC～小出IC間通行止め
0:24	TS到着
0:40	TSによりトレーラー②排除完了
1:20	車限隊による滞留車計測完了⇒ 106台
1:50	災対法による区間指定
2:04	滞留車排除完了
5:25	通行止め解除



■ 降雪状況(土樽PA付近)

降り始めからの累計降雪量	46.5cm
直近3時間の時間降雪量	
20時台	4.2cm
21時台	5.2cm
22時台	4.5cm
路面状況	積雪路面



今回の対応のポイント

- スタック確認後15分で巡回班がスタック発生箇所に到着、チェーン装着等の対応を実施**
- スタック確認後30分で物理的閉鎖完了**
- TS 2台を逆走にてスタック発生箇所へ向かうよう速やかに警察協議を実施

2-6 令和3年度における滞留事例

○2022.1.4(火)15時頃、E17関越道 湯沢IC～土樽PA間④の160.7KP付近で**トレーラー4台が順次走行不能となり車線が閉塞**された。

○その影響で、関越道六日町IC～水上IC④、六日町IC～月夜野IC⑤が**約4～5時間に渡り通行止め**となった。

なお、現場付近を先頭にした**車線閉塞後の車両滞留台数は464台となり、滞留解消まで約2時間**を要した。

○また、国道17号は迂回車両により各所で渋滞が発生し、群馬側の猿ヶ京スノーステーションでは交通集中を防止するための通行止めが実施されるなど、仕事始めの道路利用者に大きな影響が生じた。

■1月4日 時系列

時刻	内容
15時頃	④160.7KPでトレーラー①が脱輪停止 トレーラー②、③も断続的に走行不能
15:10	⑤湯沢IC～水上IC間通行止め
16時頃	トレーラー④が走行不能、車線閉塞
16:30	予防的広域通行止め ④六日町IC～湯沢IC通行止め ⑤六日町IC～月夜野IC通行止め
18:08	滞留車解消
20:30	通行止め解除

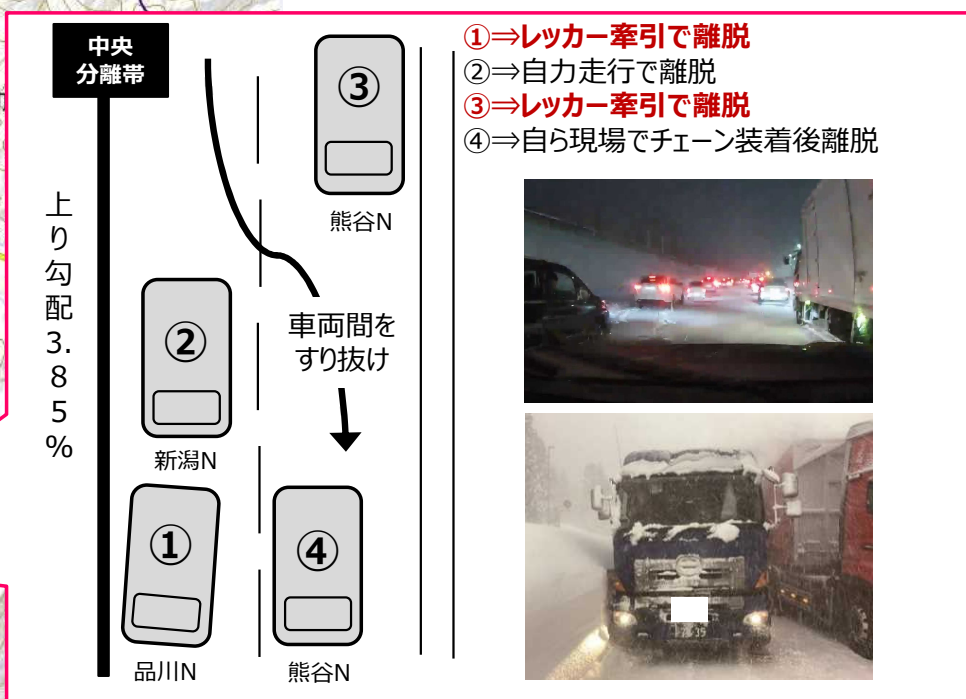


■降雪状況(土樽PA付近)

降り始めからの累計降雪量 15.2cm
直近3時間の時間降雪量

12時台	3.2cm
13時台	1.7cm
14時台	2.4cm

路面状況 積雪路面



走行不能となったトレーラーの特徴

- 全ての**トレーラーのヘッド部は一軸駆動のロングタイプ**
- 駆動輪には冬タイヤを装着していたが、**チェーンは装着していない**
- 現場でのチェーン装着作業(ドライバーが取付け)に時間を要した
- ③車は**片輪分しかチェーンを持っておらず**、当社の緊急脱出用のチェーンを試みるも、空荷のためタイヤ空転し移動困難

3 <振り返り> 令和4年度の取り組みについて

3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ①

～ 国道と高速道路の同時通行止めの実施 ～

○幹線道路上での大規模な車両滞留を回避するために、天候・道路状況・事故の発生状況等を踏まえ、国土交通省北陸地方整備局等の関係機関と緊密に連携した上で、高速道路と直轄国道の同時通行止めを実施しました

同時通行止めに関する広報実施例

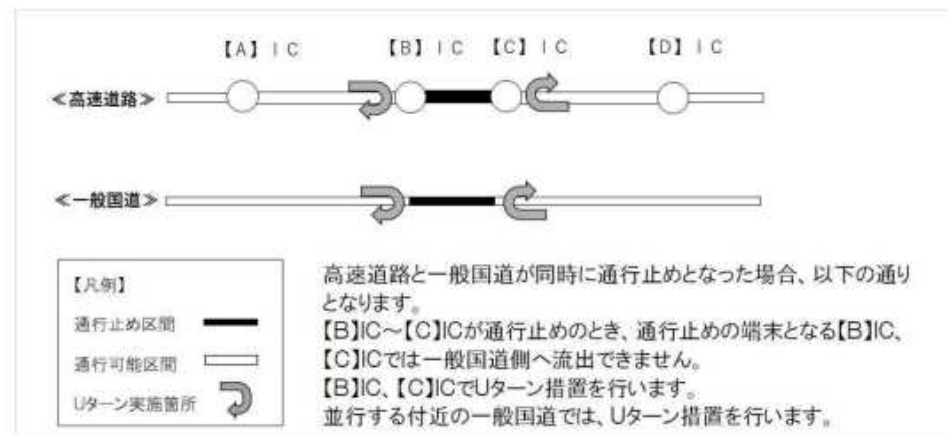
3. 高速道路と一般国道を同時通行止めにする場合のお願い

天候、道路状況、事故の発生状況等による大規模な車両の滞留を防ぐため、高速道路と、高速道路と並行する一般国道を同時に通行止めすることがあります。

同時通行止めを行う場合、高速道路の通行止め端末ICでは一般国道側へ流出することができずUターンしていただく可能性があります。

また、道路状況によっては一般国道に流出することができるICまで通行止め区間が延びる場合がありますのでご注意ください。

高速道路と一般国道の同時通行止めが解除されるまでは、最新の道路交通情報をご確認のうえ広域迂回等のご検討や安全な場所での待機をお願いします。



《流入されたICに戻り流出をご希望のお客さまへ》

出口ICでは、一般車線をご利用いただき、係員に通行止めによりUターンしたことをお申し出ください。（料金精算機・スマートIC等近くに係員がいない場合は係員呼び出しボタンを押してください）

※ETCレーンでは開閉バーが開きません！

同時通行止めに伴うUターン処理の様子 (1月24日西山IC)



3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ②

～ 情報提供、出控え広報の強化 ～

- R4年12月からR5年2月にかけて、降雪の強弱に合わせて計10期間の注意喚起・出控え広報を実施
- R4年度は、テレビCM・ラジオCMの他にも、新たにインターネット広告を活用した情報提供・出控え呼びかけを実施
- 往来抑制のため、1月23日から26日まで、NEXCO東日本新潟支社の来客受付窓口や打ち合わせ等一部の業務を休止

■ 12月から2月にかけての注意喚起・出控え広報の実施状況

注意喚起広報実施期間	注意喚起・出控え広報内容
12月11日～15日	「お出かけルート・日程の見直しをお願いします」
12月15日～12月20日	「不要不急の外出をお控えください」
12月21日～12月25日	「不要不急の外出をお控えください」
12月29日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
1月1日～6日	「お出かけルート・日程の見直しをお願いします」
1月9日～10日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
1月18日～29日	「不要不急の外出をお控えください」
2月13日～16日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」
2月18日～22日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」「安全運転を」
2月25日～28日	「最新の気象予測、道路交通情報の確認をしてください」「安全運転を」

■ 業務休止状況

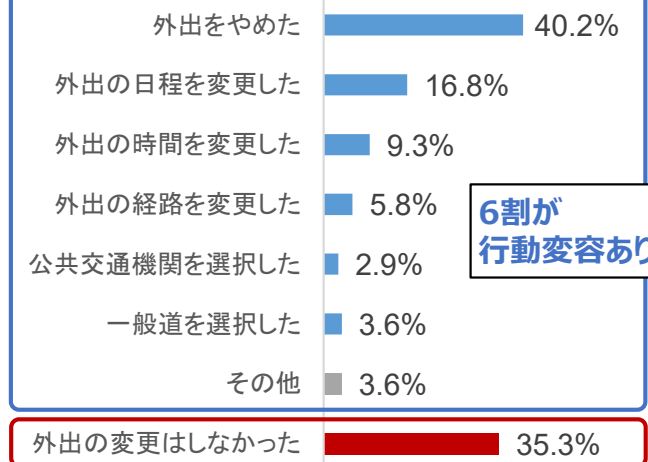


新潟支社総合受付

■ 「不要不急の外出をお控えください」の広報実績

媒体		12/15～20 差し替え本数	12/21～25 差し替え本数	1/20～29 差し替え本数
テレビCM(新潟県内の民放4局)		—	計29本	計52本
ラジオCM	FM新潟	計9本	計6本	計14本
	新潟放送	計6本	計6本	計12本
	新潟県内コミュニティFM 12局	3～4本×12局	5本×12局	10本×12局
インターネット広告	バナー広告(YDA・GDN)	1,665,560回表示	2,033,074回表示	4,778,369回表示
	動画広告(Youtube)	360,774回視聴	428,842回視聴	914,665回視聴
HP掲載・記者発表		全20報	全10報	全33報
Twitter		93ツイート	27ツイート	128ツイート
LINE		44投稿	26投稿	40投稿

(複数回答, 新潟県内居住男女 n=1,296, インターネット調査)



6割が
行動変容あり

3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ③

～ 情報提供、出控え広報の強化 (例) ～

通常時の広告配信

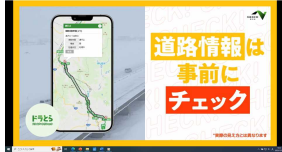
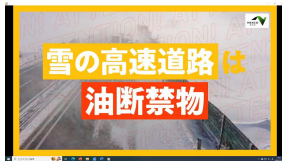


▲インターネット バナー広告

(20秒)

確認しよう、情報板。
雪の高速道路は油断禁物。
情報板の内容をよく確認してください。
道路情報は「ドラとら」で
事前にチェックをお願いします。
ネクスコ東日本

▲20秒ラジオCM

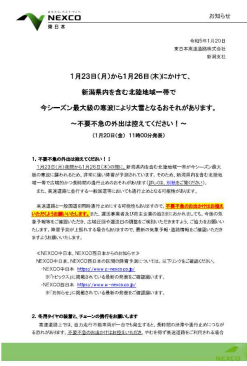


▲YouTube・テレビ広告

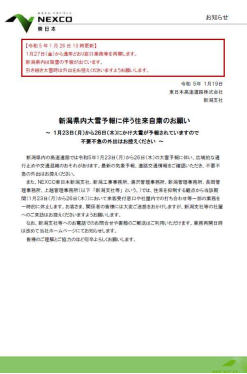
差し替え・出控え広報の例



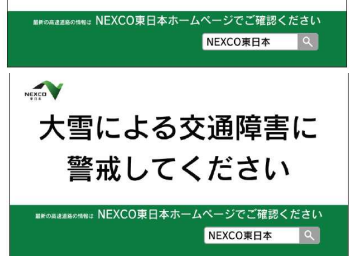
▲インターネット バナー広告



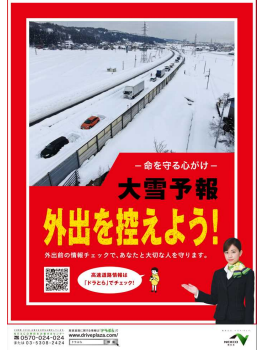
▲HP掲載・記者発表



▲窓口休止



▲YouTube・テレビ広告



▲デジタルサイネージ

「新潟県内 24日～警報級の大雪 外出はお控え下さい」

「県内大雪の予報 外出は控えて！」

▲高速道路情報板での出控え広報

(20秒)

大雪予報時は、出控えを。
高速道路で大雪が予測されています。
雪によるトラブルを回避するため
ドラとらなどの情報を確認し、
ルートや日程の見直しをお願いします。
ネクスコ東日本

(20秒)

NEXCO 東日本からのお知らせです。
大雪による交通障害の恐れがあります。
不要不急の外出は控えてください。
最新の高速道路交通情報は、
NEXCO 東日本ホームページでご確認ください。
ネクスコ東日本

▲20秒ラジオCM



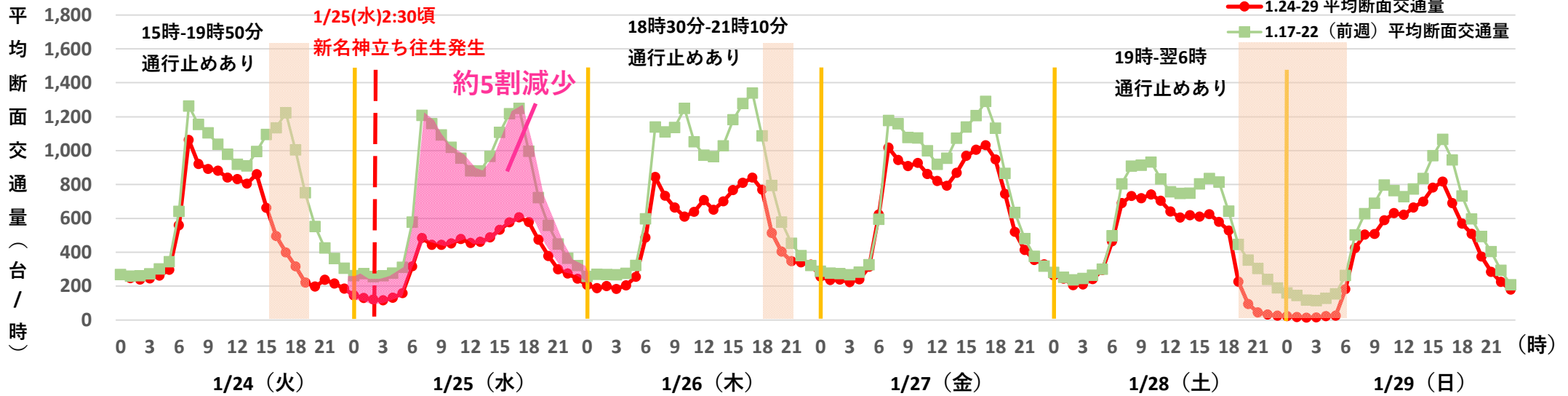
▲Twitter (現 X)

3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ④

～ 情報提供、出控え広報の強化（効果事例） ～

- 北陸道では、**全車平均で3割程度の交通量が減少**。
- 交通量減少が大きい道路は、1/25（水）の北陸道。前週と比較し、**全車平均で5割程度の交通量が減少**。
- 全体傾向として大型車よりも**小型車の方が、交通量減少率は大きく、平均で1～3割程度減少**。
- 一方、**大型車では**、平均で約1割程度の減少に留まり、**路線によっては交通量が増加**。

北陸道における1/24（火）～29（日）と前週の交通量の推移及び車種別交通量比較



1/24（火）			1/25（水）			1/26（木）			1/27（金）			1/28（土）			1/29（日）		
全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型
▲19%	▲23%	▲13%	▲49%	▲63%	▲30%	▲33%	▲44%	▲19%	▲14%	▲20%	▲4%	▲18%	▲23%	▲1%	▲21%	▲26%	▲3%

1/24（火）～29（日）と前週の車種別交通量比較（路線毎）

関越道平均			上信越道平均			日東道平均			磐越道平均			北陸道平均		
全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型	全車	小型	大型
▲18%	▲30%	+3%	▲20%	▲33%	+1%	▲19%	▲20%	▲14%	▲10%	▲11%	▲6%	▲26%	▲33%	▲12%

3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ⑤

～ 交通および路面状況監視の強化 ～

NEXCO



＜除雪車積載カメラの導入＞

湯沢・上越の梯団一号車のフロントにウェアラブルカメラを設置して、除雪状況や降雪状況の把握、また対向車線も含めた事故・スタック・滞留車両等の早期発見や現地確認が可能となる。

3-1 滞留車両を発生させないために実施したこと ⑥

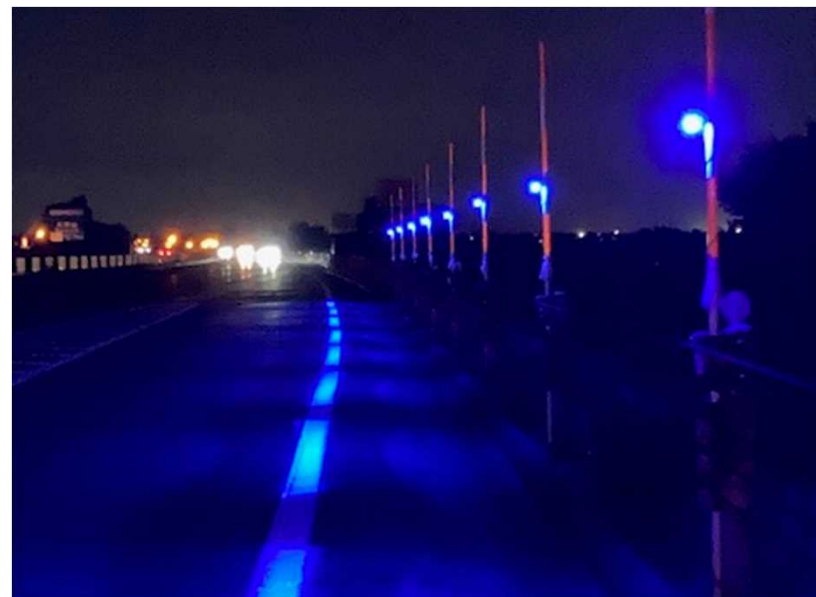
～ 事故防止対策の強化 ～

中分排水路落下対策



中分側の外側線が雪で見えなくなり
車両が排水路に落ちてしまう

⇒ 引き出しに時間を要する上、
二次災害や滞留の要因となる



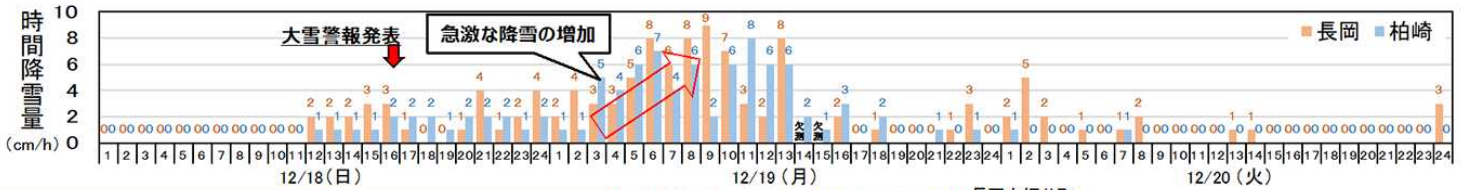
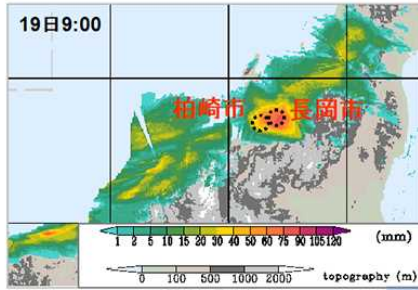
中分デリニエータからの電源を利用し
LEDライトにより中分外側線の
位置を視認化

外側線を照射し積雪路面でも路肩を明示

排水路に落ちる車両が減少

3-2 初冬寒波による長岡・柏崎市内滞留事象 ①

- JPCZ発生の影響により、長岡・柏崎周辺では、19日未明から強い降雪が連続発生
- 18日夕方から高速道路では同時多発的に発生した事故に伴い、広範囲・長時間におよぶ通行止めが発生
- 国道8号、17号でも立ち往生車が多発し、これらを契機として大規模な車両滞留に発展



災対法区間指定及び通行止め状況

指定地域	区間指定	通行止め開始	通行止め解除
国道8号柏崎地区	12/19 12:15	12/19 15:40	12/21 6:00(通行止:38h)
国道8号、17号長岡地区	12/20 3:00	12/20 6:00	12/21 8:00(通行止:26h)

写真① 19日13時頃 長崎新田 87.3kp(上り)



写真② 20日9時頃 幸町93.8kp(上り)



写真③ 21日1時頃 米山台94.9kp(下り)



写真④ 20日10時頃 中之島見附IC付近(下り)



写真⑤ 19日20時頃 川崎58.3kp(下り)



写真⑥ 19日20時頃 高畑南280.4kp(上り)



※1、2 柏崎地区はTEC-FORCE(現地活動班)により滞留車両数を確認。長岡地区はCCTV映像による滞留長調査から滞留車両数を推定。

検証委員会資料より

3-2 初冬寒波による長岡・柏崎市内滞留事象 ②

○広域的な事故多発による通行止め（県警⇔NEXCOの協議による）

- ・確認事故件数：12:18 16:45時点（下図①）で**29件**
- ・主な事故原因：大半がハンドル操作不適當、事故調書上での走行速度は概ね70~80km/h程度
（12/18 6:30より柿崎~三条で50km/h規制）

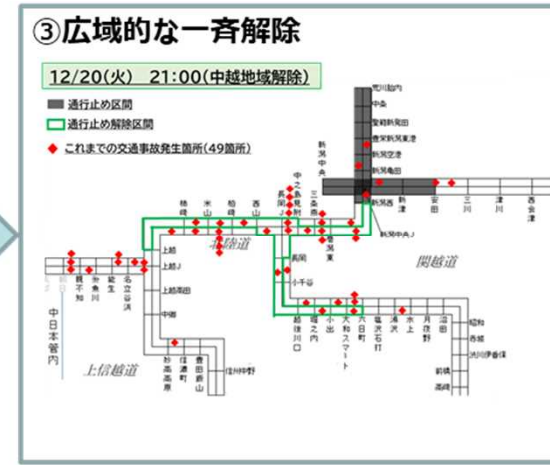
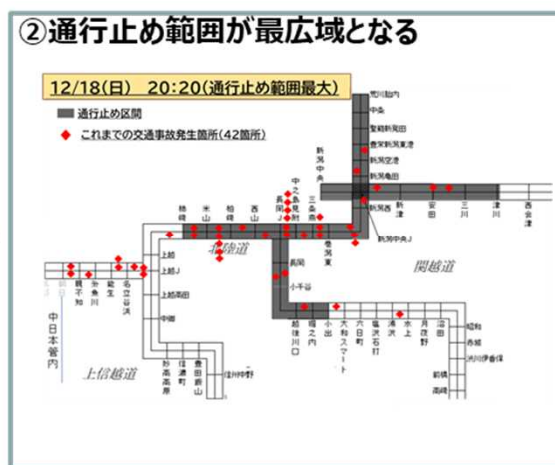
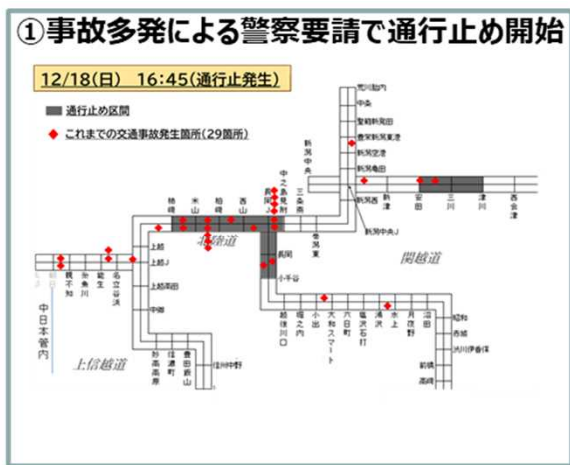


○通行止めが最大（下図②）となったのち、上越~米山（上）、柿崎~西山（上下）、小出~長岡（上下）、中之島見附~新潟西（上下）を除雪、および事故処理完了により段階的に解除するも、強降雪や一般道出口渋滞に起因する高速道路上の渋滞により再度の通行止め実施、一般道向け流出ランプの閉鎖等を継続

- ・中之島見附ICで新潟方面に向けたUターン処理実施（一般道側への交通影響回避のため）
- ・西山IC一般道交差点でNEXCO社員および県警による交通誘導実施（高速道路上の渋滞原因解消のため）
確認事故件数：12/18 20:20時点で**42件**（13件追加）

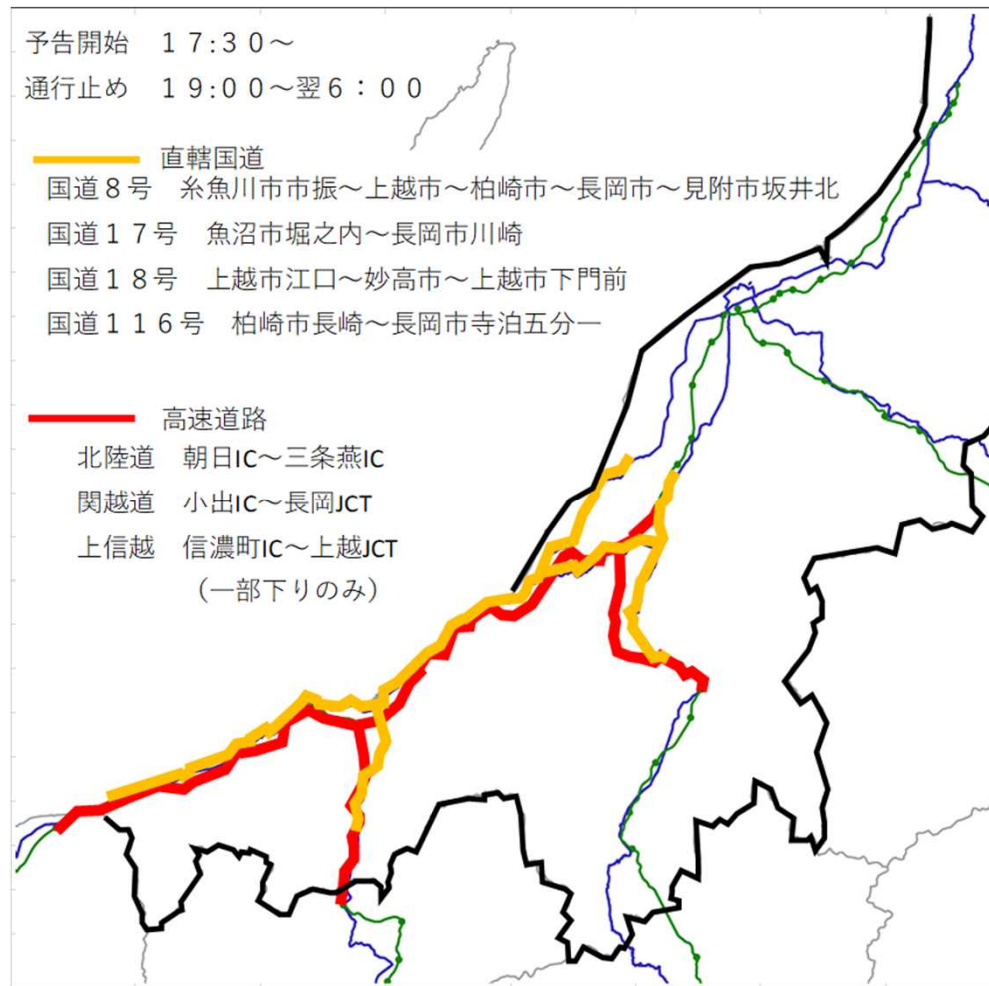
○12/20の21:00（下図③）に中越地域、12/21の5:00に下越地域の通行止めをそれぞれ解除

○通行止めの間、除雪車3台程度で構成される除雪梯団を12編成構成して、本線除雪作業等を繰り返し実施



3-2 初冬寒波による長岡・柏崎市内滞留事象 ③

- 初冬寒波の結果、「直轄国道・高速道路同時通行止め」の方針を徹底
 - 新潟県内では、初冬寒波以降の通行止めにおいて管理事務所⇔国道事務所間において
 - 通行止め実施の都度協議し、必要に応じて同時通行止めを実施
- ⇒ R5.1.28 19:00～翌6:00に県内最大範囲で国道・高速道路同時通行止めを実施

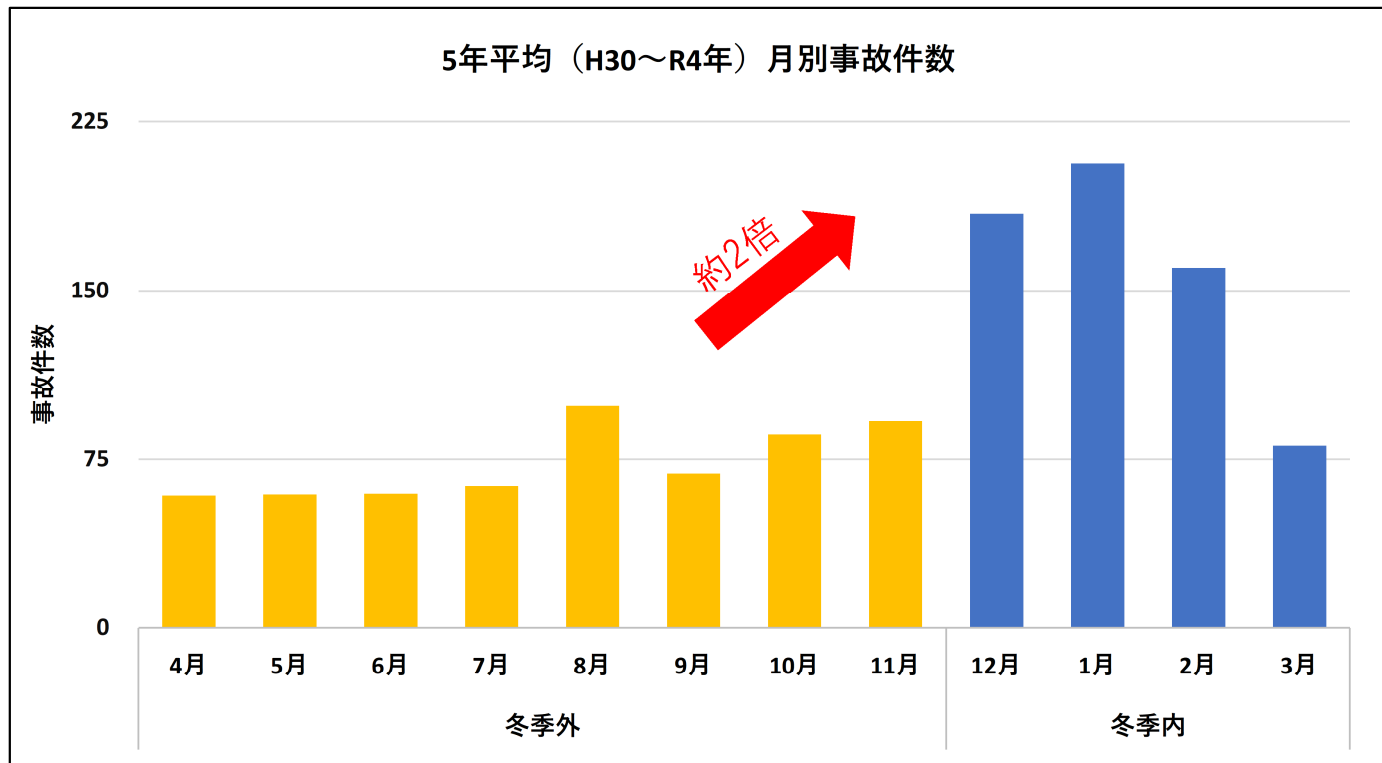


4 令和5年度の重点取り組み

4-1 交通事故発生状況 (直近5か年平均 NEXCO東日本 新潟支社管内)



- ◎ 冬季（12月～翌年3月末）は、冬季外と比べ、交通事故の発生が約2倍
- ◎ 特に12月から2月末までは、冬季外と比べ、多い傾向
- ◎ 事故は、車間距離を確保せずに、スピードの出しすぎや「急加速・急ハンドル・急ブレーキ」などの「急」の付く動作により発生します。



[冬季事故の様子]



※NEXCO東日本 新潟支社調べ

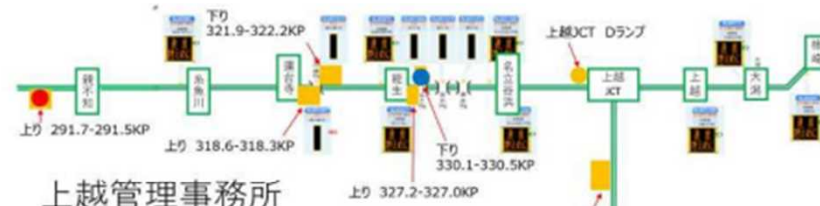
4-2 交通事故削減対策

ハード対策：赤色回転灯設置による速度抑制対策

- これまでの分析のとおり、**速度抑制対策の実施が事故削減、重大事故抑制に直結**し、結果的に事故による通行止めリスクや緊急通行止め対応の業務負担も低減可能となる。
- 分析結果をもとに、各事務所1箇所、赤色回転灯による速度抑制対策を適宜設置する。
- WG内で効果検証を並行して実施し、箇所の見直しを行う（時期により箇所を変更することが前提）。

長岡管理事務所

- : 【冬期外】赤色回転灯設置箇所
- : 【冬期内】赤色回転灯設置箇所
- : R4年度WG対策予定箇所（本線内）
- : R4年度WG対策予定箇所（本線外）



- : 【冬期外】赤色回転灯設置箇所
- : 【冬期内】赤色回転灯設置箇所
- : R4年度WG対策予定箇所（本線内）
- : R4年度WG対策予定箇所（本線外）



赤色回転灯イメージ

※高速上に赤色灯を設置する可否について高速隊に確認了承済。

設置箇所

事務所	冬期外（4～11月）	冬期内（12～3月）
湯沢（管）	関越道 ④226.6→227.0KP	関越道 ⑤157.8→158.2KP
新潟（管）	北陸道 ④465.6→465.9KP	北陸道（左記に同じ）
長岡（管）	関越道 ④243.3→243.1KP	北陸道 ④412.1→412.4KP
上越（管）	北陸道 ④291.7→291.5KP	北陸道 ④330.5→330.1KP

4-3 滞留車両を発生させないために ①

ノーマルタイヤ車両への安全啓発

ノーマルタイヤ状況非雪国ナンバー（首都圏）



令和3年度実績（令和4年度はなし）：

普通車ノーマルタイヤにて登坂不能車及びスタック車両として確認された台数 **6台**

4-3 滞留車両を発生させないために ②

レンタカー協会への啓発 (R5年度は11月発出済)

東高新支道交第624号
令和5年11月8日

関東地区レンタカー協会連合会
専務理事 ○○○○様

東日本高速道路株式会社新潟支社
道路事業部長 ○○○○

冬期におけるレンタカー利用者への交通安全啓発について（協力依頼）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社の業務につきまして格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、これからの冬期間においては、雪道での交通事故が多発する傾向にあり、また、交通事故等を起因として大規模な滞留車両が発生する可能性もあるため、弊社においては雪道運転時における交通安全啓発を予定しています。

つきましては、貴連合会におかれましても、貴連合会加盟の各都県レンタカー協会様に対し、次のとおり交通安全啓発へのご協力をお願い致します。

- ① 各レンタカー事業者様の店頭等に同封する広報物（※）の掲示又は配置
- ② 冬期に首都圏から新潟県方面への走行を予定しているレンタカー利用者様に向けて、同封する広報物を用いて冬用装備に関する周知啓発及び雪道走行の注意喚起

※同封する広告物
雪用心（冬装備に関するリーフレット）

以 上

ドライバーへの啓発



冊子の発行

-CONTENTS-

- 雪道に“習熟ドライバー”は存在しない
- 高速道路網と最大積雪深図
- 雪見には冬用タイヤを！チェーンの携行も忘れずに！
- ドライブ前の点検等チェック事項
- 急がず、無理せず、ゆとりのドライブを
- “過信”の影に“危険”が潜む
- 除雪作業等へのご理解・ご協力をお願いします
- 雪道の便りは、情報のキャッチから
- お出かけ前にチェック

4-3 滞留車両を発生させないために ③

R5年継続・更新



LINEによる情報配信の強化



高速道路の情報を LINEで配信します
LINE公式アカウント「NEXCO東日本」

調べる Research

通知を受け取る Receive

知って得する Benefit



ここからここまでの 高速料金は？

来月の工事の予定は

目的地の天候を チェックしたい

お得なプランを 検索したい

etc.



4-4 滞留車両が発生しても短時間で解決させる ①

R5年冬季も継続・拡大

NEXCO

状況把握のため、本線監視カメラの設置



カメラ一覧 (台数)	
CCTV	96
WEBカメラ	186
合計	282

定点カメラ画像撮影システム
 通行止め時に端末となるICのランプ部やCCTV等の未設置個所に設置
 R2：50箇所程度緊急設置
 R3～4で100台程度追加設置
 ⇒ R5は、32箇所設置済

仮設避難階段の設置

5か所に設置

番号	代表KP	上下	IC間
1	162.3	下り	土樽 ~ 湯沢
2	170.3	上り	湯沢 ~ 塩沢石打
3	183.7	下り	塩沢石打 ~ 六日町
4	184.2	上り	塩沢石打 ~ 六日町
5	202.8	上り	大和S ~ 小出



仮設階段で冬設置⇒春撤去としていたが、今年度以降、**雪踏み階段**の設置へ移行



かんじき



コープ固定用アンカー



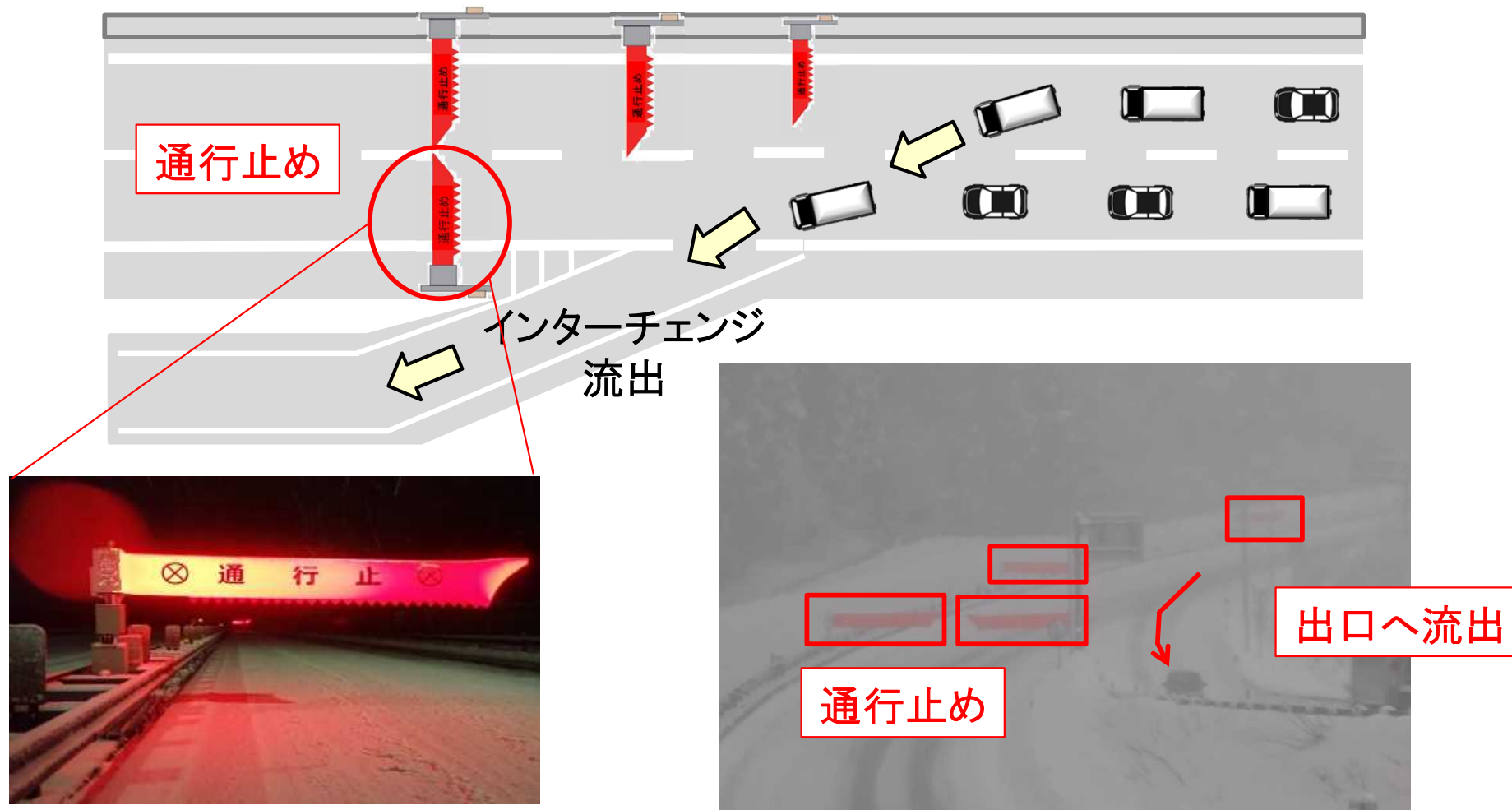
手摺用ロープ

人力手作業による、雪の踏み固めと整形のみ
⇒ **約30分での設置が可能となる**

4-5 簡易な規制装置による通行止めの早期実施

エア遮断機による通行止めの早期実施

通行止めのタイミングが遅れると大規模な車両滞留の発生につながるため、通行止め時の端末インター出口本線部に遠隔操作できる簡易な規制装置を整備済み。インターチェンジ出口へのスムーズな流出が期待できる。



4-6 通行止めなどの情報配信

大雪予測の際は、X（旧Twitter）及びLINEでの出控え広報や降雪・除雪作業状況をお知らせ

富山県、石川県、福井県を中心に高速道路の情報を提供。
 大雪が予想される場合は、3日前から出控えや通行止めの可能性がある区間と迂回案内などお知らせ。



区間	11日 (土)	12日 (日)	13日 (月)	
				夜間
E41 東海北陸道 福光IC～白川郷IC				
E41 東海北陸道 白川郷IC～五箇山IC				

X(旧Twitter) 冬道情報の入手方法

フォロー

X(旧Twitter)ID:@c_nexco_kana

LINE

友だち追加

LINEID:@c_nexco_kana

登録をお願いします！

NEXCO東・中日本からのお知らせ

<除雪作業へのご協力をお願い>

- ◆ 高速道路上の除雪作業は、走行中のお客さまの安全を確保しながらの作業となることから、車線を一時的にふさいだ状態で50 km/h以下の低速により実施しています。
- ◆ 天気の良い日でも路面状況の確認を目的とした作業の他、道路の凍結を防止するために凍結防止剤を散布する作業を実施する場合があります。
- ◆ これらの作業は、お客さまに安全に高速道路をご利用いただくための重要な作業です。走行中にこれらの作業に遭遇した場合は、作業車両との車間距離を十分に確保して、追い越しなどの危険な行為はおやめください。



運輸防災マネジメントセミナー

令和5年度運輸安全マネジメント強化キャンペーン(下期)



国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官室

- 1** 自然災害（雪害）の状況と被害
- 2** 自然災害（雪害）から得られる課題と対応ポイント
- 3** 運輸防災マネジメントのポイント（取組事例を含む）
 - (1) 経営トップの責務
 - (2) 防災の基本方針
 - (3) リスク評価
 - (4) 事前の「備え」
- 4** まとめ



1 自然災害（雪害）の現状と被害

■ 平成30年2月の大雪に伴う滞留（福井等）

- ・福井市では、「昭和56年豪雪」以来の記録的な大雪となり、福井・石川県境付近では**大規模な車両滞留**も発生

＜被害状況＞（福井・石川県境）

最大滞留車両：約1,500台

車両滞留期間：2日と17時間

当該地域の生活や経済活動に多大な影響が発生！



【国道8号（福井県）車両滞留の状況】

■ 令和2年12月の大雪に伴う滞留

関越自動車道（月夜野IC～小出IC間）

- ・**大型車のスタック**を契機に、**長時間滞留が発生**
- ・自衛隊や警察等の協力による物資配布、車両救出を実施。

＜被害状況＞（新潟県、群馬県等）

最大滞留車両：約2,100台

車両滞留期間：【新潟市方面】 約1日と9時間

【東京方面】 約2日と4時間



【関越自動車道（新潟県、群馬県等）車両滞留の状況】

■ 令和3年1月の大雪に伴う滞留 北陸自動車道（福井IC～金津IC間）滞留約1,600台

国道8号（福井）渋滞長最大15km

■ 令和4年1月の大雪に伴う滞留 首都高速（東京都）車両滞留14時間 等

■ 令和5年1月の大雪に伴う滞留 鉄道車両の駅間停車 等

1. 自然災害（雪害）から得られる課題

近年、大規模な車両滞留が多数発生し、安全・安定輸送に関わる課題が顕在化。

- ① 的確な気象情報・道路情報の把握
- ② 上記①を踏まえた、運行（航）計画（中止又は広域迂回）の策定
- ③ 雪に対する事前の備えの必要性



2. 雪害への対応ポイント

- ① 降雪・積雪の予測はある程度可能。最新の気象予報・警報、道路交通情報をもとに、積雪や視界不良による運行中の立ち往生等を防止するための迅速な判断と対応が極めて重要。
- ② 雪崩、融雪による河川の増水に伴う二次災害にも十分な注意が必要。
- ③ 旅客・貨物輸送の一時運休・停止について、旅客・荷主等に前広に周知、県・関係機関との連絡を密にして対応体制を構築、除雪後の輸送再開に備えることが重要。
- ④ トラック等の場合、突発的な大雪に備え、適切な冬用タイヤやチェーン、車内への食料・飲料などの備えも大切。

(1) 経営トップの責務

(2) 防災の基本方針

(3) リスク評価

(4) 事前の「備え」

(5) 代替性の確保

(6) 平時と非常時の体制

(7) 自然災害の態様に応じた対応

(8) 楽観主義の排除（思い込み（バイアス）の排除）

(9) 関係者との連携

(10) 利用者への情報発信

(11) 教育と訓練

(12) 見直し・改善（他事例の学び）



4点に絞って説明

3 運輸防災マネジメントのポイント



(1) 経営トップの責務

1. トップダウン

- ① 経営トップの責務は、事故対応と同様に重要。特に自然災害による被災の直前から直後の対応は、危機管理そのもの。トップダウンで対応する体制が必要。
- ② 災害発生時、経営トップはいち早く災害対策本部に参集し、自ら対策を指示。

2. 経営判断

- ① 事前の備えや事業継続のため経営資源（予算と要員等）の配分、優先的に再開する事業の事前策定等も求められるため、経営上重要な判断が必要。
- ② 例えば、鉄道の計画運休などのように一旦中止する経営判断が必要となるケースもあることから、経営トップの対応が必要。



3. 事業者全体での対応

「防災」も「安全」と同様、平時からマネジメント部門が経営課題として認識して、事業者全体が対応策を考え、実践することが重要。

(2) 安全方針と防災の基本方針

- ① 防災の基本方針は、経営トップが決裁。
内容は、① 人命最優先（避難・救助・救護の原則） → ② 事業継続
- ② すべての社員・職員にとって重要。



リスクを正しく評価することが防災の第一歩

遭遇する懸念のある **自然災害の種別と程度を把握、リスク評価** を行った上で、**事前の備えから事後の対応までの対策** を実施。

雪害に関しては、**積雪・降雪予報、過去の積雪状況等によりハザードを把握する必要有**

【雪害ハザードの具体的な把握方法】

- 気象庁 今後の雪（降雪短時間予想）1時間毎に推定した現在の **積雪の深さ** と **降雪量の分布**、及び **6時間先までの予測**
- 気象庁 過去の気象データ検索
- 重ねるハザードマップ（雪崩危険箇所、予防的通行規制区間）
- 道路・線路等サイト設置カメラからの情報 等



リスク評価の流れ

① 自然災害の種別・程度を把握

② 被害の規模・程度を見積もる

③ 事前の備えから事後の対応まで対策を検討

④ 対策を実行

事故防止と同じく、平素からの取組がポイント。平時からの「備え」が不可欠。



留意すべき点



① 計画的装備

リスク評価による最大被害をもとに、事前準備のレベルと内容を検討。防災品、**燃料**、食料の備蓄、避難施設の準備、宿泊場所の確保、**非常電源の配備**等を**計画的に実施**。

② 緊急連絡網

緊急連絡網の携帯電話等の電話番号リストは**常時最新のもの**を入力。**複数の通信・連絡手段**の確保。

③ 防災マニュアル

マニュアル整備は、社員・職員の役割確認、防災意識向上の意味で有意義。**「詳細化」ではなく、行動規範のような内容の方が実用的**

④ 事業継続計画

防災を経営に必要な事業活動として一体化して考える。事業者全体で自ら策定する過程を大切に。

⑤ タイムライン

「平時の準備」「直前の準備」「直後の応急」「復旧(事業継続)」に分けて、**自然災害対応のタイムラインを設定**、局面毎のリスク評価実施。

 留意すべき点 → 雪の場合の計画的装備

① 雪道への備え

- ⇒ 冬用タイヤへの交換
- ⇒ チェーン（チェーン規制のため）の携行



- ⇒ 冬用ワイパーへの交換
- ⇒ こまめな給油
- ⇒ 十分な車間距離の確保
- ⇒ 時間にゆとりのある運行計画

② スタックした場合の脱出のための備え

- ⇒ スコップ、長靴、防寒着、毛布、脱出マット、懐中電灯等



③ 万が一の滞留のための備え

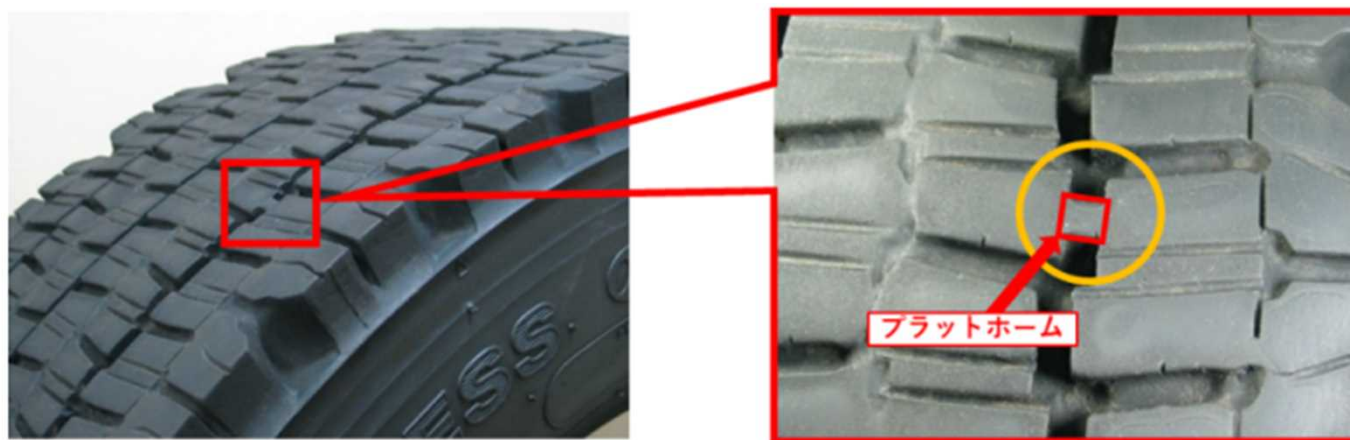
- ⇒ ②に加え、非常食、飲料水、携帯トイレ、本社との通信手段、ラジオ等



事前の備えの内容については、マネジメントレビューや内部監査などにより、見直し・改善

令和3年1月26日より、バス・トラック運送事業者は、雪道において適正な冬用タイヤを使用していることを確認することが義務付けられました。

1. **整備管理者**は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、**溝の深さが**タイヤ製作者の推奨する**使用限度※**よりも**すり減っていないことを確認**しなければなりません。
2. **運行管理者**は、雪道を走行する自動車について、**点呼の際に上記事項が確認されていることを確認**しなければなりません。



※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の**50%**まですり減った際にプラットホームが溝部分の表面に現れます。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000264.html

(4) 事前の「備え」・タイムライン

タイムライン（防災行動計画）とは、災害の発生を前提に、大規模水災害、雪害等の発生予測時刻から逆算して、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「どのように」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画。



留意すべき点

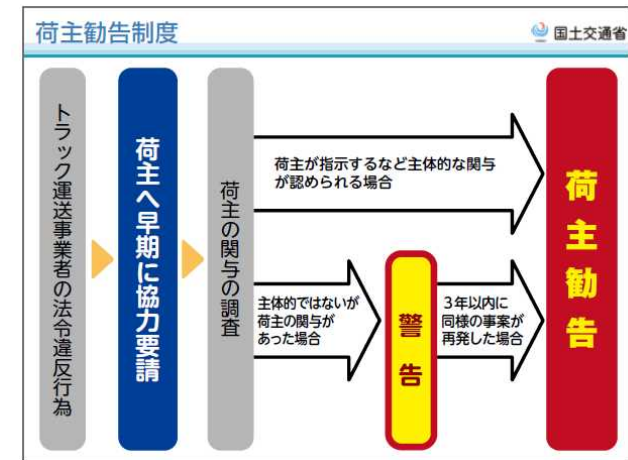
- ① 台風・大雪等は、気象予報等から発生がある程度予測可能。
- ② 例えば、積雪予報に応じて、リスクの高い路線の一時運休、速度制限を行い積雪量予報を踏まえ、計画運休又は、広域迂回経路による運行を実施等。
- ③ タイムラインの目安として大雪特別警報、大雪警報・注意報等の発表に関する情報が活用可能。（例 早期注意情報、気象台からの発表など）
- ④ 一時運休、全面運休、計画運休は、地域の人流（旅客）・物流（荷主等）に大きな影響を与えることから、国、地方公共団体、関係者との情報共有と連携、利用者・荷主等への適時適切な情報提供が重要。

気象予報等からある程度予測可能な大雪・台風等については、国から示された「異常気象時における措置の目安」を基に、**着荷主・発荷主等と連携**を図りつつ、安全が確保されるまでの間、**運行を一時中断（計画運休）する等、予め協議・協定締結**を行うことをご検討ください。

なお、安全な輸送を行うことができないと判断したにもかかわらず、荷主等に輸送を強要された場合、**国土交通省にその旨を通報する手段**が設けられています。

⚠️ 異常気象時における措置の目安 ⚠️

気象状況	雨の強さ等	気象庁が示す車両への影響	輸送の目安*
降雨時 	20~30mm/h	ワイパーを速くしても見づらい	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	30~50mm/h	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	輸送を中止することも検討するべき
	50mm/h以上	車の運転は危険	輸送することは適切ではない
暴風時 	10~15m/s	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける	輸送の安全を確保するための措置を講じる必要
	15~20m/s	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる	
	20~30m/s	通常で運転するのが困難になる	輸送を中止することも検討するべき
	30m/s以上	走行中のトラックが横転する	輸送することは適切ではない
降雪時		大雪注意報が発表されているときは必要な措置を講じるべき	
視界不良（濃霧・風雪等）時		視界が概ね20m以下であるときは輸送を中止することも検討するべき	
警報発表時		輸送の安全を確保するための措置を講じた上、輸送の可否を判断するべき	



無理な輸送を強要されたら、下記へ情報提供を！



* 輸送を中止しないことを理由に直ちに行政処分を行うものではないが、国土交通省が実施する監査において、輸送の安全を確保するための措置を適切に講じずに輸送したことが確認された場合には、「貨物自動車運送事業者に対する行政処分等の基準について（平成21年9月29日付け国自安第73号、国自貨第77号、国自整第67号）」に基づき行政処分を行う。

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>



取組

① 豪雪時の対応体制の構築

豪雪時の対応マニュアルを策定し、対応体制を以下のとおり構築

◆ 対策本部の設置基準：新潟地方気象台16時時点で発表する降雪予報（17時から翌9時までの予想降雪量）において **下越海岸部で最大20cmを超えた場合**

◆ 対策本部の体制：

対策本部長：乗合バス部長（統括）、対策副本部長：運営センター販売課長（本部長代理）、運営センター運行課長（運行判断・指示、除雪対応）

◆ 早朝の巡回体制の構築：

上記の対策本部設置基準が満たされる場合、以下の表に基づき巡回を実施し、**路線毎に運行・運休・迂回運行を判断**。始発5:30までに 利用者へTwitter、HP等で情報提供 → R2年度2班体制での運用状況を踏まえ、R3年度からは3班体制へ 見直し・改善

	出勤時間	担当 (2班体制→3班体制)	役割
一次出勤者	4:00	責任者	運休・迂回運行の決定
		コントローラー(責任者補助)	路線状況の集約・営業所への指示
	巡回後 5:30	各路線毎の担当者	社用車で担当路線巡回、 運行可否判断後、本社出勤 運休・迂回の場合、停留所掲示作業
二次出勤者	6:30	・新潟駅周辺	・新潟駅前の旅客案内・除雪
		・バスセンター	・旅客案内

自動車モード (バス) <新潟交通株式会社>

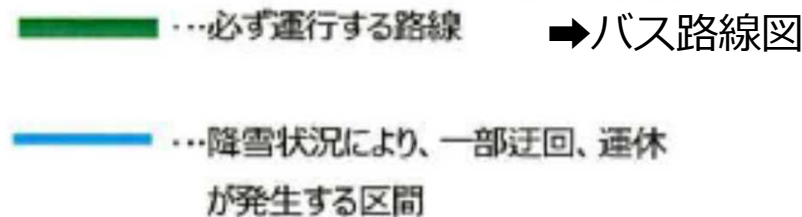


取組 (続き)

- ②雪かき作業 → 各営業所内敷地は、除雪車を配備し、除雪体制を構築。バス停付近は担当部署以外を含め人海戦術による除雪。降車場所と乗車場所の2箇所を除雪
- ③冬タイヤの管理 → 毎年、早め(11月中旬)に新品を購入し冬用タイヤへ履き替え。雪シーズン後もそのまま交換せず履き潰して毎年同じ時期の交換により冬期には**常に良い状態のタイヤを維持**

④豪雪時に優先される路線の明確化と利用者への情報提供

降雪期には道路管理者との連携により非常時運行体制を実施。豪雪時には、自治体の除雪能力の限界を踏まえ、道幅が狭くなることから安全な運行ルートを確認するため近接の幹線道路に迂回するなど、**「必ず運行する路線」と「降雪状況によって、一部迂回、運休区間が発生する路線」**を区別し**優先順位を付け**運行を継続。**利用者へHP、Twitterを通して迅速・的確な運行情報を提供**



取組の効果

- ① 豪雪時の路線の優先順位を踏まえた、安全な運行の維持
- ② 利用者への適時・適切な運行情報の提供

4 本日のまとめ

1. 経営トップの責務

(1) 大規模災害時は経営トップの判断が必要

① 予測可能な雪害 **一部運休 → 全面運休 → 一部再開 → 全面再開の判断**が必要

② 雪害対応に対する経営資源（ヒト・モノ・カネ）の選択と集中

(2) 事前の備えなどへの投資

2. 防災の基本方針

重点推進事項

(1) 防災の基本方針は、経営トップが決裁

(2) 優先順位 **① 人命最優先（避難、救助、救護の原則）** → **② 事業継続**

(3) 防災の基本方針の対象者 → **すべての社員・職員にとって重要**



3. リスク評価

重点推進事項

降雪・積雪の状況・予報等を活用して本社・営業所及び運行（航）エリアの雪害の可能性を把握し、降雪・積雪による事業への影響度を想定

4. 事前の「備え」

(1) 上記3.の結果を踏まえ、**雪シーズン前**に、事前の「備え」を行い、

降雪・積雪情報の入手先を確認

(2) 予測可能な雪害に対しては**タイムラインを策定**し、対応を実施

(3) 荷主等との**事前協議・協定締結**等により安全最優先の運行の実施



ご清聴ありがとうございました。



アンケートにご協力下さい。

※アンケートは、以下のQRコードよりアクセス可能です。





国土交通省 大臣官房
運輸安全監理官室

運輸防災マネジメント指針の解説の策定について(令和3年2月22日)

目的 大臣プロジェクト「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト」の一環として、運輸事業者の自然災害対応力の向上のため、令和2年7月6日に策定・公表された「運輸防災マネジメント指針」(以下「指針」という。)を**詳細に分かりやすく解説**することで、**更なる理解**を促し、運輸事業者における**運輸防災マネジメントの構築の一助**とすることを目的としています。

特徴

① 防災指針の項毎に詳しく解説。左ページに防災指針、右ページに解説、**見やすさに配慮**したレイアウト。
2冊を見比べる必要なく、1冊で完結。

② 設定により**冊子印刷**が可能。 ※中綴じホッチキスが必要になります。



見どころ

① 指針を分かりやすく説明

運輸防災マネジメントのポイントとして指針において推奨される取組及びその留意すべき点について分かりやすい詳細な説明を追加しています。

- ◆ 防災の基本方針 ◆ 自然災害リスク評価からその対応の一連の対応
- ◆ 計画的装備、緊急連絡網、防災マニュアル、タイムライン等の事前の備えの内容
- ◆ 代替性の確保(ハード面、ソフト面) ◆ 利用者/荷主への情報提供
- ◆ 関係者(自治体・国・事業者)との連携 ◆ 教育・訓練等



QRコード

② 具体的な事例・例示の提示

防災指針の中で推奨する種々の取組の具体的な事例、例示を関連箇所に提示しています。

③ 関係する参考情報の提供

随所に、指針の参考情報を掲載。情報元のURLとQRコードを提供しています。



運輸防災マネジメントに役立つ情報PPT資料について

災害関連情報(ハザードマップ、気象情報等)、BCP策定等の支援(中小企業庁、DBJ格付融資等)、再建支援、多言語支援(JNTO提供アプリ、コールセンター等)



QRコード

取組事例のHP公開について

33件 (鉄道11件、自動車12件、海事7件、航空3件) 令和5年11月現在

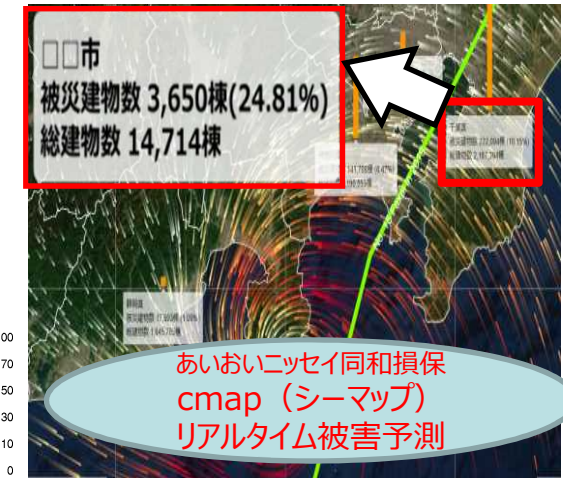
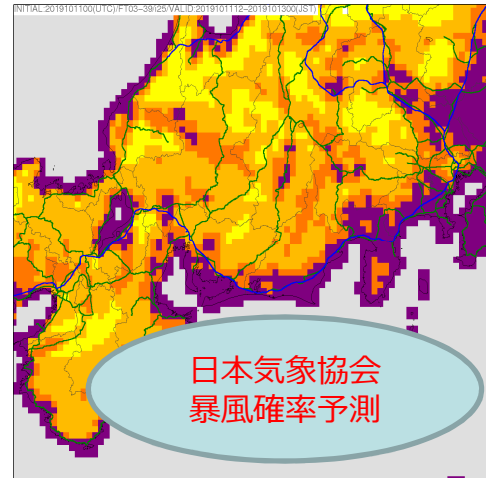


QRコード

営業所高台移転、非常用発電機設置、予備燃料確保、各種訓練実施、荷主との事前協議等

災害関連情報

- 気象庁：各種気象データの提供
- （一財）日本気象協会
：精緻な気象情報の提供
- 国土交通省
：川の防災情報
防災ポータル
重ねるハザードマップ
わがまちハザードマップ
DiMAPS
大規模氾濫減災協議会制度



BCP策定等の支援

- 地方自治体
：運輸事業者の防災力向上に向けた公的支援
- 内閣府防災：事業継続ガイドライン
- 中小企業庁：中小企業BCP策定運用指針
BCP策定・運用についての
専門家派遣
地域と企業の連携支援
- 日本政策投資銀行
：BCM格付融資
- 金融機関等
：BCP作成支援

再 建 支 援

- 日本政策金融公庫等
：災害復旧貸付
- 各都道府県等の
信用保証協会
：セーフティネット保証4号
災害関係保証
- 最寄りの生活衛生同業組合
：生活衛生改善貸付

多言語対応支援

- 日本政府観光局
(JNTO)
：コールセンター
(050-3816-2787)
アプリ
(Safety Assistance)
WEB、SNS



※気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>)

○気象庁にて、気象防災、地震・津波、火山、海洋等の様々な情報の提供が行われている。

気象防災

- 気象警報・注意報
- 大雨危険度
- キキクル
- 雨雲の動き
- 今後の雨
- 気象情報
- 台風情報
- 指定河川洪水予報
- 土砂災害警戒情報
- 竜巻注意情報
- 熱中症警戒アラート
- 今後の雪

等

地震・津波

- 津波警報・予報
- 地震情報
- 推計震度分布図
- 長周期地震動に関する観測情報
- 南海トラフ地震関連情報

等

- 噴火速報・警報・予報
- 降灰予報
- 火山ガス予報

火山

等

- 海上警報・予報
- 海上分布予報
- 波浪実況・予想図
- 潮位観測情報
- 波浪観測情報

海洋

等

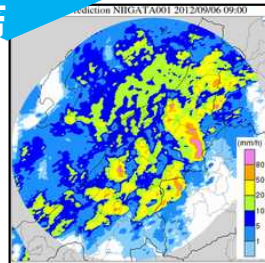


出典：(一財) 日本気象協会ホームページ (<https://www.jwa.or.jp/>)

豪雨・浸水・洪水・高潮対策

● 気象モデルによる降雨予想システム

最大78時間先までの降水量を精度良く予測。



● 土砂災害予想システム

山岳域で広範囲に渡って存在する設備網や線状の設備網（送電線網、パイプライン網、線路網、道路網など）の土砂災害リスクの把握に有効。

● ダムの事前放流判断支援サービス

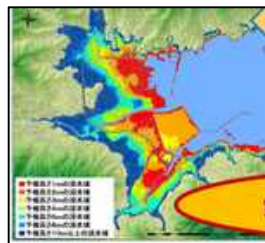
高解像度の雨量予測を基にダムへの流入量を予測し、事前放流判断を支援

● 高潮予測システム

120時間先までシミュレーションによる予測情報を作成。5コースの台風経路を設定し、1時間ごとの各地点の予測潮位を提供します。（東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海のみ）

● リアルタイム津波浸水予測システム

これまで培ってきた津波数値計算技術を用いて気象庁の震源予測に対応した津波到達時刻、高さ、浸水範囲、浸水深さなどをリアルタイムで予測するシステム



地震・津波対策

危機管理・防災

● GoStopシステム

全国的高速道路を対象に、気象による輸送影響リスクを72時間前から、地図等によりひと目で確認できるWebサービス。各路線のインターチェンジごとに、5つの気象要素（雨、風、雪、吹雪、越波）を1時間ごとに把握可能。

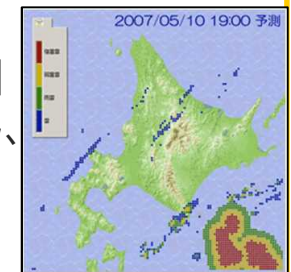
● 気象データ入電情報通知システム (MIEmAS)

警報や地震情報等の発表をいち早く知らせ、災害時における組織の迅速な対応を支援。



● 雷監視・予測サービス

落雷・雲放電の観測データと最新予測技術を活用し「落雷観測情報」「雷ナウキャスト」「雷予測メッシュ」を提供。雷雲の接近を事前に検知し、外作業や発電設備の事前停止など、迅速な初動対策を促す。



● 気象観測・解析

地上での気象観測以外に、係留気球や光放射観測、超音波風向風速計を用いて高層での気象観測や風況観測などを実施

気象
リスク
マネジメント
に関する情報
を提供

○ 国土交通省や各関係機関等の情報提供ツールを一元化して、多言語化やスマートフォン対応等により、国内外の方々が平時から容易に防災情報等入手できるよう、防災ポータルを公開。

〈日頃から知ってほしい情報〉

被害想定

想定される被害やハザードマップを見ることができます

路線情報

バス・鉄道の路線図を見ることができます

私たちの取り組み

国土交通省が取り組む災害対策などを見ることができます

身の守り方

災害時に身を守るための知識を見ることができます

〈災害時、見てほしい情報〉

被害状況

災害時、いち早く被害の状況を見ることができます

気象状況

台風などの気象情報、雨量や河川の水位などを見ることができます

逃げるための情報

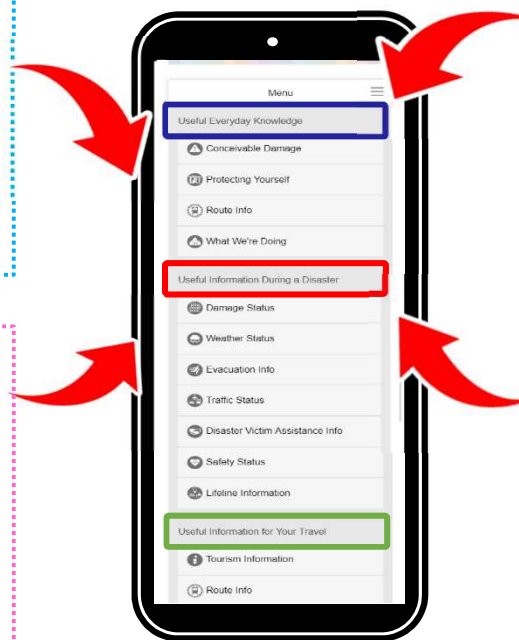
避難所等の防災施設を検索することができます

交通・物流情報

道路交通情報や鉄道・航空各社の運行情報、物流の状況を見ることができます

※その他、ライフライン情報などの情報も掲載されています

関係機関の情報提供ツールが
一元化



ご利用はコチラ

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/olympic/index.html>



出典：国土交通省川の防災情報ホームページ (http://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

●ウェブサイト「川の防災情報」 ※英語版あり

- 国または都道府県等が管理している一級河川、二級河川の情報（国、都道府県等が管理している水位観測所、雨量観測所等の情報）が原則対象。
- 無料**で閲覧可能。また、閲覧するために**登録が必要な情報は無し**。ただし、閲覧するためのデータ通信費用については、利用者の負担。

○雨量

10分ごとの雨量や1時間ごとの雨量が確認可能。

○レーダ雨量

全国及び各地域の雨量分布が一目でわかる。
※高精度・高分解能（250mメッシュ）で、ほぼリアルタイム（配信間隔1分）のレーダ雨量情報が確認可能（XRAIN GIS版）。

○水位

全国の水位観測所のリアルタイムの水位を、観測所付近の川の断面図とあわせて確認可能。

○カメラ

全国に設置されている河川カメラにおける静止画を見ることが可能。

○洪水予警報等

各地域の氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の発表状況について確認可能。

○ダム諸量データ

ダムに関して、10分ごとに観測される「貯水位」、「全流入量」、「全放流量」、「貯水量」、「貯水率（利水容量・有効容量）」などの値が確認可能。
※国土交通省水管理・国土保全局、（独）水資源機構、都道府県が設置したダムや堰で観測された情報が対象。

※ご利用はコチラ

➡：国土交通省川の防災情報ホームページ



(https://www.river.go.jp/kwabou/html/map/ipTopGaikyoo_ac80_fw0.html)

○「重ねるハザードマップ」と「わがまちハザードマップ」の2つのコンテンツから、ハザードマップへの関心を通じて住民等の防災意識向上を図ることを目的に、事前の防災対策や災害時の避難など、防災に役立つ情報を提供しています。

重ねるハザードマップ

様々な防災に役立つ情報を、**全国シームレス**に地図上で閲覧できます。

道路冠水想定箇所
緊急輸送道路
事前通行規制区間

土砂災害警戒区域等

浸水想定区域

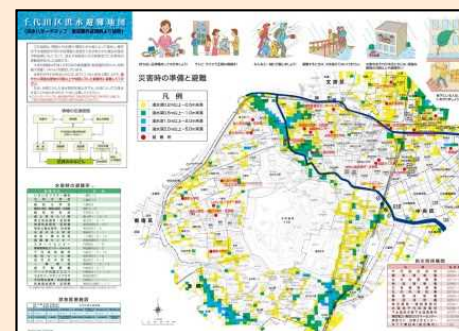
写真

1つの地図に重ね合わせて閲覧



わがまちハザードマップ

全国の市町村のハザードマップを閲覧することができます。



東京都千代田区洪水ハザードマップ



藤沢市津波ハザードマップ

避難計画・防災対策に役立つような、様々な防災に関する情報を提供しています

道路冠水想定箇所等

避難ルート
の検討



浸水想定区域

浸水対策
の検討



土地条件図等

耐震対策
の検討



身のまわりの災害リスクを簡単に調べることができます！

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

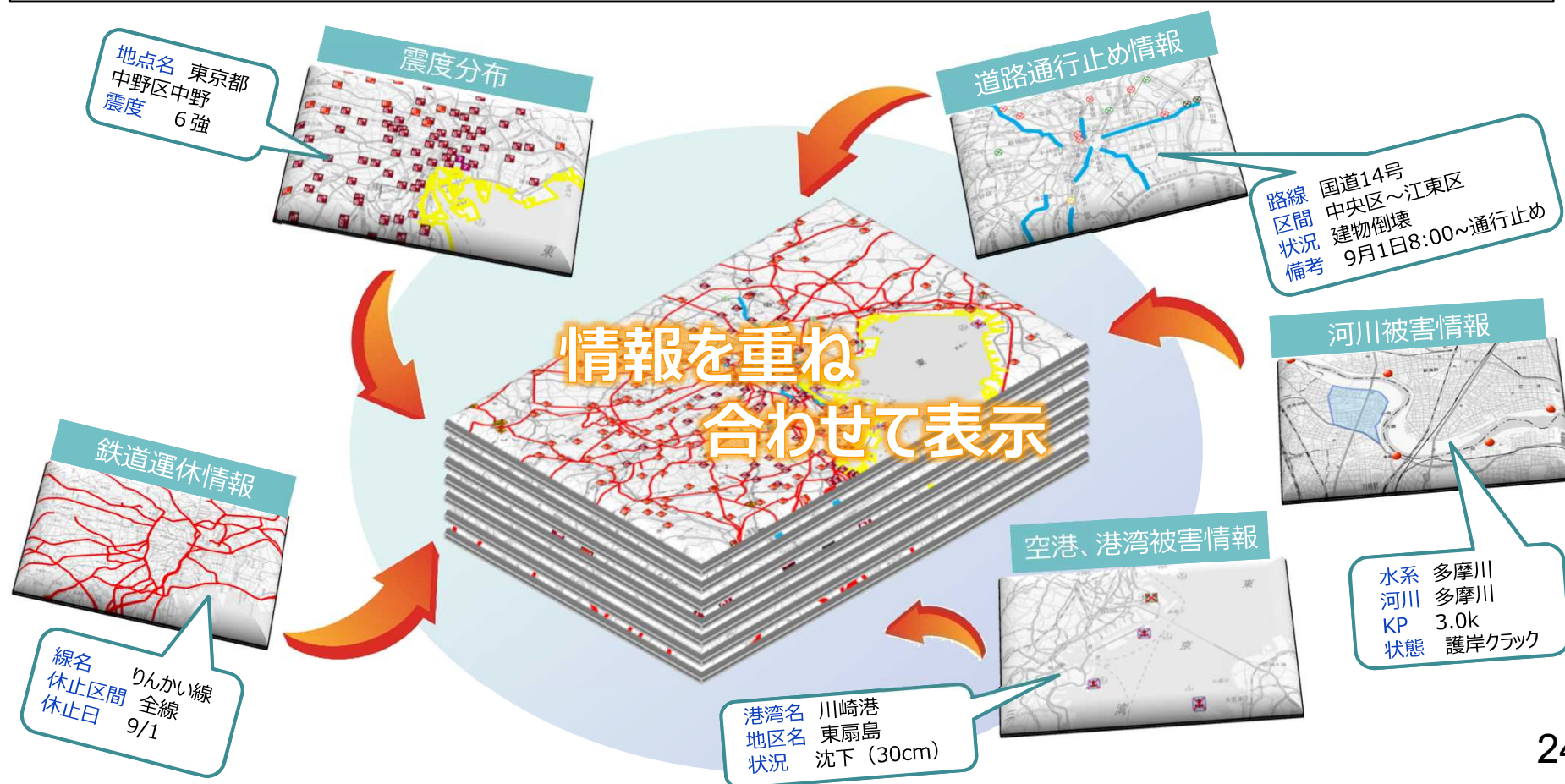
ハザードマップ

検索



※出典：<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/index.html>

- 統合災害情報システム (DiMAPS) は、地震や風水害等の災害時に、国土交通省の関係部局からの被害報告や他システムの情報等をWeb地図上に集約し、統合表示するシステム。
- 拡大、縮小可能なシームレスなWeb地図上で災害情報の迅速な共有が可能。被害の全体像を含め災害対応に必要な情報を迅速に把握し、オペレーション等に活用。





出典：内閣府ホームページ（http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/sk_04.html）

○近年、経済の高度化に伴い、ひとつの企業の製品やサービスの供給停止が、社会経済に与える影響は、ますます大きくなっており、企業は、災害や事故で被害を受けても、取引先等の利害関係者から、重要な業務が中断しないこと、中断しても短い期間で再開することが望まれています。



○**広く事業継続の意義を理解してもらい、事業継続計画（BCP）策定の手がかりとなるよう、内閣府にて事業継続ガイドラインが公表されています。**

＜本ガイドラインの目的＞

※ BCM : Business Continuity Management

事業継続の取組、すなわち事業継続計画（BCP）を含めた事業継続マネジメント（BCM）の概要、必要性、有効性、実施方法、策定方法、留意事項等を示すことで、我が国の企業・組織の自主的な事業継続の取組を促し、ひいては我が国全体の事業継続能力の向上を実現すること。

＜本ガイドラインの対象＞

民間企業を主な対象とした内容が多く記載されていますが、業種・業態・規模を問わず、全ての企業・組織を対象としています。

※事業継続ガイドライン（令和3年4月）

<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/keizoku/pdf/guideline202104.pdf>

※事業継続ガイドライン 第三版 解説書（平成26年7月）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/kigyou/pdf/guideline03_ex.pdf



- 中小企業BCP策定運用指針は、中小企業へのBCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)の普及を促進することを目的として、中小企業関係者や有識者の意見を踏まえ、中小企業庁が作成したものです。指針には、中小企業の実態や実状に基づいたBCPの策定及び継続的な運用の具体的な方法が、わかりやすく説明されています。
- 本指針は、中小企業の経営者が、従業員と一緒に、自社のBCPを策定し、日常的に、運用するとともに、緊急時に備えてBCPの発動を演習するための指針です。中小企業が投入できる時間と労力に応じて、4通りのコース（入門コース、基本コース、中級コース、上級コース）が用意されています。

コース	説明	BCP策定に要する日数の目安
入門コース	BCPの策定・運用に当たって、最低限必要な要素を抽出したコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCP様式類に沿って記入していくことで、BCP必要最低限のBCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2時間程度
基本コース	BCPの策定・運用を始めようとする多くの経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、BCPを策定・運用します。	経営者1人で1～2日程度
中級コース	BCPサイクルに関する理論を学びつつ、自社のBCPを策定・運用したい経営者向けのコースです。 経営者の頭の中にある考えをBCPサイクルに沿って、BCP様式類に目標復旧時間や緊急連絡先等の具体的な情報を記入して、体系的にBCPを策定・運用します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者1人で延べ3～5日程度 ・経営者とサブリーダー含め数人で2～3日程度
上級コース	BCPを策定・運用済みの企業が、複数の企業と連携して取り組んだり、より深い分析を行うことで、BCPの策定・運用をステップアップするためのコースです。	経営者とサブリーダー含め数人で延べ1週間程度

注) BCPの策定に限った日数の目安ですが、会社の規模や事業内容、事前対策の選定内容等によって変動します。
また、別途、BCPの運用（教育訓練や計画見直し）にも取り組むための時間が必要となります。

※詳しくはコチラ

➡中小企業庁ホームページ (<https://www.chusho.meti.go.jp/bcp/index.html>)



●日本政府観光局（JNTO）にて、自然災害時等の非常時に役立つ各種情報提供が行われている。

○多言語コールセンター「Japan Visitor Hotline」（050-3816-2787）

- ・病気、災害等、非常時のサポート及び一般観光案内を実施。
- ・365日、24時間、英語・中国語・韓国語で対応。

○公式Twitter／微博（Weibo）「Japan Safe Travel」

自然災害に関する警報・注意報、各交通機関の交通障害、感染症や熱中症の注意喚起など訪日中の旅行者の安心・安全につながる情報を配信。

※URL(Twitter) : <https://twitter.com/JapanSafeTravel>

※URL(微博) : <https://weibo.com/u/7385501623>



○スマートフォン向けアプリ「Japan Official Travel App」

このアプリ内の以下の項目で災害関連の各種情報提供を実施。

「In Case of Trouble」・・・大使館・領事館情報

「Points of Interest」・・・病院情報、避難場所・避難所情報 等

「Safety Assistance」（Other内）・・・災害情報、災害時に役立つ表現等

「Route Search」・・・路線情報、経路案内情報

※アプリダウンロード : <https://www.jnto.go.jp/smartapp/eng/about.html>



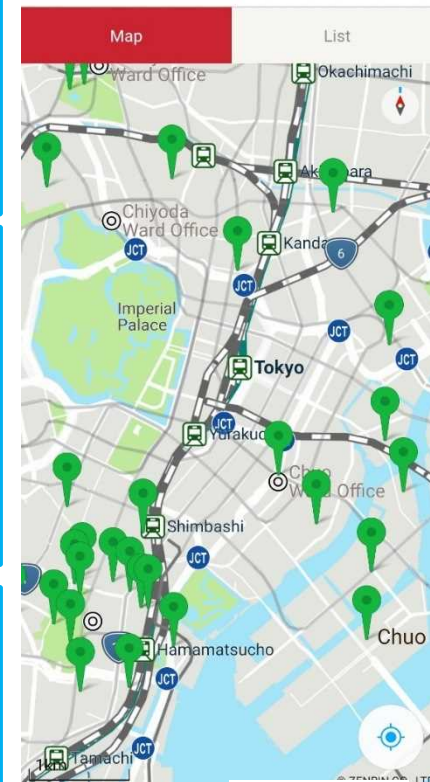
○JNTOグローバルウェブサイト

このウェブ内のImportant Notice内の「Japan Safe Travel Information」で、災害情報、主な鉄道・空港・航空の情報、医療関係情報等の参照先を提供。

※URL : <https://www.japan.travel/en/news/JapanSafeTravel/>



※Japan Official Travel Appにおける避難場所・避難所情報表示の例
※地図表示には通信可能な環境が必要です



※詳しくはコチラ➡https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/safetravelinfo.html



<p>運輸防災マネジメント指針 報道発表資料</p>	<p>運輸防災マネジメント指針の解説</p>	<p>災害対策基本法</p>
		
<p>防災基本計画 (政府の中央防災会議)</p>	<p>中央防災会議2013 「首都直下地震の被害想定と対策に ついて(最終報告)」</p>	<p>「A2-BCP」ガイドライン ～自然災害に強い空港を目指して～ (国土交通省航空局)</p>
		

災害時の政府、地方運輸局等の対応について

2023/12/8(金)
国土交通省 大臣官房
参事官（運輸安全防災）室

- ✓ 自然災害への対応
- ✓ 報道発表などの呼びかけ
- ✓ 被害情報の収集と対策
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置
- ✓ 国民への情報発信
- ✓ 実際の対応例
- ✓ 事業者の皆様をお願いしたいこと

大雪、大雨、地震等の自然災害に対し、政府はその発生による被害を最小化し、また二次被害の発生を防止するため、以下などの対応を行います。

- ✓ 被害情報の迅速・適確な把握
- ✓ 把握した被害情報に基づく措置（勢力の投入、関係省庁の対応の調整）
- ✓ 国民への情報発信

← ポストする

 首相官邸(災害・危機管理情報) 
@Kantei_Saigai

【緊急地震速報】

能登半島沖で地震 北陸 甲信で強い揺れ
強い揺れに警戒してください。

発表日時 5日21時58分

対象地域：石川県能登、新潟県上越、富山県西部、富山県東部、新潟県佐渡、石川県加賀、長野県北部、新潟県中越、新潟県下越

午後9:58・2023年5月5日・84.3万 件の表示

1,296 リポスト 49 件の引用 1,983 件のいいね 12 ブックマーク

    12 

首相官邸X(旧Twitter)より



九州北部豪雨(2017年)に伴う災害派遣
防衛省HPより

大雪や大雨など、自然災害発生のおそれがあるときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 注意喚起

内閣府主催の関係省庁会議を受けて、国土交通省では本省から地方運輸局等を通じ、事業者の皆様に注意喚起を実施

その他、国土交通省・気象庁の合同記者会見等の報道発表による国民への呼びかけなど

✓ 情報連絡体制の確保

地方運輸局等は、災害発生時に速やかに連絡がとれるよう事業者との間で連絡体制を確保

注意喚起文書の例

事務連絡
令和5年9月7日

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第13号に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第13号は日本の南を北上し、8日午後には東海地方や関東甲信地方にかなり接近し上陸する可能性があり、その後は北上を続けて10日朝までには三陸沖で熱帯低気圧に変わる見込みです。

...

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行（航）計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかなTEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備

大雪の報道発表の例



令和4年12月21日 気象庁にて

また、実際に災害が発生したときには、政府は以下などの対応をします。

✓ 関係省庁災害対策会議(大規模な災害の場合)

関係省庁の担当者が官邸に集まり、被害情報の共有・とりまとめ
→ 対策の検討を行う「関係省庁災害対策会議」(内閣府)の開催、等

内閣府HPより



**令和4年台風第 14 号特定災害対策本部会議
(令和4年9月17、19、20、21日)**

✓ 国土交通省災害対策本部(大規模な災害の場合)

各局の担当者が国土交通省・防災センターに集まり、被害情報の共有・とりまとめ、官邸への報告を行う。

国土交通省に求められる情報

以下など

- ・新幹線等、電車の脱線の有無
- ・道路、河川、鉄道、空港、港湾等の社会資本施設の被害、公共交通機関の運行状況
- ・高速道路の閉鎖状況
- ・情報収集体制の状況(防災ヘリの映像等)
- ・緊急輸送道路の確保、応急復旧の見込み
- ・緊急災害対策派遣の状況(準備、派遣、活動状況)
- ・大規模な土砂災害(天然ダム含む)の状況

国土交通省 被害状況等のとりまとめ

災 害 情 報
令和 5 年 8 月 14 日 15:00 現在
国 土 交 通 省

令和 5 年台風第 7 号による被害状況等について (第 1 報)

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表 (8/14 12:00 時点)

○強い台風第 7 号は日本の南にあって北上している。15 日に猛烈な風を伴い近畿地方から東海地方にかなり接近し、紀伊半島付近に上陸する。その後、日本海を北上し、17 日頃には北日本に接近するおそれ。

■ ■ ■

(5) 鉄道 (8/14 13:00 時点)

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：2 事業者 2 路線

J R 東海：東海道新幹線

J R 西日本：山陽新幹線

<在来線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合せる予定の路線】：22 事業者 87 路線

J R 東海：東海道線、武豊線、関西線、紀勢線、名松線、参宮線

J R 西日本：北陸線、越美北線、小浜線、東海道線、湖西線、おおさか

(6) 航空 (8/14 12:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

・ 14 日 欠航便 36 便 (JAL 19 便、ANA 6 便、その他 11 便)

(7) 海事 (8/14 12:00 現在)

○被害状況等

・ なし

○運休状況等

・ 35 事業者 49 航路運休

(8) 自動車 (8/14 12:00 時点)

○運休状況等

・ 高速バス：8 事業者 10 路線運休、一部運休なし

・ 宅配事業者：大手 1 事業者において一部地域で集配遅延

政府は、とりまとめた被害情報を基に対処を指揮します。
国土交通省をはじめとする各省庁は、政府の指示の下で措置を執ります。

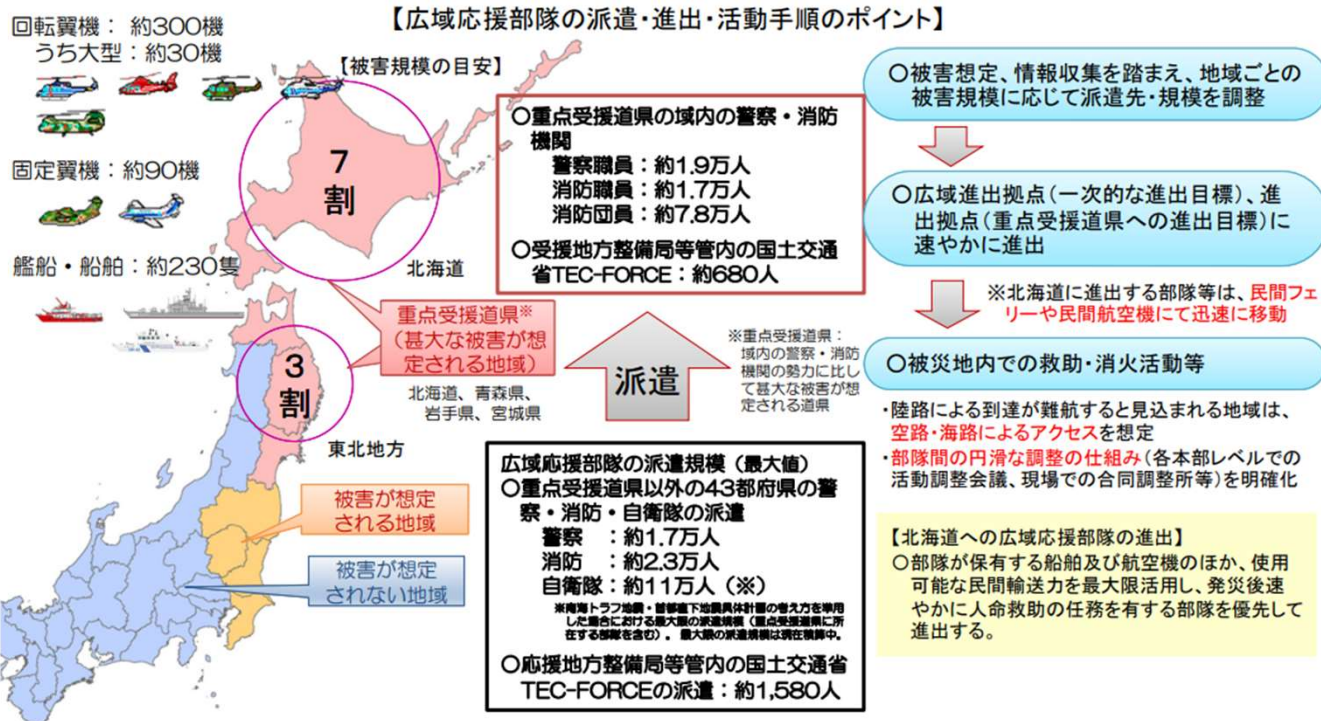
- ✓ 関係省庁と連携した対応
 応援部隊の輸送、緊急医療物資の輸送等の実施
- ✓ TEC-FORCEの広域派遣

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における救助・救急、消火活動等に係る計画の概要



趣旨・概要

○日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による甚大な被害に対して、**発災直後から、被災道県内の警察・消防を最大限動員**するとともに、**被災管内の国土交通省TEC-FORCEを最大限動員**する。また、被害が甚大な地域に対して、**全国から最大勢力の警察災害派遣隊、緊急消防援助隊、自衛隊の災害派遣部隊及び国土交通省TEC-FORCE(以下「広域応援部隊」という。)**を可能な限り早急に投入するための初期期における派遣方針と具体的な手順等を定めるもの。



(内閣HPより)

なお、あらかじめ決まっている初動対応については、政府からの指示によらず各省庁にて迅速に実施されます。

- ✓ TEC-FORCEの派遣
都道府県の災害対策本部等にTEC-FORCEを派遣
- ✓ プッシュ型の支援実施
被災地の支援ニーズの情報収集、支援の実施

交通系TEC-FORCEの役割

●地方運輸局等では、各部で職員をTEC-FORCEに任命しており、以下の取組を実施(令和5年4月1日時点で654人が任命)

輸送支援班の主たる活動

○被災直後:
自治体等への輸送支援実施のための
情報提供・情報収集

【情報収集】

- 所管事業者の被害状況の把握



令和2年7月豪雨
球磨川第4橋りょう
(人吉温泉駅方面)の調査

- 被災自治体へのリエソンの派遣による情報収集、被災自治体のニーズを本省に報告



令和2年7月豪雨
(熊本県庁災害対策本部)

【情報提供】

- 国交省(本省・運輸局)で集約した被災状況を被災自治体等に情報を提供

- 国民、事業者への情報提供

○被災状況把握後:
緊急物資・避難者の輸送、代替輸送、帰
宅困難者対応に関する調整及び支援

【緊急物資・避難者の輸送】

- 被災自治体等からの支援物資輸送相談を受け、災害支援物資の輸送手段確保のため、地区トラック協会等と調整
- 被災者の避難に関する輸送手段確保の調整



平成30年7月豪雨(西日本豪雨)
支援物資輸送の実施

【代替輸送】

- 鉄道等代替バス、船舶の臨時運航の調整



令和元年東日本台風(第19号)
バスによる代替輸送の実施
JR東日本 中央線(甲府駅)

【帰宅困難者への対応】

- 列車ホテルの手配や旅客滞留状況に応じた終電時刻以降の運行継続、滞留発生駅へのタクシーの優先配車等の対応を調整

その他活動

【被災者の生活支援】

- 車検等の有効期間延長

【経済活動・インフラ復旧支援】

- 観光風評被害への対策としての状況調査や自治体からの相談対応



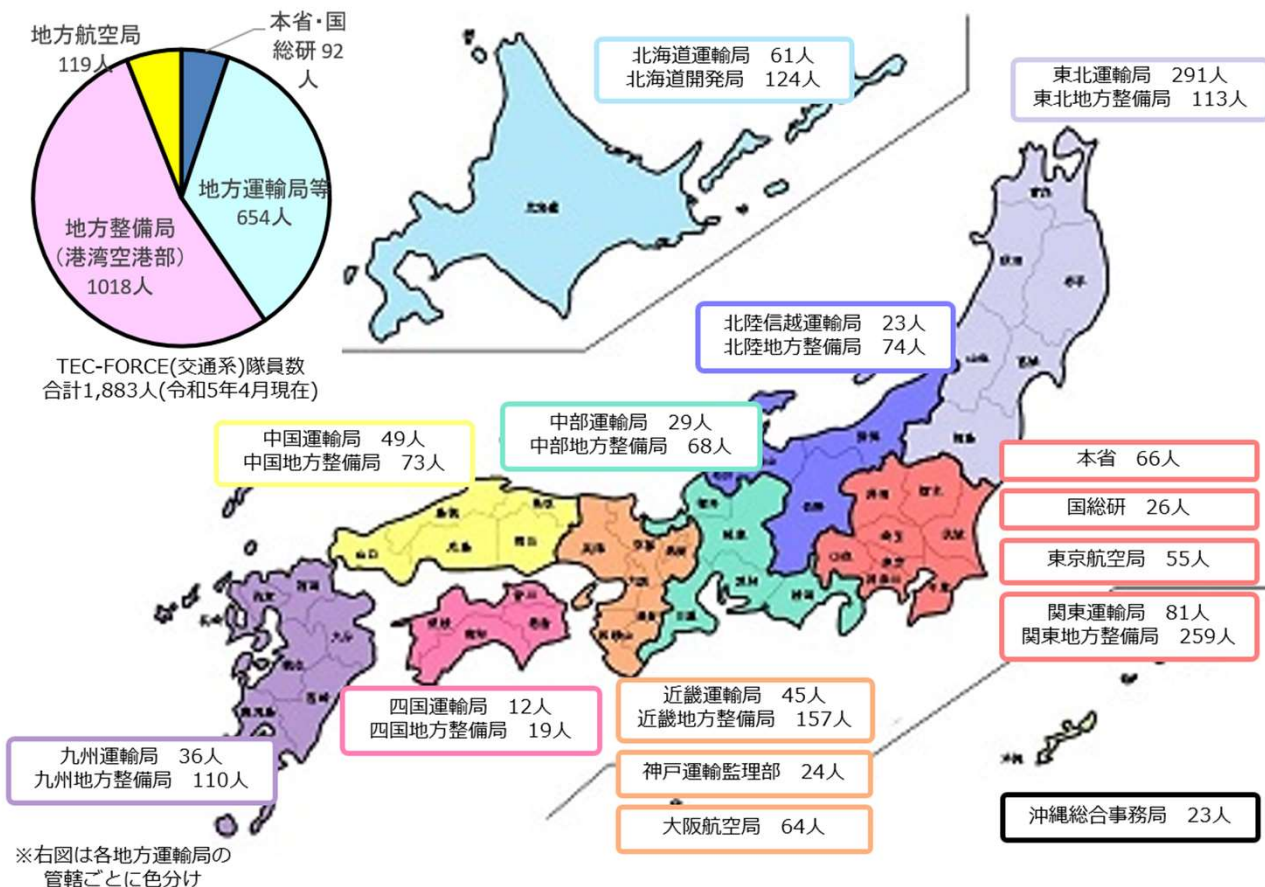
熊本地震(H28.4.14)
国土交通大臣と別府・由布院の
観光関係者との意見交換会

- 鉄道施設等の復旧に向けた支援
令和2年7月豪雨(令和2年7月)



○今後の鉄道施設の復旧や代替輸送に向けた調整のため、TEC-FORCEを肥後おれんじ鉄道株式会社へ派遣(災害復旧補助関連)

交通系TEC-FORCEの任命状況 地方運輸局等で654名（R5.4.1時点）となっている。



交通系TEC-FORCE (地方運輸局等) の各年度の派遣実績

令和5年度	31人日 (9/30時点)
令和4年度	46人日
令和3年度	125人日 (うち、R3年7.1からの雨 54人日)
令和2年度	208人日 (うち、R2年7月豪雨 140人日)
令和元年度	499人日 (うち、令和元年台風 413人日)

●国民への情報発信

政府は、とりまとめた被害情報を基に国民への情報発信を実施

内閣HPより



中野政務官(左)、星野副大臣(右)
令和5年1月20日からの大雪等に係る
関係省庁災害警戒会議
(令和5年1月23日)

首相官邸HPより



磯崎仁彦内閣官房副長官会見
大雪の被害情報、政府の対応等について
(令和5年1月25日午後)

令和5年1月20日からの大雪(2023/1/20~26頃)

気象状況(国土交通省HPより抜粋)

○24日(火)から25日(水)にかけて、日本の上空にこの冬一番の強い寒気が流入し、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。

○25日にかけて、西日本から北陸地方を中心に大雪となり、京都市など普段雪の少ない地域でも積雪となった。中国地方では24日夜に短い時間に積雪が急激に増え、厳重な警戒を呼び掛けた。25日の最低気温は南西諸島を除き全国的に氷点下となり、広い範囲で過去10年の最低気温に近い冷え込みとなった。…

会議等

1/20 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

1/23 関係省庁災害警戒会議、災害対策連絡調整会議(省内)

報道発表等

1/20~23 関係地方整備局、運輸局、気象台等より
大雪に対する呼びかけを実施

(東北、北信、関東、中部、近畿、中国、四国、九州)

1/23 国土交通省、気象庁による大雪の緊急発表

1/25、26 官房副長官会見

被害状況等のとりまとめ

1/23~27にかけ、計10回実施



R5.1.24~25頃 JR西日本プレス発表資料より
鉄道車両15本の駅間停車発生

NEXCO中日本 名古屋支社 @c_nexco_nagoya · 32分
#新名神 渋滞解消に向け除雪作業を実施しております。



R5.1.24~25頃 NEXCO中日本のHPより
新名神 車両滞留発生

- ✓ 社内の危機管理体制の確認
初動対応マニュアル、緊急連絡担当者名簿・連絡先
備蓄品、ハザードマップの確認など
- ✓ 地方運輸局等との連絡体制の確認
- ✓ 地方運輸局等への被害情報、運行見合わせ情報の迅速・適確な共有
国土交通省HPからも事業者の運行(航)情報にリンクを貼っているものあり
- ✓ 運行(航)情報のHP等での積極的な情報発信・提供
- ✓ 運輸局から代替輸送等の協力依頼等の連絡があった際の、対応の検討・協力



The image shows a screenshot of the MLIT Disaster Portal website. On the left, there are instructions for accessing the site: '国土交通省トップページからアクセスする場合' (Accessing from the MLIT homepage) and '直接アクセスする場合' (Direct access case). A red box highlights the '防災ポータル' (Disaster Portal) link on the MLIT homepage. A red arrow points from this link to the main portal page. The main portal page features a search bar, a QR code, and several information tiles such as '被害状況' (Damage Status), '気象状況' (Weather Status), '交通・物流情報' (Traffic/Logistics Information), and '被災者支援情報' (Disaster Relief Information). The text '高速道路や鉄道、空港など' (Highways, railways, airports, etc.) is visible at the bottom of the portal page.

被害情報等の連絡先

- 鉄道・自動車・海事・物流・観光等

北陸信越運輸局各所管課にご連絡ください

- 航空関係

運休・施設被害：航空局総務課 TEL:03-5253-8111(内線48-113)